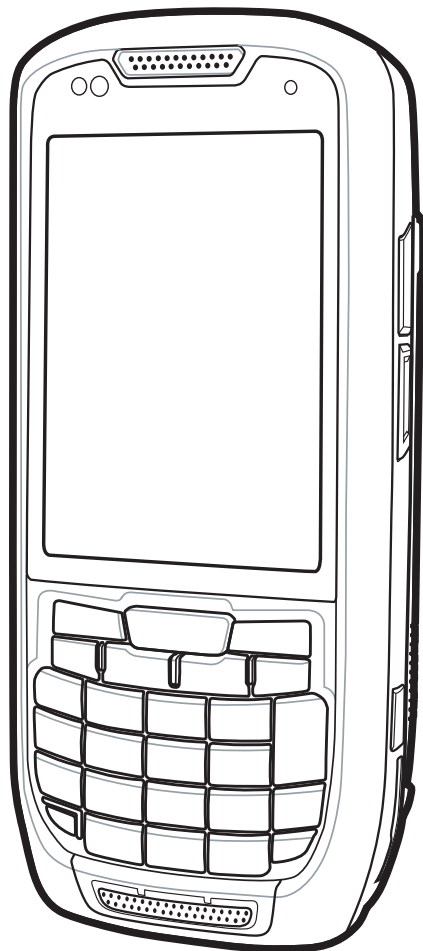


MC45

ユーザー ガイド



MC45 **ユーザー ガイド**

72E-164159-02JA

改訂版 A

2015 年 2 月

Zebra の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電氣的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約 (ライセンス プログラム) に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Zebra の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Zebra の書面による許可なしにネットワークで使用するのを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Zebra の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Zebra は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Zebra は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Zebra の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL U.S.A.
<http://www.zebra.com>

改訂版履歴

元のマニュアルに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 B	2013 年 1 月	初期リリース
-02 改訂版 A	2015 年 2 月	Zebra への商標変更

目次

改訂版履歴	iii
-------------	-----

このガイドについて

はじめに	xi
マニュアル セット	xi
構成	xii
ソフトウェア バージョン	xii
章の説明	xiv
表記規則	xv
関連文書	xv
サービスに関する情報	xvi

第 1 章: ご使用の前に

はじめに	1-1
パッケージの開梱	1-2
ご使用の前に	1-3
microSD (Micro Secure Digital) カードの取り付け	1-3
SIM カードの取り付け	1-4
バッテリーの取り付け	1-5
バッテリーの充電	1-6
バッテリーの充電	1-6
予備バッテリーの充電	1-7
充電温度	1-7
MC45 の電源の入れ方	1-8
スクリーンの調整	1-8
バッテリー状態の確認	1-8
バッテリーの交換	1-8
初回ネットワーク アクティベーション	1-9
GSM/UMTS アクティベーション	1-9
ネットワーク アクティベーション	1-9
バッテリーの管理	1-10
電力設定の変更	1-10
バックライトとキーライトの設定の変更	1-10

無線通信をオフにする方法	1-11
--------------------	------

第 2 章: MC45 の使用

はじめに	2-1
ホーム画面	2-1
ステータスバー	2-2
アイコンバー	2-4
[今日] 画面	2-5
クラシック [今日] 画面	2-6
ソフト キー バー	2-8
[スタート] 画面	2-8
設定フォルダ	2-11
音量を調節する	2-14
バッテリー ステータス表示	2-15
LED インジケータ	2-16
MC45 のリセット	2-17
MC45 のウェイクアップ	2-17
MC45 のロック	2-17
パスワード ロック	2-18
機能ボタン	2-20
スタイラス	2-21
データを入力する	2-21
ディスプレイの向き	2-22
写真の撮影	2-23
ビデオの録画	2-23
写真やビデオの表示	2-23

第 3 章: データ収集

はじめに	3-1
レーザ スキャン	3-1
スキャン操作に関する考慮事項	3-1
バーコード スキャナ	3-2
適応型スキャン	3-2
カラー デジタル カメラ	3-3
デジタル カメラによるスキャン	3-3
DataWedge	3-4

第 4 章: 電話の使用

はじめに	4-1
電話ダイヤラへのアクセス	4-1
電話のオン/オフの切り替え	4-2
Bluetooth ヘッドセットの使用	4-3
音量の調節	4-4
電話キーパッドの使用	4-5
連絡先の使用	4-5
コール ログを使用する	4-6
短縮ダイヤルの使用	4-7
緊急通話をかける	4-7

電話に応答する	4-7
着信機能	4-8
スマート ダイヤル	4-8
通話をミュートする	4-9
短縮ダイヤルを使用する	4-10
短縮ダイヤル エントリの追加	4-10
短縮ダイヤル エントリの編集	4-12
短縮ダイヤル エントリの削除	4-12
コール ログを使用する	4-12
コール ログの管理	4-13
[コール ログ] の表示の変更	4-13
すべてのコール ログ項目の削除	4-14
通話ステータスの表示	4-15
[コール ログ オプション] の使用	4-15
MC45 での会議通話	4-16
SMS メッセージング	4-20
テキスト メッセージの送信	4-20
テキスト メッセージの表示	4-21
テキスト メッセージへの返信	4-22
MMS メッセージング	4-23
MMS メッセージの作成と送信	4-23
MMS メッセージの表示	4-24
MMS メッセージへの返信	4-24
MMS メッセージ着信のブロック	4-24
ボイス コマンダー	4-25
通話	4-25
検索	4-26
再ダイヤル	4-27
コールバック	4-27
スタート	4-27
予定	4-27
表示	4-27
今何時ですか?	4-27
通話履歴	4-28
音楽の再生	4-28
ヘルプを表示する	4-28
さようなら	4-29

第 5 章: WLAN の使用

はじめに	5-1
Fusion の概要	5-1
インターネットへの接続	5-2
Wireless Zero Config の概要	5-2
Fusion と WZC を切り替える	5-2
サポートしているアプリケーション	5-3
Fusion のセットアップ	5-4
Wireless Zero Config のセットアップ	5-7
WZC の詳細情報	5-8

第 6 章: GPS ナビゲーションの使用

はじめに	6-1
ソフトウェアのインストール	6-1
MC45 GPS のセットアップ	6-1
動作	6-2
microSD カード上の GPS マップ	6-2
GPS 使用中の電話への応答	6-2
車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合	6-2
GPS のリセット	6-3

第 7 章: Bluetooth の使用

はじめに	7-1
適応型周波数ホッピング	7-1
セキュリティ	7-2
Bluetooth の電源の状態	7-3
サスペンド	7-3
再開	7-3
Bluetooth オン/オフの切り替え	7-4
Bluetooth の有効化	7-4
Bluetooth デバイスを検出する	7-5
使用可能なサービス	7-8
ビームによるオブジェクト プッシュ サービス	7-8
インターネット共有	7-10
ハンズフリー サービス	7-10
シリアル ポート サービス	7-11
シリアル ポート サービスを使用した ActiveSync	7-12
Phone Book Access Profile サービス	7-13
ダイヤルアップ ネットワーク サービス	7-14
HID デバイスの接続	7-14
A2DP/AVRCP サービス	7-14

第 8 章: アクセサリ

はじめに	8-1
ホスト コンピュータとの通信	8-3
MC45 のバッテリーの充電	8-4
充電温度	8-5
車載用充電クレードル	8-6
フロントガラスへの取り付け	8-6
MC45 の取り付け	8-7
電源への接続	8-8
MC45 の取り外し	8-9
バッテリー充電インジケータ	8-10
充電温度	8-10
Micro USB アダプタ	8-11
ハンドストラップ	8-12
ActiveSync のインストール	8-13
MC45 のセットアップ	8-13
ホスト コンピュータでの ActiveSync 接続のセットアップ	8-14
MC45 との同期	8-14

第 9 章: メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに	9-1
MC45 のメンテナンス	9-1
スクリーン保護シートを取り外す	9-2
バッテリーの安全に関するガイドライン	9-3
クリーニング	9-3
必要な材料	9-4
MC45 のクリーニング	9-4
筐体	9-4
ディスプレイ	9-4
スキャナ ウィンドウ	9-4
コネクタ	9-4
クレードルのコネクタのクリーニング	9-5
クリーニングの頻度	9-5
トラブルシューティング	9-6
MC45	9-6
シングル スロット充電クレードル	9-9
マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル	9-10
車載用充電クレードル	9-11
4 スロット予備バッテリー充電器	9-11
ケーブル	9-12
.....	9-12

付録 A: 技術仕様

MC45 の技術仕様	A-1
MC45 アクセサリの仕様	A-4
シングル スロット充電クレードル	A-4
マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル	A-5
4 スロット予備バッテリー充電器	A-6

付録 B: キーパッド

数字キーパッド構成	B-1
特殊文字キー	B-4

用語**索引**

このガイドについて

はじめに

このガイドでは、MC45 とアクセサリの使用方法について説明します。



注 このガイドで示しているスクリーンとウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際のスクリーンと異なることがあります。

マニュアル セット

MC45 のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供していて、次のマニュアルで構成されています。

- **MC45 クイック スタート ガイド** - MC45 の主な機能の使用方法について説明しています。
- **MC45 ユーザー ガイド** - MC45 の使用方法について説明しています。
- **MC45 Integrator Guide** - MC45 とアクセサリの設定方法について説明しています。
- **MC45 規制ガイド** - MC45 のすべての規制、サービスおよび EULA 情報を提供します。
- **Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) Help File** - アプリケーション開発用の API 情報について説明しています。

構成

このガイドは、以下のモデルを対象としています。

設定	無線	ディスプレイ	メモリ	データ収集	オペレーティングシステム	キーパッド
MC4587	WWAN: GSM/HSDPA	3.2 インチ QVGA16 ビット カラー	256MB RAM/ 1GB フラッ シュ	カメラ	Microsoft Windows Embedded Handheld 6.5.3、Professional Edition	数字
MC4597	WLAN: 802.11a/b/g WWAN: GSM/HSDPA	3.2 インチ QVGA16 ビット カラー	256MB RAM/ 1GB フラッ シュ	1-D レーザ ス キャナまたは カメラ	Microsoft Windows Embedded Handheld 6.5.3、Professional Edition	数字

ソフトウェア バージョン

このガイドでは、さまざまなソフトウェア構成について取り上げ、次のオペレーティング システムまたはソフトウェアのバージョンについて言及しています。

- Adaptation Kit Update (AKU) バージョン
- OEM バージョン
- Phone バージョン
- Fusion バージョン

AKU バージョン

Adaptation Kit Update (AKU) のバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[スタート] > [設定] > [システム] フォルダ > バージョン情報アイコン > [バージョン] タブをタップします。

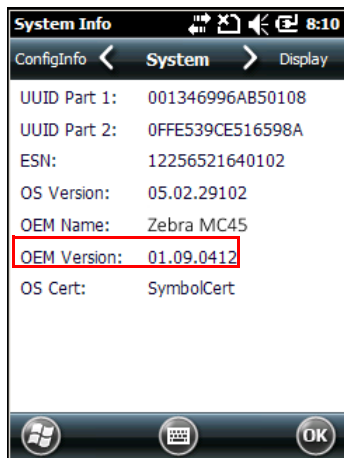


2 行目に、オペレーティング システムのバージョン番号とビルド番号が表示されます。ビルド番号の最後の部分が AKU 番号を表しています。たとえば、「Build 29102.5.3.12.13」は、デバイスで AKU バージョン 5.3.12.13 が実行されていることを示しています。

OEM バージョン

OEM ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

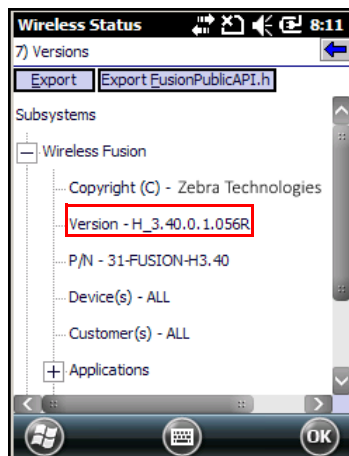
[スタート]>[設定]>[システム] フォルダ>システム情報アイコン>[システム] タブをタップします。



Fusion ソフトウェア


Fusion ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

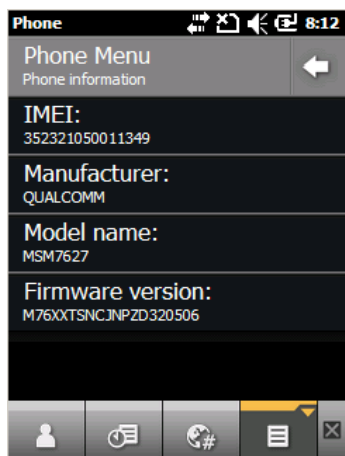
[スタート]>ワイヤレス コンパニオン アイコン>無線状態アイコン>[バージョン] をタップします。



Phone ソフトウェア

Phone ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[スタート]>[フォン]>  > [電話情報] をタップします。



章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- [第 1 章の「ご使用の前に」](#) - MC45 を初めて使用する際の手順について説明します。
- [第 2 章の「MC45 の使用」](#) - 電源の入れ方、MC45 のリセット方法、データの入力やキャプチャ方法など、MC45 の基本的な使用方法について説明します。
- [第 3 章の「データ収集」](#) - MC45 でレーザ スキャナまたはカメラを使用したデータ収集の詳細について説明します。
- [第 4 章の「電話の使用」](#) - MC45 の電話機能の基本的な使用方法について説明します。
- [第 5 章の「WLAN の使用」](#) - MC45 の WLAN 機能について説明します。
- [第 6 章の「GPS ナビゲーションの使用」](#) - MC45 の GPS ナビゲーション機能について説明します。
- [第 7 章の「Bluetooth の使用」](#) - MC45 の Bluetooth 機能について説明します。
- [第 8 章の「アクセサリ」](#) - 取り付け可能なアクセサリと、アクセサリを MC45 で使用する方法について説明します。
- [第 9 章の「メンテナンスとトラブルシューティング」](#) - MC45 のクリーニングと保管方法、および MC45 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。
- [付録 A「技術仕様」](#) - MC45 の技術仕様について説明します。
- [付録 B「キーパッド」](#) - キーパッドのレイアウトと操作について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- 「モバイル コンピュータ」とは Zebra MC45 シリーズのハンドヘルド コンピュータを指します。
- 斜体は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - スクリーン上のアイコン
- **太字**は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - キーパッド上のキー名
 - 画面上のボタン名
- ビュレット (•) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

関連文書

- MC45 クイック スタート ガイド (p/n 72-164157-xx)
- MC45 Regulatory Guide (p/n 72-164158-xx)
- MC45 Integrator Guide (p/n 72E-164160-xx)
- Enterprise Mobility Developer Kits (EMDKs) は、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。
- 最新の ActiveSync ソフトウェアは、<http://www.microsoft.com> から入手可能です。

本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。

サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当の Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) にお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.zebra.com/support> に記載されています。

Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) へのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- ユニットのシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

Zebra は、お客様のお問い合わせに対して、サポート合意書に指定された期限までに、電子メール、電話、またはファックスにて回答を行います。

Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) が問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に移動すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用のビジネス製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第 1 章 ご使用前に

はじめに

ここでは、MC45 の各部名称について列挙し、バッテリーの取り付け方法、充電方法、ストラップの調節方法、および MC45 の電源の入れ方について説明します。



図 1-1 MC45 正面図

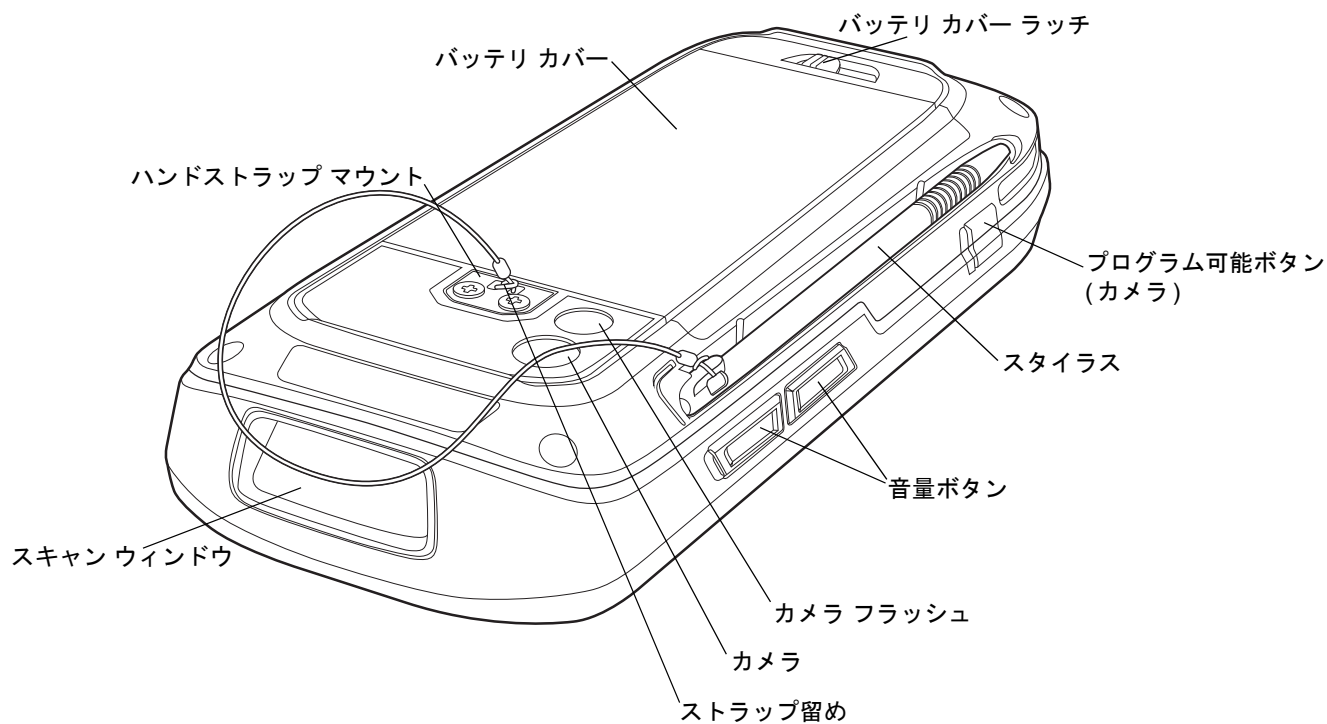


図 1-2 MC45 背面図

パッケージの開梱

MC45 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。次のものが含まれていることを確認します。

- MC45
- リチウム イオン バッテリ
- バッテリー カバー
- ストラップ付きスタイルス
- スクリーン保護シート
- 規制ガイド
- クイック スタート ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちに Zebra グローバル カスタマ サポート センターにお問い合わせください。連絡先については、[xvi ページ](#)を参照してください。

ご使用の前に

MC45 を初めて使用する際には、次のことを行います。

- microSD カードを取り付けます (オプション)。
- mini-SIM カードを取り付けます。
- バッテリーを装着します。
- MC45 を充電します。
- MC45 の電源をオンにします。
- MC45 を設定します。

microSD (Micro Secure Digital) カードの取り付け

microSD カードを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリーの下にあります (図 1-3 を参照)。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカーの推奨使用方法に従ってください。



注意 microSD カードを損傷しないように、ESD に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することや作業者を適切に接地することなどが含まれます。

microSD カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. mini-SIM カードホルダーを右にスライドさせてロックを解除します。
2. mini-SIM カードホルダーを持ち上げます。

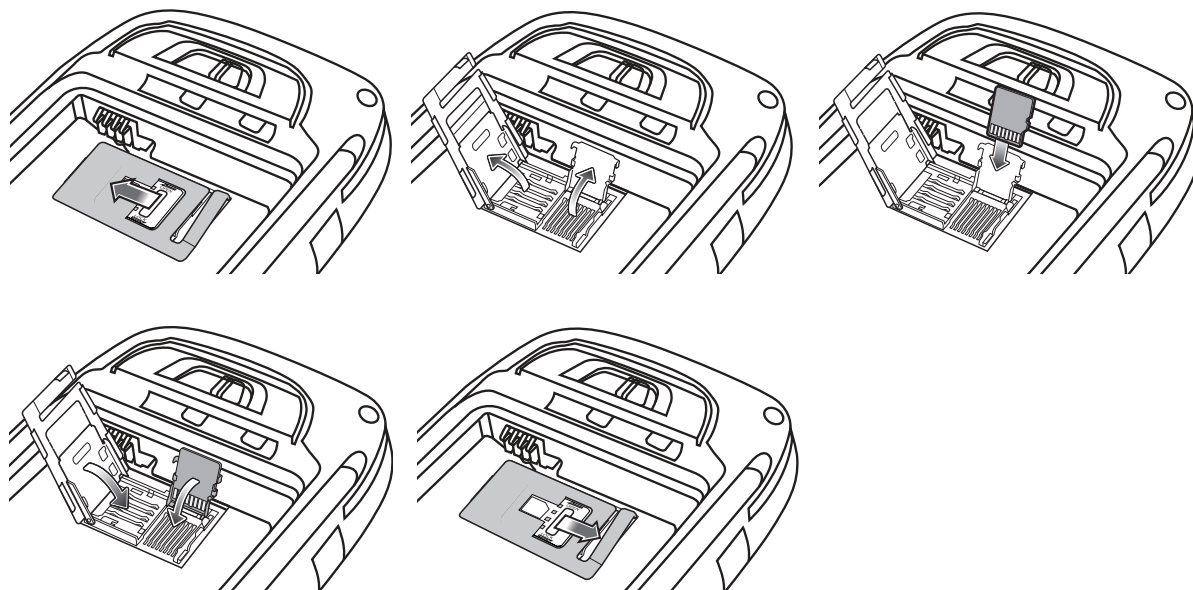


図 1-3 MicroSD カードの挿入

3. microSD カードホルダーを下方にスライドさせてロックを解除します。

4. microSD カード ホルダーを持ち上げます。
5. カードの接触面を下にして挿入し、microSD カード ホルダーを下げます。
6. microSD カード ホルダーを上方にスライドさせてロックします。
7. mini-SIM カード ホルダーを下げます。
8. mini-SIM カード ホルダーを左にスライドさせてロックします。

microSD カードを取り外すには、次の手順に従います。

1. microSD カード ホルダーを下方にスライドさせてロックを解除します。
2. microSD カード ホルダーを持ち上げます。

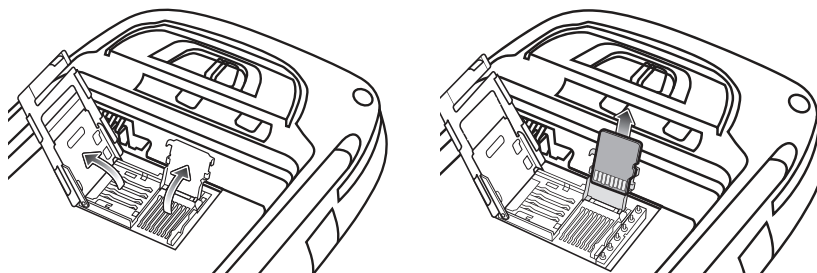


図 1-4 カードの取り外し

3. カードをカード ホルダーから取り出します。
4. microSD カード ホルダーを下げます。
5. microSD カード ホルダーを上方にスライドさせてロックします。

SIM カードの取り付け

✓ **注** MC45 は複数の連絡先の SIM カードへのコピーをサポートしていません。エラー メッセージが表示された場合、詳細については第 9 章の「メンテナンスとトラブルシューティング」を参照してください。

GSM 方式の回線を使用するには、SIM (Subscriber Identification Module: 加入者識別モジュール) カードまたはスマート カードを取り付ける必要があります。サービス プロバイダからこのカードを入手して、MC45 に取り付けてください。このカードには、次の情報を保存できます。

- サービス プロバイダのアカウントの詳細
- サービスへのアクセス方法と設定に関する情報
- 連絡先の情報。この情報は MC45 の連絡先に移動させることができます。
- 契約したその他のあらゆるサービス

✓ **注** SIM カードの詳細については、サービス プロバイダのマニュアルを参照してください。

mini-SIM カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. mini-SIM カード ホルダーを右にスライドさせてロックを解除します。

2. mini-SIM カードホルダーを持ち上げます。

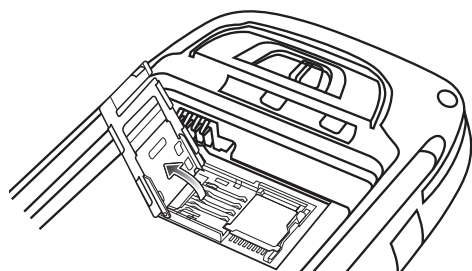


図 1-5 SIM カード カバーを持ち上げる

3. 面取りされている側を上向き、接点側を下向きにして mini-SIM カードを挿入します (図 1-6 を参照)。

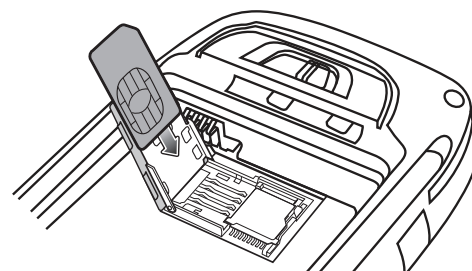


図 1-6 mini-SIM カードの挿入

4. mini-SIM カードホルダーを下げ、左にスライドさせてロックします。
5. バッテリーを装着します。詳細については、1-5 ページの「バッテリーの取り付け」を参照してください。
6. MC45 に mini-SIM カードを初めて取り付けた後、または mini-SIM カードを交換した後に、次の手順に従います。
 - a. 赤色の電源ボタンを押します。
 - b. 電話がオンになっていることを確認します。
 - c. 電話をかけて、携帯電話回線を使用できることを確認します。

✓ **注** WWAN の有効化と設定の詳細については、『MC45 Integrator Guide』を参照してください。

バッテリーの取り付け

✓ **注** 最初にバッテリーを箱から出して取り付ける場合は、背面カバーとバッテリーが取り付けられていません。

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

1. MC45 の背面のバッテリー コンパートメントに、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。

✓ **注** バッテリーの金色の接点が MC45 バッテリー コンパートメントの金色の充電ピンと合うように、正しくバッテリーを入れてください。

2. バッテリーをバッテリー ボックスに押し込みます。

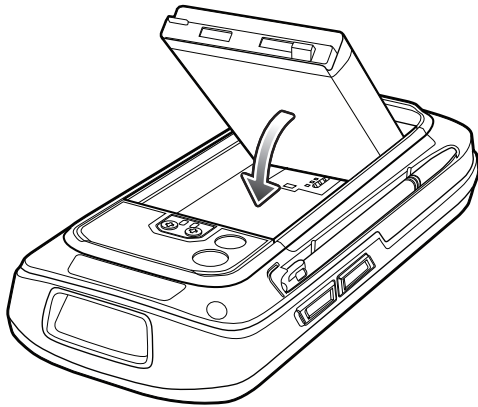


図 1-7 バッテリーの取り付け

3. バッテリー カバー ラッチが開いている状態で、カバーの上側を差し込み、カバーの下側を押します。
4. 赤色のドットが見えなくなるまで、バッテリー カバー ラッチを右にスライドします。

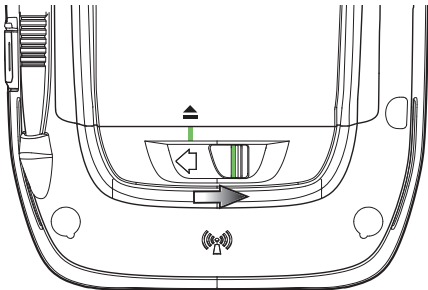


図 1-8 バッテリー カバー ラッチのロック

5. 電源ボタンを押して、MC45 に電源を入れます。

バッテリーの充電



注意 9-3 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

バッテリーの充電

MC45 を初めて使用する場合は、充電/バッテリー状態 LED が緑色で点灯し続けるまでメイン バッテリーを充電します (充電の状態を表す LED 表示の意味については、1-7 ページの表 1-1 を参照してください)。MC45 を充電するには、USB 急速充電ケーブルまたは適切な電源が装着されたクレードルを使用します。MC45 のアクセサリの詳細については、第 8 章の「アクセサリ」を参照してください。

バッテリーを充電するには、USB 急速充電ケーブルまたはクレードルを使用します。USB 急速充電ケーブルまたはクレードルの取り扱い方法および充電手順については、『MC45 Integrator Guide』を参照してください。

- シングル スロット充電クレードル
- マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル
- 車載用充電クレードル

バッテリーを充電するには、次の手順を実行します。

1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. MC45 をクレードルにセットするか、または USB 急速充電クレードルおよび電源に取り付けます。MC45 が充電を開始します。充電中は、充電/バッテリー状態 LED が緑色で点滅し、フル充電されると緑色で点灯します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、表 1-1 を参照してください。
3. 3080mAh バッテリーは約 25°C (77°F) の室温で 6 時間以内に充電が完了します。充電時間は温度によって異なることがあります。

✓ **注** バッテリーの電源を入れて充電するには、MC45 バッテリー カバーを MC45 に正しく装着して閉じておく必要があります。

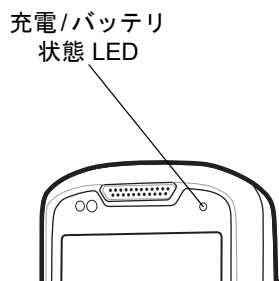


図 1-9 LED インジケータ

表 1-1 充電の状態を表す LED 表示

充電/バッテリーの 状態 LED	意味
消灯	MC45 は充電されていません。 MC45 が正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。 クレードルに電源が供給されていません。
緑色でゆっくり点滅 (2 秒に 1 回点滅)	MC45 は充電中です。
緑色の点灯	充電が完了しました。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は、8 時間以上)。

予備バッテリーの充電

アクセサリを使用して予備バッテリーを充電する方法については、第 8 章の「アクセサリ」を参照してください。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC45 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC45 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC45 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。表 1-1 を参照してください。

MC45 の電源の入れ方

電源ボタンを押して、MC45 の電源をオンにします。MC45 の電源がオンにならない場合は、リセットを実行します。2-17 ページの「MC45 のリセット」を参照してください。

MC45 の電源を初めてオンにすると、MC45 がフラッシュ ファイル システムを初期化している間、約 1 分間にわたって起動画面が表示され、その後調整ウィンドウが表示されます。これらのウィンドウは、リセット時也表示されます。

スクリーンの調整

- ✓ **注** 調整画面にアクセスするには、**ブルー キー - BKSP** キーの順に押すか、**[スタート]>[設定]>[システム]>[画面]>[全般]>[スクリーンの調整]** ボタンをタップします。

タッチ スクリーンのカーソル位置とスタイラスの先端の位置が揃うようにスクリーンを調整するには、次の手順に従います。

1. MC45 の背面にあるホルダーからスタイラスを外します。
2. 画面をタップすると調整が開始されます。
3. スタイラスを慎重に使用し、スクリーンに表示される各ターゲットの中央を短時間押し続けます。
4. ターゲットが移動したら、この動作を繰り返し行います。

バッテリー状態の確認

MC45 でメイン バッテリーまたはバックアップ バッテリーの充電状態を確認するには、**[スタート]>[設定]>電源** アイコンをタップして、**[電源]** ウィンドウを表示します。

バッテリーの交換

バッテリーを交換するには、次の手順に従います。

1. 赤色の電源ボタンを押して、デバイスを起動させます。
2. 赤色の電源ボタンを 3 秒間押して離します。画面が表示されます。**[電源オフ]** をタップして、MC45 の電源をオフにします。
3. 緑色のインジケータとイジェクトアイコンと赤のドットが見えるまで、バッテリー カバー ラッチを左にスライドします。バッテリー カバー が少し外に出ます。

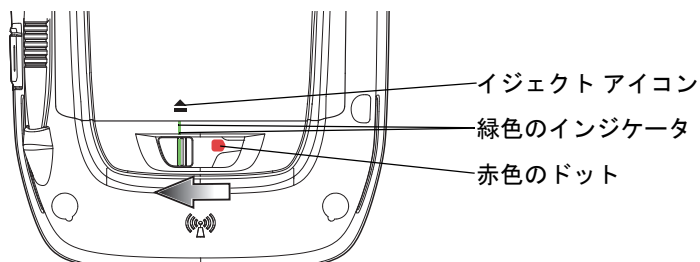


図 1-10 バッテリー カバー ラッチのロック解除

4. バッテリー カバーの下部を持ち上げて、取り外します。
5. バッテリー受けからバッテリーの上側を持ち上げ、取り出します。



注意 ドライバーや先のとがった物を使用してバッテリーを取り外そうとしないでください。

6. MC45 の背面のバッテリー コンパートメントに、交換用のバッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。



注 バッテリーの金色の接点が MC45 バッテリー コンパートメントの金色の充電ピンと合うように、正しくバッテリーを入れてください。

7. バッテリー カバー ラッチが開いている状態で、カバーの上側を差し込み、カバーの下側を押します。

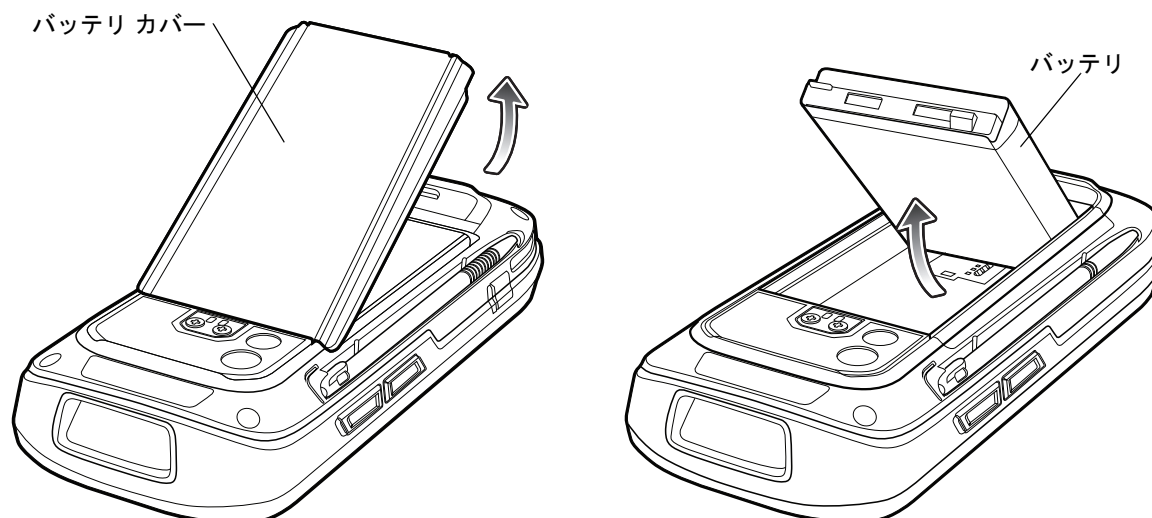


図 1-11 バッテリーの交換

8. 赤色のドットが見えなくなるまで、バッテリー カバー ラッチを右にスライドします。
9. 赤色の電源ボタンを押して、MC45 の電源をオンにします。

初回ネットワーク アクティベーション

GSM/UMTS アクティベーション

ネットワーク アクティベーション

GSM/UMTS ネットワークでアクティベートするには、次の手順に従います。

1. アクティブな SIM カードが MC45 にインストールされている場合、MC45 はアクティベーション プロセスを実行します。
2. [電話ネットワーク - GSM/UMTS セットアップ] ダイアログ ボックスが表示されます。

3. **[はい]**、**[OK]** の順にタップします。キャリアによっては、MC45 がリセットされます。
4. 起動中に、接続の設定のアップデートがないというメッセージが表示された場合は、**[スタート]>[設定]>[接続]>[電話ネットワークのセットアップ]** の順にタップしてから、**[接続の設定のアップデート]** ボタンをタップします。
5. ネットワークがサポートされていない場合は、手動でデータ接続と MMS 接続を設定するためのリンクを含んだメッセージが表示されます。

別のネットワークでの電話の設定とアクティベーションの詳細については、『MC45 Integrator Guide』を参照してください。

バッテリーの管理

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

✓ **注** MC45 の工場出荷時のデフォルト設定では、WLAN 無線通信はオフに設定されています。

- MC45 を使用しないときは、常に AC 電源に接続しておきます。
- アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC45 を設定します。
- アイドル状態で一定時間経過したらバックライトがオフになるように ET1 を設定します。
- 無線機能を使用していないときには、すべての無線機能をオフにします。
- 充電中は MC45 の電源をオフにします。これにより、充電時間を短縮できます。

電力設定の変更

アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC45 を設定するには、次の手順に従います。

1. **[スタート]>[設定]>電源アイコン>[詳細設定]** タブをタップします。
2. **[バッテリー使用時: 電源を切るまでのアイドル時間]** チェック ボックスをオンにして、ドロップダウン リストから値を選択します。
3. **[OK]** を選択します。

バックライトとキーライトの設定の変更

バックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1. **[スタート]>[設定]>[システム]** タブ > **バックライトとキーライト アイコン** > **[バッテリー電源]** タブをタップします。
2. **[バックライトをオフにするまでのアイドル時間]** チェック ボックスをオンにして、ドロップダウン リストから値を選択します。
3. **[輝度]** タブを選択します。
4. **[バックライトを無効にする]** チェック ボックスをタップして、ディスプレイのバックライトをオフにするか、スライダを使用してバックライトの値を低くします。
5. **[OK]** を選択します。

無線通信をオフにする方法

Windows Embedded Handheld 6.5 デバイスには、デバイスのすべての無線機能を 1 か所で有効にしたり、無効にしたり、設定したりすることができる**ワイヤレス マネージャー**が搭載されています。

ワイヤレス マネージャーを開くには、[ステータス バー] > 接続アイコン > [今日] 画面で [ワイヤレス マネージャー] をタップします。



図 1-12 接続アイコンのタップ

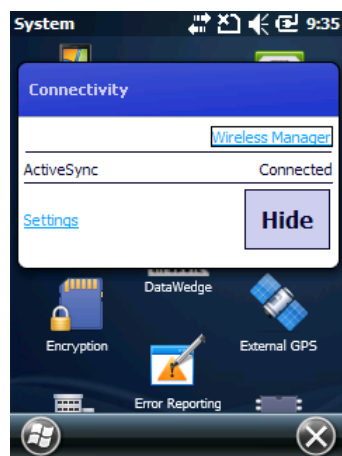


図 1-13 ワイヤレス マネージャーの開き方

[ワイヤレス マネージャー] を選択します。



図 1-14 [ワイヤレス マネージャー] ウィンドウ

✓ **注** 無線接続のオプションは、構成によって異なります。

無線接続を有効または無効にするには、目的のボタンをタップします。

すべての無線接続を有効または無効にするには、**[すべて]** ボタンをタップします。

接続の設定を行うには、**[メニュー]** をタップします。



図 1-15 ワイヤレス マネージャーの [メニュー] の項目

第 2 章 MC45 の使用

はじめに

✓ **注** WLAN 機能は MC4597 でのみ利用できます。

ここでは、MC45 のボタン、ステータス アイコン、コントロールについて説明します。また、電源の入れ方、MC45 のリセット方法、データの入力やキャプチャ方法など、MC45 の基本的な使用方法についても説明します。

MC45 の工場出荷時のデフォルトの無線通信状態は、次のように設定されています。

- WLAN - オフ
- Bluetooth - オフ
- 電話 - オン

ホーム画面

ホーム画面の上部にはステータス バーがあり、中央には [今日] 画面、下部にはソフト キーがあります。それぞれの説明は次のとおりです。

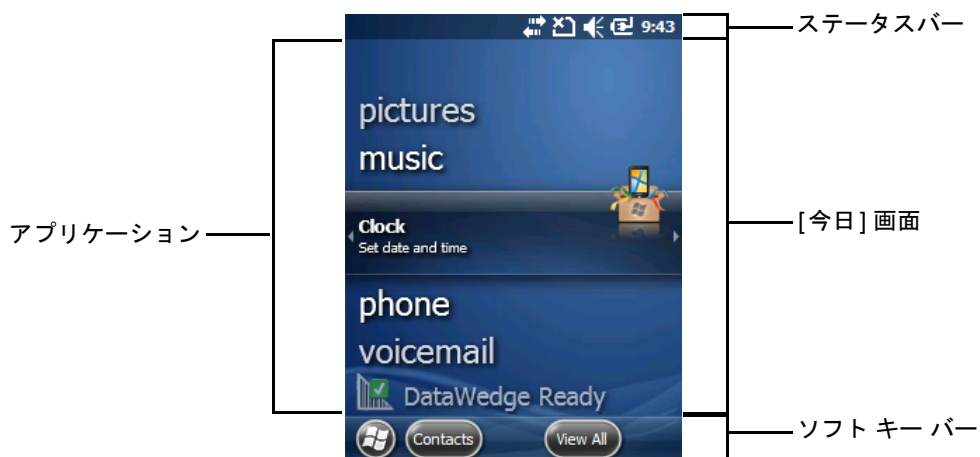


図 2-1 ホーム画面

ステータスバー

画面の上部のステータス バーには、表 2-1 に示しているステータス アイコンが表示されます。

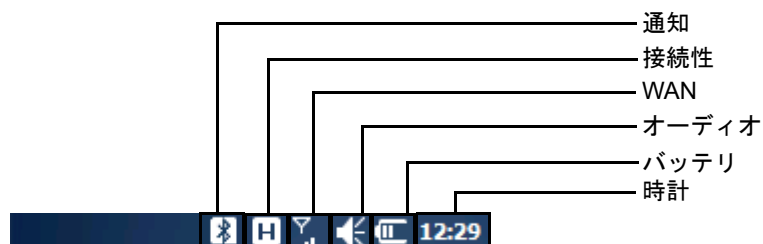

















表 2-1 ステータス アイコン

アイコン	説明
通知	
	1 つまたは複数のインスタント メッセージを受信したことを示します。
	1 つまたは複数の電子メール/テキスト メッセージを受信したことを示します。
	1 つまたは複数のボイス メッセージを受信したことを示します。
	スピーカがオンになっています。
	表示しきれない通知アイコンがあります。このアイコンをタップすると、残りのアイコンが表示されます。
	今後のカレンダー イベントの通知を示します。
	電子メール メッセージが届いています。
	MMS メッセージを受信しています。
	MMS メッセージを送信しています。

表 2-1 ステータス アイコン (続き)

アイコン	説明
	MMS メッセージは問題なく送信されました。
	MMS メッセージは問題なく受信されました。
	Bluetooth が有効になっています。
	TTY ヘッドセットが有効になっています。
	TTY HCO が有効になっています。
	TTY VCO が有効になっています。
	Microsoft カスタマ フィードバック アラートです。
接続性	
	接続がアクティブです。
	接続が非アクティブです。
	同期中です。
	WLAN が利用可能です。
	WLAN を使用中です。
	HSDPA を使用できます。
	3G を使用できます。
	GPRS を使用できます。
	EGPRS を使用できます。
	不在着信です。
WAN	
	SIM カードが装着されていない状態でダイヤルしました。
	音声通話中です。
	通話を転送しました。
	通話保留中です。
	アンテナ/信号アイコン: 無線オン/信号良好。
	アンテナ/信号アイコン: 無線オフ。
	アンテナ/信号アイコン: サービスなし、または検索中。
	HSDPA 接続中です。
	HSDPA 使用中です。
	3G 接続中です。
	3G 使用中です。

表 2-1 ステータス アイコン (続き)

アイコン	説明
	GPRS 接続中です。
	GPRS 使用中です。
	EGPRS 接続中です。
	EGPRS 使用中です。
	ローミング中です。
	SIM カードが装着されていません。
オーディオ	
	すべてのサウンドがオンになっています。
	すべてのサウンドがオフになっています。
	バイブがオンになっています。
バッテリー	
	バッテリーが充電中です。
	バッテリーがフル充電されています。
	バッテリーの充電残量は十分あります。
	メイン バッテリーの充電残量が中程度です。
	メイン バッテリーの充電残量が少なくなっています。
	メイン バッテリーの充電残量が非常に少なくなっています。

アイコン バー

ステータス バーをタップすると、アイコン バーが表示されます。アイコンをタップすると、通知またはステータスの追加情報を表示できます。

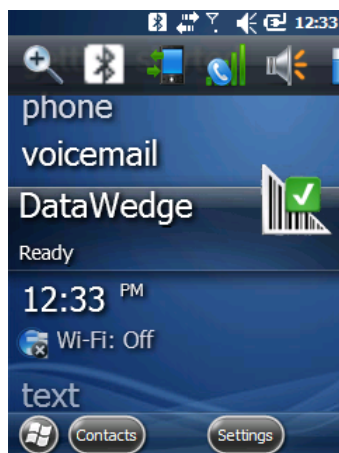













図 2-2 アイコン バー

表 2-2 バー アイコン

アイコン	名前	説明
	虫眼鏡	スクリーンを拡大します。
	Bluetooth	[Bluetooth] ダイアログ ボックスが表示されます。
	WLAN	[ネットワークの検出] ダイアログ ボックスが表示されます。
	ボイスメール	ボイスメールを発信します。
	通知	通知があることを示します。
	ヘッドセット	無線ステレオ ヘッドセットが MC45 に接続されていることを示します。
	接続性	[接続] ダイアログ ボックスが表示されます。
	電話データ	[電話] ダイアログ ボックスが表示されます。
	音量	[音量] ダイアログ ボックスが表示されます。
	電源	[電源] ウィンドウが表示されます。
	時計とアラーム	[時計とアラーム] ウィンドウが開きます。

[今日] 画面

[今日] 画面はスクロール可能で、この画面にはアプリケーションの一覧および情報ステータス バーがあります。情報ステータス バーでは、その下のアプリケーションが強調表示され、追加情報が表示されます。

指で画面に触れてそのままの状態を維持し、[今日] 画面を上下に移動させます。アプリケーション名が情報ステータス バーの下に移動すると、そのアプリケーションに関連する情報がバーに表示されます。

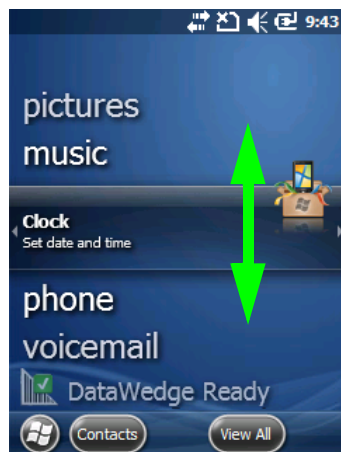


図 2-3 [今日] 画面の移動

また、情報ステータス バーに触れてそのままの状態ですべてのアプリケーション名を移動することもできます。指を離すと、情報ステータス バーとアプリケーション名が画面中央になります。

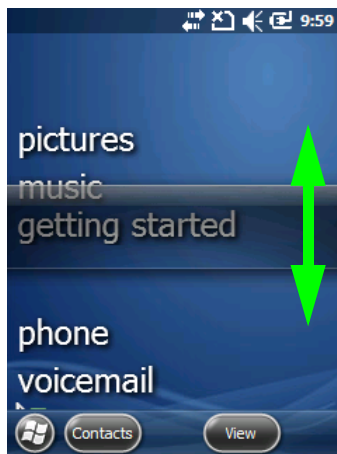


図 2-4 情報ステータス バーの移動

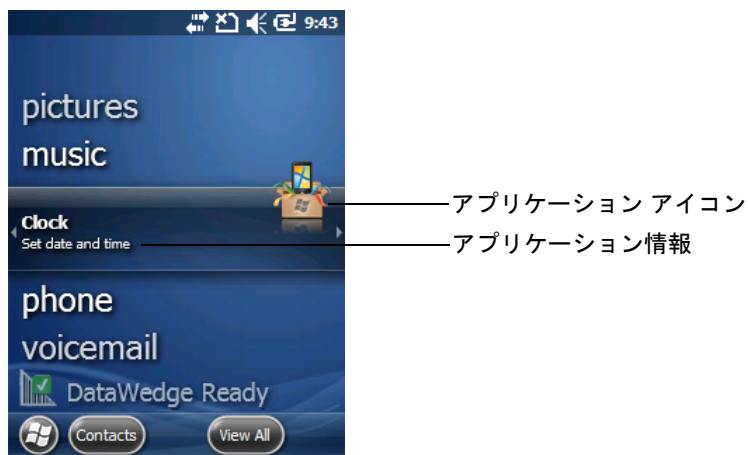


図 2-5 情報バーの例

[今日] 画面をカスタマイズするには、[スタート]>[設定]> 今日アイコンをタップします。背景をカスタマイズするには [デザイン] タブを使用し、表示形式を変更するには [項目] タブを使用します。

クラシック [今日] 画面

ユーザーは、[今日] 画面を Windows Mobile 6.5.3 で使用されるクラシック レイアウトに変更できます。



図 2-6 クラシック [今日] 画面

クラシック ビューに変更するには、[スタート]>[設定]>今日アイコン>[項目] タブの順にタップします。

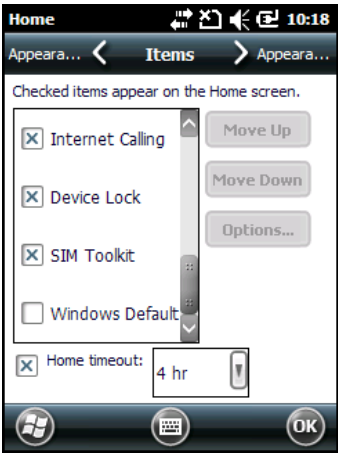


図 2-7 [今日] 画面の設定

[Windows デフォルト] チェックボックスの選択を解除し、他のチェックボックスを選択します。

[OK] をタップします。

✓ 注 タスク バーはクラシック ビューでのみ表示されます。

画面下部のタスク バーには、表 2-3 に示しているタスクトレイアイコンが表示されます。

表 2-3 タスクトレイアイコン

アイコン	名前	説明
	無線接続ステータス	WLAN 信号強度を示します。
	ActiveSync	MC45 とホスト コンピュータ間のシリアル接続が有効です。
	DataWedge	DataWedge インターフェースへのアクセスを提供します。

ソフト キー バー

ソフト キー バーは画面下部にあり、これには 2 つのソフト キー ボタンがあります。これらのボタンは、アクションおよびコンテキスト メニューを表示し、アプリケーションごとに動的に変化します。たとえば、連絡先リストビューでは、ソフト キーは【新規】と【メニュー】です。ユーザーが編集ビューで新しい連絡先の作成を開始すると、ソフト キーは【完了】と【メニュー】に変化します。

【スタート】画面

【スタート】画面には、ユーザーが利用できるアプリケーションとフォルダが一覧表示されます。表 2-4 に、【スタート】画面で一覧表示されるデフォルトのプログラムおよびフォルダを示します。

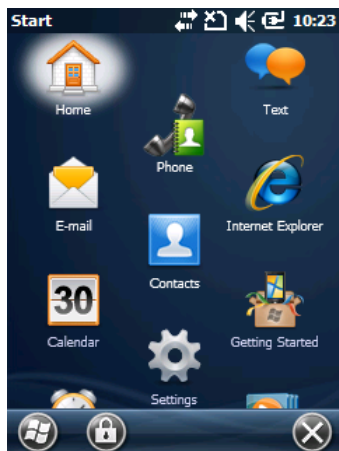


図 2-8 【スタート】画面

表 2-4 【スタート】画面のプログラムおよびフォルダ

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	今日	【スタート】メニューを閉じ、【今日】画面を表示します。		電子メール	電子メールを送信します。
	テキスト	SMS テキスト メッセージを送信します。		連絡先	友人および同僚を管理します。
	カレンダー	予定を管理したり、会議出席依頼を作成します。		Internet Explorer	Web サイトや WAP サイトを参照したり、インターネットから新しいプログラムやファイルをダウンロードします。
	設定	【設定】フォルダを開きます。2-11 ページの「設定フォルダ」を参照してください。		画像とビデオ	画像、アニメーション GIF、ビデオ ファイルを表示および管理します。
	ご使用の前に	ご使用の前にアプリケーションを起動します。		Windows Media	オーディオ ファイルとビデオ ファイルを再生します。

表 2-4 [スタート] 画面のプログラムおよびフォルダ (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Messenger	モバイル バージョンの Windows Live Messenger を使用します。		マーケットプレイス	マーケットプレイスからアプリケーションを購入します。
	電話	電話をかける、電話を受ける、通話を切り替える、会議通話を設定します。		MSN 天気予報	地域の天気予報を確認します。
	Windows Live	このモバイル バージョンの Windows Live™ を使用して、Web で情報を検索します。		MSN マネー	ファイナンスを管理します。
	ゲーム	ゲームをプレイします。		リモートデスクトップ	Windows NT サーバー環境のコンピュータにログオンして、そのコンピュータで使用可能なすべてのプログラムを MC45 から使用します。
	メモ	手書きのメモやタイプしたメモ、図、および音声録音を作成します。		電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な演算および計算を行います。
	タスク	タスクを管理します。		ファイルエクスプローラ	デバイス上のファイルを整理および管理します。
	ActiveSync	MC45 とホスト コンピュータまたは Exchange Server 間で情報を同期します。		Office Mobile	モバイル デバイスで Microsoft® Office アプリケーション スイートのすべてのアプリケーションを使用できます。 Excel Mobile OneNote Mobile PowerPoint Mobile Word Mobile
	インターネット共有	MC45 のデータ接続を使用して、ノートブック コンピュータをインターネットに接続します。		タスクマネージャ	メモリおよび CPU の割り当てを表示し、プロセスを停止します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Embedded Handheld 6.5.3 User Guide』を参照してください。

表 2-4 [スタート] 画面のプログラムおよびフォルダ (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	電話の検索	MC45 上の連絡先、データ、その他の情報を検索します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Embedded Handheld 6.5.3 User Guide』を参照してください。		ワイヤレス コンパニ オン	ワイヤレス コンパニオン フォルダを開きます。
	ヘルプ	現在の画面またはプログラムのヘルプ トピックを表示します。		AirBEAM Client	特別に設計されたソフトウェア パッケージをホスト サーバーと MC45 間で転送 できます。詳細については、 『MC45 Integrator Guide』を 参照してください。
	SMS Staging	SMS Staging メッセージを遮 断し、元のステージング プ ロファイルに再構築します。		MSP Agent	MSP Agent と通信して、 監視情報および資産情報を 収集し、MC45 の構成、 プロビジョニング、トラブ ルシューティングを行える ようにします。詳細につい ては、『MC45 Integrator Guide』を参照してく ださい。
	Rapid Deployment Client	Mobility Services Platform Console FTP サーバーから MC45 ヘソフトウェアをダ ウンロードすることができます。詳細については、 『MC45 Integrator Guide』を 参照してください。		デモ	デモ アプリケーションを起 動します。このアイコンは、 デモ アプリケーションがイン ストールされた後に表示 されます。
	アラーム	時計を自分の地域の日時に 設定します。また、指定し た曜日の時間にアラームを 設定します。		ツール ボックス	Adobe Reader、Streaming Player およびボイス コマン ダー が入っています。
	デバッグ	RIL Logger および RTLogExport が入ってい ます。Zebra サポート担当者 に指示された場合に使用し ます。			

設定フォルダ

表 2-5 に、MC45 にあらかじめインストールされている設定アプリケーションを示します。設定フォルダを開くには、[スタート]>[設定]の順にタップします。

表 2-5 設定フォルダの設定アプリケーション

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	時計とアラーム	デバイスの時計を自分の地域の日時に設定したり、出張時に出張先の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。		電源	バッテリー残量を確認したり、バッテリー電力を節約するためにディスプレイをオフにするタイムアウトを設定します。
	ロック	MC45 のパスワードを設定します。		サウンドと通知	イベントや通知などのサウンドを有効にしたり、各イベントの通知の種類を設定します。
	接続フォルダ	接続アプリケーション (下記参照) が含まれます。		ホーム	[今日] 画面のデザインおよびそこに表示される情報をカスタマイズします。
	個人フォルダ	個人アプリケーション (下記参照) が含まれます。		Bluetooth	Bluetooth アプリケーションを開き、MC45 を可視モードに設定し、範囲内の他の Bluetooth デバイスをスキャンします。
	システムフォルダ	システム アプリケーション (下記参照) が含まれます。			

接続フォルダ









	ビーム	受光 IrDA ビームを受信するように MC45 を設定します。		接続	電話のダイヤルアップ、GPRS、Bluetooth など、1 つまたは複数の種類のモデム接続を設定して、デバイスがインターネットやプライベート ローカル ネットワークにアクセスできるようにします。
	ドメインへの登録	デバイス管理およびセキュリティのため、AD ドメインメンバーに登録します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。		GPS アシスト	MC45 の位置をすばやく特定できます。

表 2-5 設定フォルダの設定アプリケーション (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	電話ネットワークのセットアップ	電話をアクティブにし、ネットワークをセットアップします。		USB 接続	拡張ネットワーク接続を有効または無効にします。
	WLAN	無線ネットワーク接続をセットアップしたり、設定をカスタマイズします。		ワイヤレスマナー ジャー	MC45 の無線通信を有効または無効にしたり、WLAN、Bluetooth の設定をカスタマイズします。

個人フォルダ

	ボタン	ボタンにプログラムを割り当てます。		オーナー情報	個人情報を入力します。
	入力	各入力方法のオプションを設定します。		電話	電話の設定を行います。
	キーのリマップ	ハード キーパッドでキーをリマップします。		ボイス コマンダー の設定	ユーザーが MC45 で音声コマンドを使用できるようにします。

システム フォルダ









	バージョン情報	Windows Mobile® のバージョンや MC45 に搭載されているプロセッサの種類などの基本的な情報を表示します。		証明書	MC45 にインストールされている証明書に関する情報を表示します。
	バックライトとキーライト	ディスプレイのバックライトとキーライトのタイムアウトを設定したり、輝度を調整します。		カスタマ フィード バック	Windows Mobile 6 ソフトウェアに関するフィードバックを送信します。
	エラー報告	デバイスのエラー報告機能を有効または無効にします。この機能を有効にして、プログラム エラーが発生すると、プログラムとコンピュータの状態に関する技術データがテキスト ファイルに記録され、Microsoft のテクニカル サポートに送信するように選択した場合はそれが送信されます。		暗号化	ストレージ カード上のファイルを暗号化できます。暗号化されたファイルは、自分のデバイスでのみ読み取ることができます。
	DataWedge	バーコードのスキャン機能を有効または無効にします。		デバイス 情報	MC45 ハードウェア情報を表示します。

表 2-5 設定フォルダの設定アプリケーション (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	外部 GPS	必要に応じて、適切な GPS 通信ポートを設定します。デバイス上に GPS データにアクセスするプログラムがある場合、または GPS レシーバをデバイスに接続する場合に、この設定を行う必要があります。		管理プログラム	Mobile Device Manager を使用して MC45 にインストールされたプログラムを表示します。
	タスクマネージャ	プログラムの実行を停止します。		メモリ	デバイスのメモリ割り当てステータスとメモリカードの情報を確認したり、現在実行中のプログラムを停止します。
	地域	数字、通貨、日付、時刻の表示形式など、MC45 で使用する地域設定を行います。		プログラムの削除	MC45 にインストールしたプログラムを削除します。
	システム情報	MC45 のソフトウェアおよびハードウェア情報を表示します。		画面	スクリーンの向きを変更したり、スクリーンを調整したり、スクリーンのテキストのサイズを変更します。

音量を調節する

ナビゲーション バーのスピーカ アイコンを使用してシステムの音量を調節するには、次の手順に従います。

1. スピーカ アイコンをタップします。[音量] ダイアログ ボックスが表示されます。

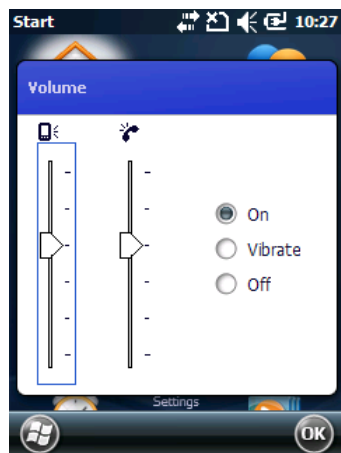


図 2-9 [音量] ダイアログ ボックス

2. スライド バーをタップして移動し、音量を調節します。
3. [オン] または [オフ] ラジオ ボタンを選択して、音量のオン/オフを切り替えます。

[サウンドと通知] ウィンドウまたは MC45 の側面の^上/_下ボタンを使用してシステムの音量を調節することもできます。

バッテリー ステータス表示

バッテリー アイコンは、ナビゲーション バーに表示され、バッテリー電力の残量を示します。バッテリー電力の残量が定義済みのレベルを下回ると、アイコンによりステータスが示され、バッテリー電力のステータスを示すバッテリー ダイアログ ボックスが表示されます。

[今日] 画面が表示されている場合、バッテリー アイコンは常にナビゲーション バーに表示されます。このアイコンは、バッテリー電力の残量を示します。メッセージは、[消去] ボタンを押すまで表示されます。



図 2-10 タイトル バー上のバッテリー アイコン

[電源] ウィンドウでバッテリーのステータスを確認することもできます。

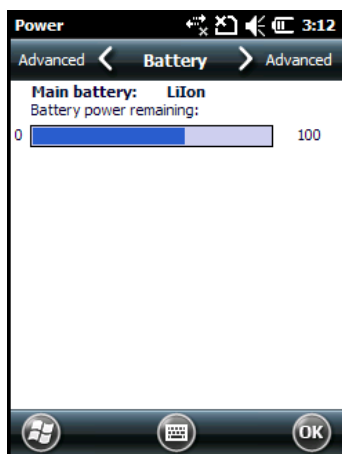


図 2-11 バッテリー状態

LED インジケータ

MC45 には、1 つの LED インジケータがあります。充電 / バッテリ状態 LED は、バッテリーの残量と状態を示します。

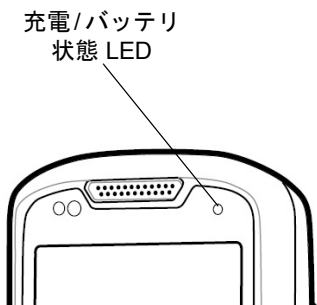


図 2-12 LED インジケータ

表 2-6 LED インジケータ

LED の状態	意味
充電 / バッテリ状態 LED	
緑色でゆっくり点滅	MC45 内のバッテリーを充電中です。
緑色の点灯	MC45 内のバッテリーがフル充電されました。
赤色で速く点滅	充電エラーです。
消灯	充電していません。
緑色で 1 回点滅 (電源ボタンを押したとき)	起動が開始されました。

- ✓ 注 過熱状態が 30 分以上続いた場合にのみ充電エラー インディケーションが表示されます。
- ✓ 注 スキャン / 読み取りについては、第 3 章の「データ収集」を参照してください。WAN 無線通信の状態と設定については、第 4 章の「電話の使用」を参照するか、『MC45 Integrator Guide』を参照してください。

MC45 のリセット

リセットするには、電源ボタン、[1] キー、[9] キーを同時に押します。

MC45 のウェイクアップ

ウェイクアップ条件によって、モバイル コンピュータがサスペンド モードになった後に、それをウェイクアップする操作を定義します。モバイル コンピュータは、電源ボタンを押した場合に、または [コントロール パネル] のタイムアウト設定によって自動的に、サスペンド モードになります。これらの設定は変更可能です。示されている工場出荷時のデフォルト設定は、変更/更新されることがあります。ウェイクアップ状態を変更するには、[スタート]>[設定]>[電源]>[ウェイクアップ] をタップします。

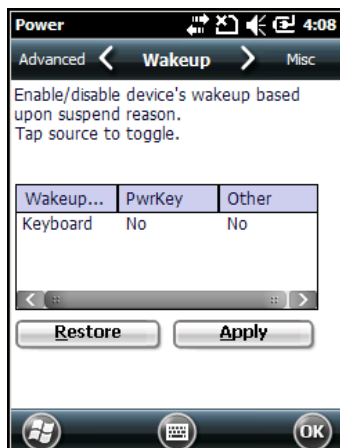


図 2-13 ウェイクアップ デバイス ウィンドウ

MC45 のロック

✓ **注** MC45 がロックされている場合でも、緊急通話は行えます。

デバイス ロック機能を使用して、デバイスが使用されないようにします。ロックすると、MC45 はスクリーンまたはキーパッドでの入力に応答しなくなります。

MC45 をロックするには、[スタート]>[ロック] をタップするか、または電源ボタンを 3 秒間押して [デバイスのロック] をタップします。[ロック] 画面が表示されます。

MC45 のロックを解除するには、[ロック] ボタンを左から右にスライドします。



図 2-14 [ロック解除] デバイス ウィンドウ

MC45 がパスワードでロックされている場合は、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

パスワード ロック

[パスワード] ウィンドウでパスワードを設定し、MC45 への不正なアクセスを防止します。

- ✓ **注** ネットワークに接続できるよう設定されている場合は、強力な (解読されにくい) パスワードを設定してネットワークのセキュリティを保護します。パスワード解読ツールは日々向上しており、パスワードの解読に使用されるコンピュータはかつてないほど性能がよくなっています。

1. [スタート] > [設定] > ロック アイコン > [パスワード] タブをタップします。

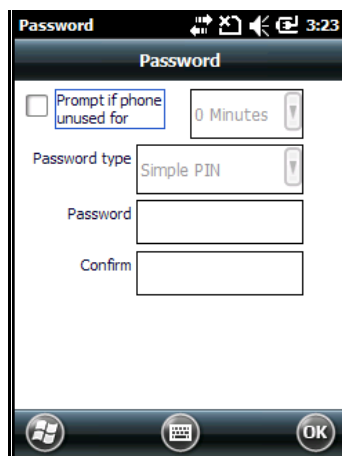


図 2-15 [パスワード] ウィンドウ - [パスワード] タブ

2. [パスワード入力が必要になるまでの時間] チェック ボックスをオンにして、パスワード保護を有効にします。
3. アイドル状態からパスワード保護を有効にするまでの時間をドロップダウン リストから選択します。
4. [パスワードタイプ:] ドロップダウン リストから、[数字の簡易パスワード] または [強力な英数字のパスワード] のいずれかを選択します。

5. 簡易パスワードの場合は、4桁のパスワードを【パスワード】フィールドに入力します。
強力なパスワードの場合は、
 - a. 【パスワード:】フィールドに7文字のパスワードを入力します。強力なパスワードは7文字以上で、大文字、小文字、数字、句読点から3種類以上を含める必要があります。
 - b. 【確認:】フィールドにパスワードを再入力します。
6. 【OK】をタップします。
7. パスワードを思い出すためのヒントを設定するには、【ヒント】タブをタップします。
8. テキスト ボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
9. 【OK】をタップします。

✓ **注** MC45 がパスワードでロックされている場合でも、緊急通話は行えます。

一定時間使用されていなかった MC45 にアクセスしようとする、【パスワード】ウィンドウが表示されます。このウィンドウは、MC45 がクレードルまたは通信ケーブル経由でホスト コンピュータに接続されるときにも表示されます。

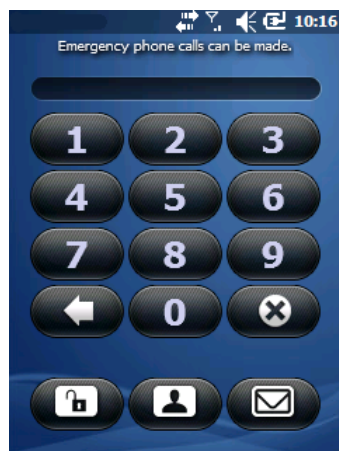


図 2-16 【パスワードの入力】ウィンドウ

ロックを解除するパスワードを入力します。

【ロック解除】ボタンをタップしてデバイスのロックを解除して【今日】画面に移動するか、【連絡先】ボタンをタップしてデバイスのロックを解除して【連絡先】ウィンドウに移動するか、【電子メール】ボタンをタップしてデバイスのロックを解除し、【メッセージング】ウィンドウに移動します。

機能ボタン

MC45 のボタンは、特定の機能を実行します。

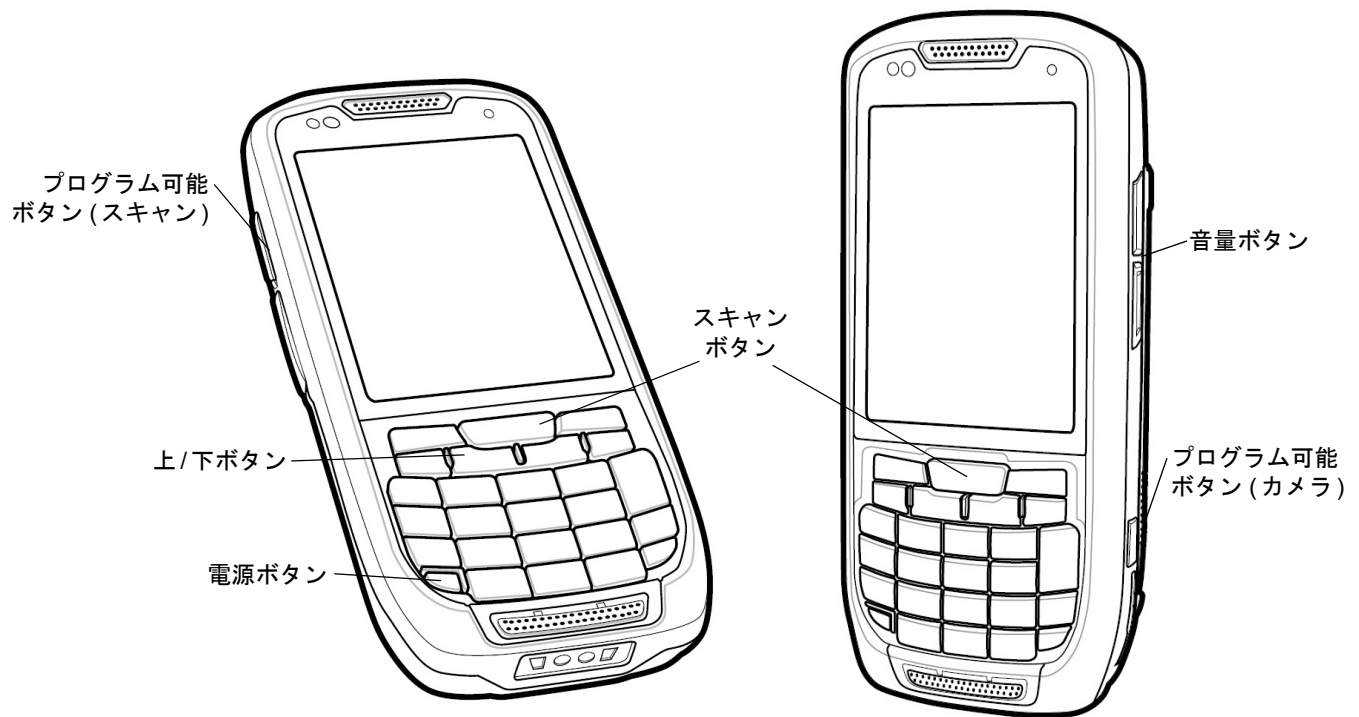


図 2-17 機能ボタン

- **電源**: 赤色の電源ボタンを押すと、MC45 の画面のオン/オフが切り替わります。画面がオフになっている場合、MC45 はサスペンド モードになっています。詳細については、[1-8 ページの「MC45 の電源の入れ方」](#)を参照してください。電源ボタンは、ウォーム ブートまたはコールド ブートを実行して MC45 をリセットする際にも使用します。[2-17 ページの「MC45 のリセット」](#)を参照してください。
- **スキャン**: バーコードをスキャンしたり、画像をキャプチャする場合に押します。[第 3 章の「データ収集」](#)を参照してください。または、アプリケーションを開いたり、機能を実行する場合に押します。開くアプリケーションの設定方法については、『Microsoft® Applications for Windows Embedded Handheld 6.5 User Guide』を参照してください。
- **上/下**: MC45 の音量を調節する場合に押します。

スタイラス

MC45 のスタイラスを使用して、項目を選択したり、情報を入力します。スタイラスはマウスと同様に機能します。

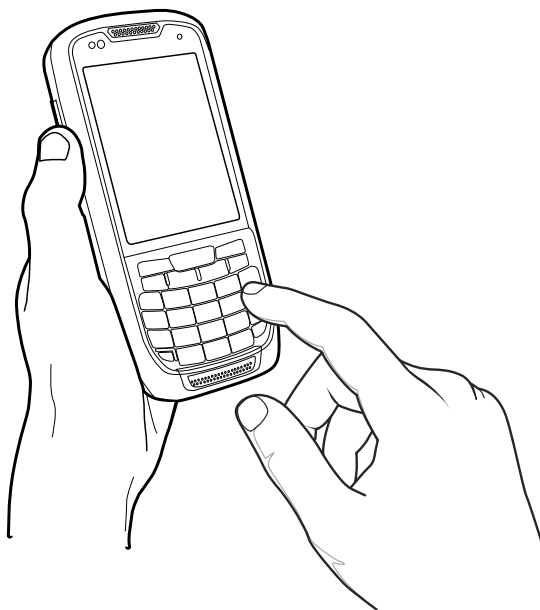
- タップ: オプション ボタンを押したり、メニュー項目を開くには、スタイラスでスクリーンを 1 回タッチします。
- タップして押し続ける: ある項目で実行可能な操作の一覧を表示するには、スタイラスでその項目をタップして押し続けます。表示されるポップアップメニューで、実行する操作をタップします。
- ドラッグ: テキストや画像を選択するには、スタイラスでスクリーンをタップして、スタイラスを押したままドラッグします。複数の項目を選択するには、リストにドラッグします。



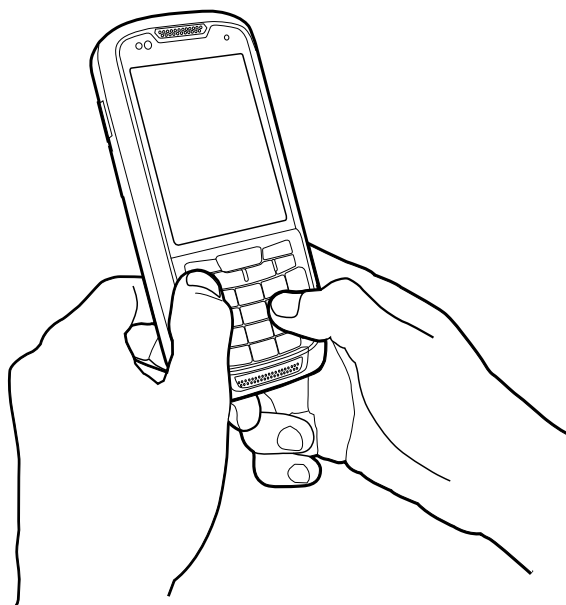
注意 画面を傷めないように、Zebra 製のスタイラス以外は使用しないでください。

データを入力する

キーパッドでデータを入力する際には、片手または両手で入力します (図 2-18 を参照)。



片手での操作



両手での操作

図 2-18 キーパッドでのデータの入力

ディスプレイの向き

ポートレートとランドスケープの間を手動で回転させることができます。画面の向きを変更するには、[スタート]>[設定]>[システム]>[画面]>[全般] タブをタップし、3 種類の向きから選択します。

- ポートレート
- ランドスケープ (右手用)
- ランドスケープ (左手用)

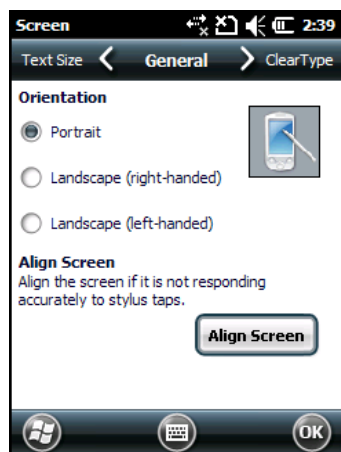


図 2-19 [ディスプレイの向き] ウィンドウ

写真の撮影

写真を撮影するには、次の手順に従います。

1. 側面にあるカメラ ボタンを押すか、[スタート]>[画像とビデオ] をタップし、コマンド バーで [カメラ] をタップします。
2. ビュー ファインダーで画像を確認して、必要に応じて調整します。
3. 側面にあるカメラ ボタンを押すか、Enter キーを押して写真を撮影します。カメラのフラッシュが点灯するか、シャッター音がするまでそのままの状態 MC45 を持ち続けます。

ビデオの録画

ビデオ クリップを録画するには、次の手順に従います。

1. 側面にあるカメラ ボタンを押すか、[スタート]>[画像とビデオ] をタップし、コマンド バーで [カメラ] をタップします。
2. コマンド バーで [カメラ] をタップします。
3. [メニュー]>[ビデオ] をタップして、ビデオ撮影モードを設定します。

録画可能な時間が画面に表示されます。

✓ **注** デフォルトでは、ビデオの録画時間は 30 秒に設定されています。

4. OK キーを押すか、または側面にあるカメラ ボタンを押して録画を開始します。
OK キーを押すか、または側面にあるカメラ ボタンを再び押すと、録画が停止されます。

写真やビデオの表示

写真やビデオ クリップを表示するには、次の手順に従います。

1. [スタート]> 画像とビデオ アイコンをタップします。
2. 表示する画像またはビデオ クリップをタップします。

第 3 章 データ収集

はじめに

MC45 には、次の 2 種類のデータ収集オプションがあります。

- レーザ スキャン
- カラー デジタル カメラ

MC45 には、ユーザーがカメラでバーコード データをデコードしたり、バーコード コンテンツを表示したりできる、**DataWedge** アプリケーションがあります。**DataWedge** を有効にする方法については、[3-4 ページの「DataWedge」](#)を参照してください。

レーザ スキャン

統合レーザ スキャナ搭載の MC45 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的な 1-D コードを含む、各種バーコード シンボルの読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な照準機能。
- 適応型スキャン。

スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- 範囲


スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。

範囲内でスキャンすることで、すばやく信頼性の高い読み取りを実行できます。近すぎたり遠すぎると、正しく読み取ることができません。スキャナ近づけたり遠ざけて、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。

- 角度
スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。
- 大きなシンボルの場合は、MC45 を離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、MC45 を近づけてください。

✓ **注** スキャン手順は、アプリケーションと MC45 の構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

バーコード スキャナ

 **注意** 目などにスキャン光線を向けないでください。

1. スキャン対応アプリケーションが MC45 にインストールされていることを確認します。

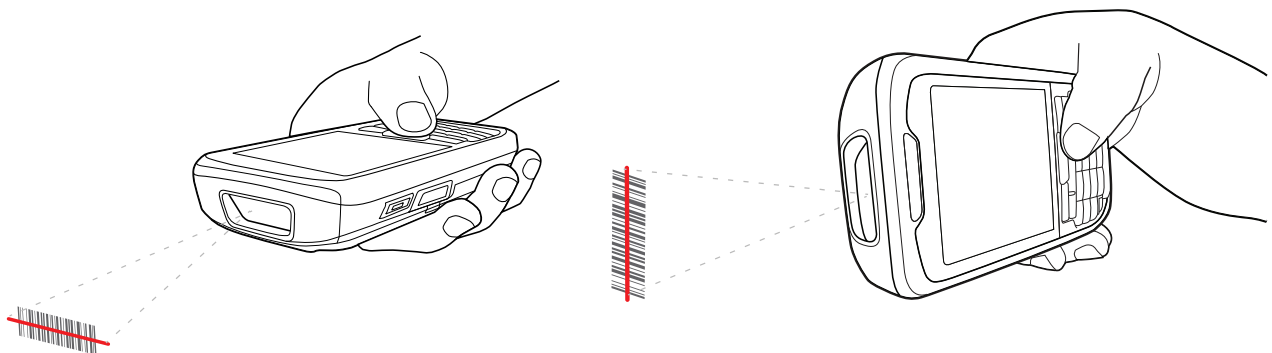


図 3-1 リニア スキャン

2. スキャン ボタンを押し続けます。レーザ光が MC45 の先端から照射されます。赤色のスキャン光線がバーコード全体をカバーしていることを確認します。スキャン/読み取り LED が赤色で点灯し、スキャン中であることを示します。その後、緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。



図 3-2 リニア スキャナの照準パターン

3. スキャン ボタンを放します。

適応型スキャン

MC45 には、近距離から 200 インチを超える距離まで、バーコードをすばやく簡単にスキャンするためのスキャン光線の幅を自動的に調整する適応型スキャン機能があります。

MC45 のデフォルトでは、スキャン光線の幅が広く設定されています。スキャン ボタンを押すと、バーコードまでの距離が判断されます。近距離のバーコードの場合は広い光線幅に設定され、遠距離のバーコードの場合は狭い光線幅に設定されます。MC45 は距離、バーコードのタイプ、素材を利用して適切なスキャン光線幅を判断します。

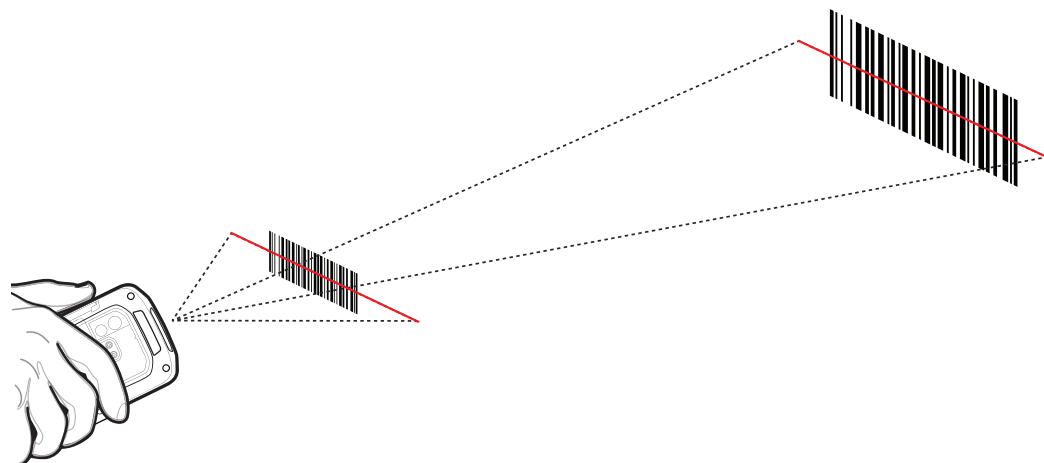


図 3-3 適応型スキャン

カラー デジタル カメラ

統合カラー デジタル カメラ搭載の MC45 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能照準機能。

デジタル カメラによるスキャン

1. スキャン対応アプリケーションが MC45 にインストールされていることを確認します。
2. MC45 の背面にあるカメラのレンズをバーコードに向けます。
3. スキャン ボタンを押し続けます。イメージ ウィンドウで、カメラをバーコードの上に合わせます。

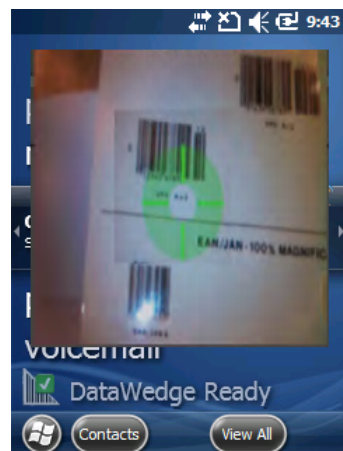


図 3-4 デジタル カメラによるスキャン

4. スキャン/読み取り LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。スキャン ボタンを放します。

✓ **注** カメラ デコード機能は、デフォルトでバーコードの読み取り時に自動的にデコードするように設定されています。この機能は、デコードが正常に行われた場合に緑色に変わる赤の照準を表示してバーコードが正しくデコードされ、スキャン ボタンを離すように示すようにプログラムできます。

DataWedge

DataWedge を使用して、収集したバーコード データをアプリケーションのテキスト フィールドに入力できます。

DataWedge を有効にするには、次の手順に従います。

1. **[スタート] > [設定] > [システム] > [DataWedge]** をタップします。
2. **[基本設定]** をタップします。
3. **[1. バーコード入力]** をタップします。
4. 次のいずれかを選択します。
 - a. **[1. SSI スキャナドライバ]** をタップします。
 - b. カメラの場合、**[2. カメラ スキャナ ドライブ]** をタップします。
5. **[1. 有効]** をタップします。
6. **[0. 戻る]** をタップします。
7. **[0. 戻る]** をタップします。
8. **[0. 終了]** をタップします。
9. **[OK]** をタップします。
10. **[実行中]** オプションをタップして、DataWedge プロセスを開始します。DataWedge ステータスが **[対応]** に変わります。
11. **[OK]** をタップします。

DataWedge を無効にするには、次の手順に従います。

1. **[スタート] > [設定] > [システム] > [DataWedge]** をタップします。
2. **[実行中]** オプションをタップして、DataWedge プロセスを終了します。DataWedge ステータスが **[停止]** に変わります。
3. **[OK]** をタップします。

第 4 章 電話の使用

はじめに

MC45 を使用して、電話をかけたり、短縮番号を設定したり、通話を管理したり、テキスト メッセージを送信したりすることができます。また、無線サービス プロバイダによっては、音声メール、通話転送、発信者 ID などのサービスが提供されていることもあります。

また、統合されている電話機能を使用して、ISP や企業ネットワークに接続して、Web を閲覧したり電子メールを読むこともできます。インターネットや企業ネットワークには、セルラー回線を使用して、High-Speed Downlink Packet Access (HSDPA) で接続するか、モバイル オペレータに指定されたモデムを使用して接続します。MC45 の電話機能の詳細、および電話機能の設定を変更してカスタマイズする方法については、『MC45 Integrator Guide』を参照してください。

電話ダイヤラへのアクセス

- ✓ **注** ダイヤラは、キャリア、サービス、電話の状態によって異なります。たとえば、電話会議を確立するには、通話を保留にして ➤ を選択します (4-16 ページの「MC45 での会議通話」を参照してください)。

使用しているプログラムにかかわらず、ダイヤラにアクセスできます。MC45 上のアプリケーションは、通話中も使用できます。



図 4-1 電話ダイヤラ

電話ダイヤラにアクセスするには、[スタート]>[電話]をタップするか、または  を押します。

MC45 がサスペンド モードになっているときに電話を受けるには、電話の無線をオンのままにしておき、任意のキーでウェイクアップするように MC45 を設定します。

電話のオン/オフの切り替え

Windows Embedded Handheld 6.5 デバイスにはワイヤレス マネージャーが搭載されていて、これを使用して簡単に電話のオン/オフを切り替えることができます。

ワイヤレス マネージャーを開くには、接続アイコンをタップします。

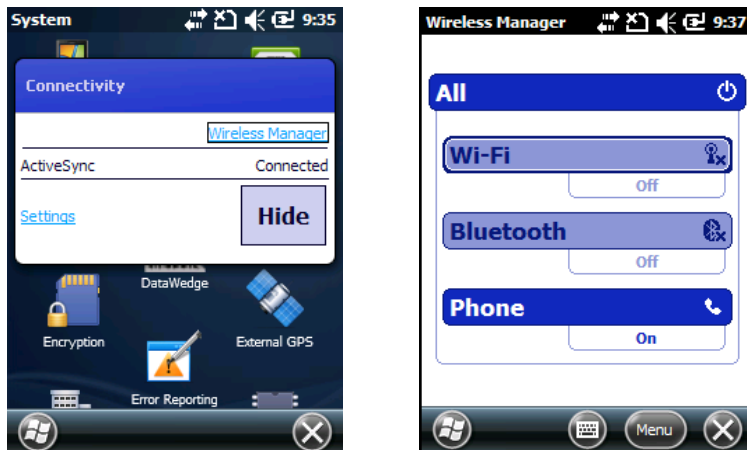


図 4-2 ワイヤレス マネージャーの開き方

[ワイヤレス マネージャー]を選択します。[ワイヤレス マネージャー]ウィンドウが表示されます。

電話のオン/オフを切り替えるには、青色の [電話] バーをタップします。

接続の設定を行うには、[メニュー]>[電話の設定]をタップします。

音声モード

MC45 は、3 つの通話音声モードを備えています。

- **ハンドセット モード**: MC45 の前面上部にあるスピーカから音声が出力され、MC45 をハンドセットとして使用できます。これがデフォルトのモードです。
- **スピーカ モード**: MC45 をスピーカフォンのように使用できます。このモードにするには、**[スピーカ オン]** ボタンをタップします。ハンドセット モードに戻すには、**[スピーカ オフ]** ボタンをタップします。
- **ヘッドセット モード**: Bluetooth ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

MC45 のデフォルトのモードは、ハンドセット モードです。Bluetooth ヘッドセットが MC45 で使用できるように設定されていれば、イヤープースとスピーカフォンはミュートになり、音声はヘッドセットから出力されます。

✓ **注** Bluetooth ヘッドセットを使用して通話しているときには、モバイル コンピュータはサスペンド モードになりません。



ハンドセット モード



スピーカ モード



ヘッドセット モード

図 4-3 音声モード

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetooth ヘッドセットを MC45 に接続する方法については、[第 7 章の「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、MC45 の音量を適切に調節します。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカはミュートになります。

ヘッドセット プロファイルではなく、Bluetooth ハンズフリー プロファイルを使用して通話することをお勧めします。詳細については、[第 7 章の「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。

✓ **注** Bluetooth ヘッドセットを使用して通話しているときには、MC45 の電源ボタンは無効になり、サスペンド モードになりません。通話が終了すると、電源ボタンが有効になります。

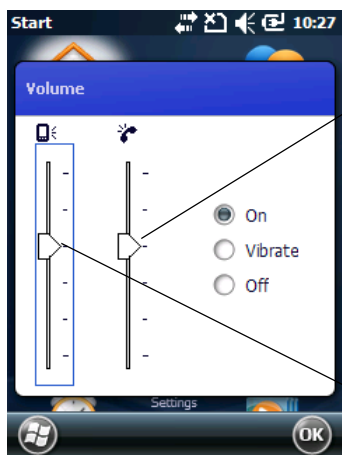
Bluetooth ヘッドセットの接続が確立されると、次のダイアログ ボックスが表示されます。



図 4-4 [WWAN Bluetooth 音声通知] ダイアログ ボックス

音量の調節

通話していないときの呼び出し音、および通話中の音声の音量を調節するには、音量調節スライダまたはキーパッドのキーを使用します。



電話音量調節スライダ

着信音量調節スライダ

図 4-5 電話音量調節スライダ

音量を調節するには、**タイトル バーのスピーカ アイコン**をタップします。スライダを上下に動かして、音量を調節します。



注 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。







電話をかける



- ✓ **注** MC45 がロックされている場合、または SIM カードが装着されていない場合でも、緊急通話は可能です。詳細については、[4-7 ページの「緊急通話をかける」](#)を参照してください。

MC45 では、電話ダイヤラ、連絡先、短縮ダイヤル、および通話履歴から電話をかけることができます。

電話キーパッドの使用

電話キーパッドを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **[スタート]>[電話]**をタップするか、または  を押します。
2. ダイヤラまたはキーパッドで電話番号を入力します。入力した電話番号は、電話番号欄に表示されます。
3. 緑色の電話番号欄をタップするか、 を押します。
4. 通話をキャンセルするには  をタップし、MC45 をスピーカ モードにするには  をタップします。
5. 電話がつながると、電話番号欄に名前と電話番号が表示されます。通話を保留するには  を押します。
通話を再開するには、 をもう一度押します。

- ✓ **注** 電話番号欄を使用する通話の保留を有効にできます。有効にするには、 >  > **[保留を有効にする]**を押します。切り替えアイコンがオンに変わります。

6.  をタップするか、 を押して、通話を終了します。

連絡先の使用

連絡先を使用することで、電話番号を探したり入力したりすることなく電話をかけることができます。

連絡先から電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **[スタート]>[連絡先]**をタップします。
2. 連絡先のリストで、連絡先の名前をタップして押し続けます。

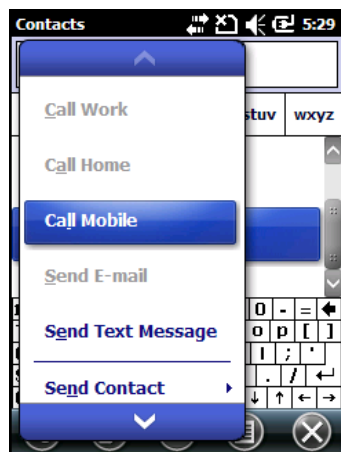




図 4-6 [連絡先] メニュー

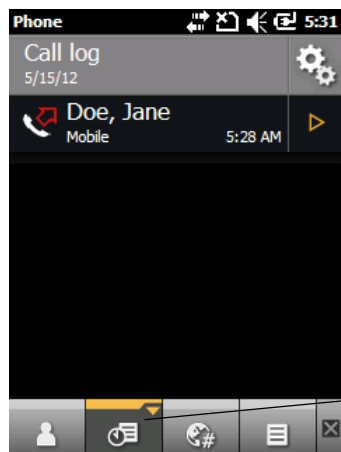
3. [仕事]、[自宅]、または[携帯電話]をタップします。

✓ **注** 未設定の連絡先から電話をかけるには、電話番号を入力します。連絡先の詳細については、デバイスのヘルプを参照してください。

コール ログを使用する


コール ログを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1. [スタート]>[電話]をタップするか、または  を押します。
2. 電話のダイヤラで、 をタップします。



通話履歴

図 4-7 [コール ログ] ウィンドウ

3. 目的の連絡先名をタップすると、ダイヤル操作が開始され、電話のダイヤラに戻ります。
4. ダイヤル操作や通話を終了するには、 をタップします。

短縮ダイヤルの使用

短縮ダイヤルを使用して、短縮ダイヤルに登録されている相手に電話をかけることができます。

短縮ダイヤルを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。



1. [スタート]>[電話] をタップするか、または  を押します。
2. [電話] キーパッドで、連絡先に割り当てられている短縮ダイヤル番号をタップします。



図 4-8 短縮ダイヤル連絡先リスト

3. ダイヤル操作や通話を終了するには、 をタップします。

緊急通話をかける



サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な 1 つまたは複数の緊急電話番号 (911、999、112 など) を用意しています。この番号には、電話がロックされていたり、SIM カードが装着されていなくても電話をかけることができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードに設定することができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用するには、電話に SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。SIM カードの取り付け手順については、[1-4 ページの「SIM カードの取り付け」](#)を参照してください。

英数字キーパッドにロックされている場合は、オレンジ キーを 2 回押して、キーパッドを数字モードに切り替えて、緊急番号を入力します。

- ✓ **注** 緊急番号は、国によって異なります。一部の地域で電話機にあらかじめ設定されている緊急番号が使用できないことがあります。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話が行えないこともあります。

電話に応答する

着信すると、MC45 にダイアログ ボックスが表示されます。呼び出し音が鳴るように設定されている場合は、呼び出し音が鳴ります。着信に応答するか無視します。

着信に応答するには、[電話]>[着信] ダイアログ ボックスの  をタップするか、 を押します。

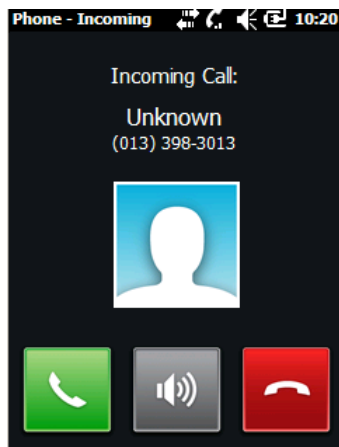










図 4-9 着信

着信を無視するには、 をタップするか、 を押します。サービス プロバイダによっては、この操作により、発信者が音声メールに接続されることがあります。それ以外の場合は、発信者に話中音が流れます。

ダイヤル操作や通話を終了するには、 をタップします。

着信機能

- 通話中に MC45 で他のプログラムを使用することができます。[電話] に戻るには、 を押すか、[スタート]>[電話] をタップします。通話を終了するには、[終了] をタップします。
- 発信者が連絡先リストに登録されていない場合は、通話中に連絡先を作成することができます。または、[通話履歴] で [メニュー]>[連絡先に保存] をタップして連絡先を作成することもできます。
- 現在の通話を保留にして、着信に応答するには、[電話]>[着信] ダイアログで  をタップするか  キーを押して現在の通話を保留にして、着信に応答します。
- 通話を保留にして、別の番号に発信するには、 を押すか、緑色の [電話番号欄] をタップします。
- 通話を切り替えるには、MC45 の  を押すか、緑色の [電話番号欄] をタップします。

スマート ダイヤル

スマート ダイヤルにより、電話番号を容易に入力することができます。数字または文字を入力するときに、スマート ダイヤル機能によって自動的に SIM カード上の [連絡先] 内の連絡先エントリ、および [通話履歴] (着信、発信、不在着信など) の電話番号が検索され、並べ替えられます。その後、その検索結果から、目的の電話番号または連絡先を選択して、ダイヤルすることができます。

[電話] 画面を開き、発信する電話番号または連絡先に対応するキーをタップします。連絡先パネルに、入力した内容に一致する連絡先が表示されます。

スマート ダイヤル機能によって、入力した内容に一致する番号または連絡先の検索が開始されます。

電話番号を検索するには、次の手順に従います。

- [通話履歴] で電話番号を探すには、最初の 1 桁または 2 桁を入力します。
- 保存されている [連絡先] および SIM カードから電話番号を探すには、最初の 3 桁以上を入力します。

連絡先を検索するには、次の手順に従います。

- 連絡先の姓または名前の最初の 1 文字を入力します。スマートダイヤル機能はその文字を、連絡先名の先頭文字と、連絡先名のスペース、ハイフン、アンダースコアに続く文字から検索します。たとえば、[2] ([電話] キーパッドの [a, b, c] に対応) をタップすると、次の連絡先名が一致しているとみなされます: 「Smith, Bernard」、「Adams, John」、「Carlson, Eileen」、「Dillon, Albert」、「Childs, Larry」、「Cooper, Robert」、「Parks, Celine」。
- 検索結果が多い場合は、別の文字を入力して結果を絞り込みます。上記の例の場合、[3] ([d, e, f] に対応) をタップすると、次の連絡先名に絞り込まれます: 「Smith, Bernard」、「Adams, John」、「Parks, Celine」。

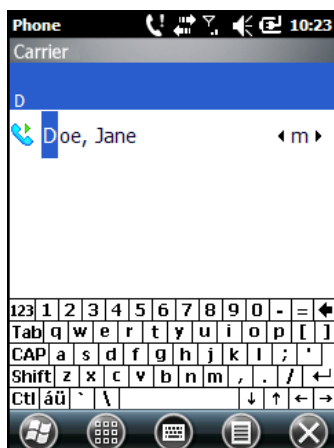



図 4-10 連絡先の検索



スマートダイヤル機能を使用して、電話をかけたり、テキストメッセージを送信するには、次の手順に従います。

1. 目的の番号または名前の先頭から数文字を入力します。
2. [スマートダイヤル] パネルで、キーパッドの上/下矢印を使用して、目的の連絡先または電話番号に移動します。
3. 目的の連絡先が選択されたら、 を押して音声通話を開始します。
4. 選択されている連絡先にテキストメッセージを送信するには、[メニュー] > [テキストメッセージを送信] をタップします。
5. 選択されている連絡先に関連付けられている別の電話番号に電話をかけるには、連絡先名をタップして、電話番号を選択します。

通話をミュートする

通話中にマイクをミュートにして、相手の声は聞こえるが、マイクからの会話は聞こえないようにすることができます。この機能は、こちら側で会話したり、こちら側の騒音が激しい場合に便利です。

通話のミュート/ミュート解除を切り替えるには、次の手順に従います。



1. [スタート] > [電話] をタップするか、または  を押します。
2. 電話をかけます。
3.  をタップして、音声をミュートにします。[ミュート] ボタンは黄色になります。

短縮ダイヤルを使用する

短縮ダイヤルを作成すると、頻繁に電話する番号を 1 回タップするだけでダイヤルできるようになります。短縮ダイヤル エントリを作成する前に、電話番号が [連絡先] に存在することを確認してください。

短縮ダイヤル エントリの追加

電話キーパッドで短縮ダイヤル エントリを追加するには、次の手順に従います。

1. 連絡先と電話番号が [連絡先] リストに存在することを確認します。
2. [スタート]>[電話] をタップするか、または  を押します。
3.  をタップします。

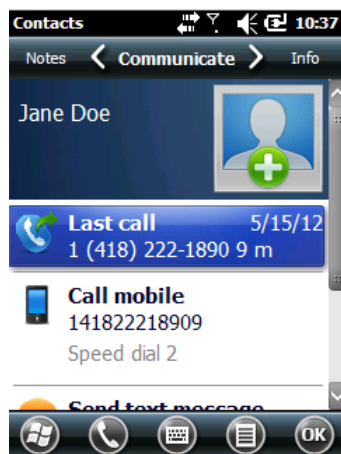



図 4-11 連絡先

4. リスト内の目的の連絡先名と番号をタップします。
5.  > [短縮ダイヤルに追加] をタップします。

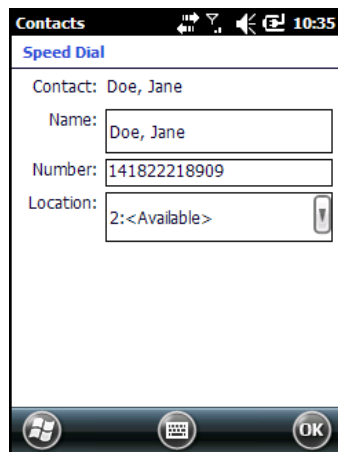


図 4-12 短縮ダイヤルの連絡先のロケーション

6. **[場所]** フィールドで、上/下矢印をタップして、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当てることが可能な場所を選択します。1 番目の短縮ダイヤルの場所は、音声メール用に予約されています。

7. **[OK]** をタップして、連絡先を短縮ダイヤル リストに追加します。

[連絡先] ウィンドウから短縮ダイヤル エントリを追加するには、次の手順に従います。

1. **[スタート]** > **[連絡先]** をタップします。



図 4-13 連絡先

2. 連絡先名をタップします。

3. **[メニュー]** > **[短縮ダイヤルに追加]** をタップします。

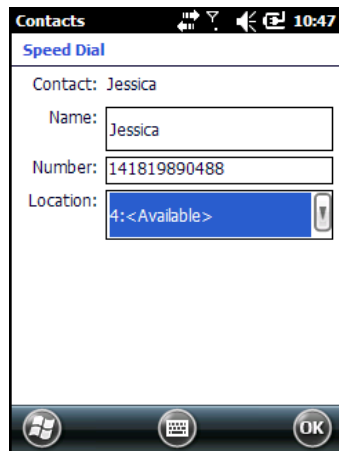





図 4-14 短縮ダイヤルの連絡先のロケーション

4. **[場所]** ドロップダウン リストで、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当てることが可能な別の場所を選択します。1 番目の短縮ダイヤルの場所は、音声メール用に予約されています。

5. **[OK]** をタップします。





短縮ダイヤル エントリの編集

短縮ダイヤル エントリを変更するには、次の手順に従います。

1. **[スタート]>[電話]** をタップするか、または  を押します。
2.  をタップします。
3. リスト内の目的の連絡先名をタップします。
4.  > **[短縮ダイヤルの編集]** をタップします。
5. **[場所]** ドロップダウン リストで、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当てることが可能な別の場所を選択します。1 番目の短縮ダイヤルの場所は、音声メール用に予約されています。
6. **[OK]** をタップして、短縮ダイヤル リストを変更します。
7. **[OK]** をタップして **[連絡先の編集]** ウィンドウを終了します。
8. **[X]** をタップして **[連絡先]** ウィンドウを終了します。

短縮ダイヤル エントリの削除

短縮ダイヤル エントリを削除するには、次の手順に従います。

1. **[スタート]>[電話]** をタップするか、または  を押します。
2.  をタップします。
3. リスト内の目的の連絡先名をタップします。
4.  > **[短縮ダイヤルの編集]** をタップします。
5.  をタップします。
6. **[はい]** をタップして、短縮ダイヤル エントリを完全に削除します。

✓ **注** **[短縮ダイヤル]** から名前や電話番号を削除しても、**[連絡先]** (**[スタート]>[連絡先]**) の連絡先情報は削除されません。

7. **[OK]** をタップして **[連絡先の編集]** ウィンドウを終了します。
8. **[X]** をタップして **[連絡先]** ウィンドウを終了します。

コール ログを使用する

[コール ログ] を使用して、最近通話を行った相手に電話をかけることができます。[コール ログ] には、すべての通話 (着信、発信、不在着信) の発着信時間と通話時間が表示されます。また、全通話の概要が表示され、通話中に入力したメモに容易にアクセスすることができます。表 4-1 に、**[コール ログ]** ウィンドウに表示される通話履歴アイコンを示します。







[スタート]>[電話]をタップするか、または  を押して  をタップすると、[コール ログ] ウィンドウが開きます。




表 4-1 コール ログ アイコン

アイコン	説明
	すべての 発信 の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての 着信 の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての 未接続の発信 の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての 不在着信 の連絡先情報の横に表示されます。

コール ログの管理

表示を変更したり、通話タイマーをリセットしたり、通話を削除するなど、[コール ログ]に保存されている通話を管理することができます。

[コール ログ] の表示の変更

1. [スタート]>[電話]をタップするか、または  を押して  をタップすると、[コール ログ] ウィンドウが開きます。
2. 右上の  をタップすると、[コール ログ] メニューが表示されます。
3. [フィルタ]をタップしてメニューから表示タイプを選択して、着信、発信、未完了の通話、不在着信のみが表示されるようにしたり、発信者名のアルファベット順に通話が表示されるようにすることができます。

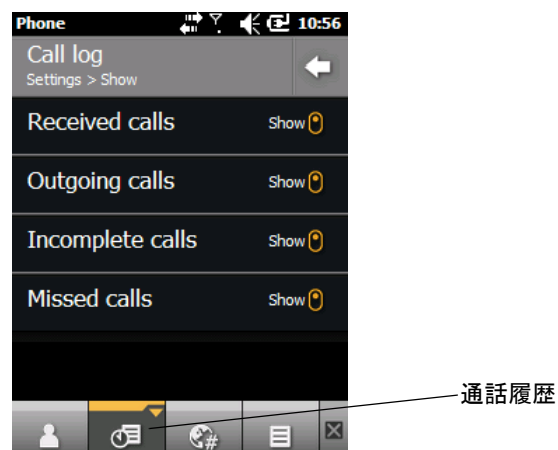





図 4-15 [コール ログ] ウィンドウ

4.  をタップして [コール ログ] ウィンドウを終了します。

すべてのコール ログ項目の削除

1. [スタート]>[電話]をタップするか、を押すと、電話のダイヤラが表示されます。
2. 電話のダイヤラで、をタップします。
3.  > [コール ログを削除]をタップします。

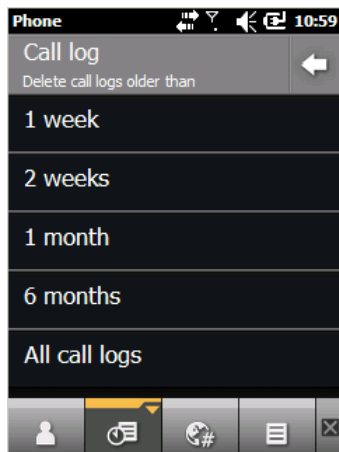


図 4-16 [通話履歴]>[コール ログを削除]メニュー

4. [すべてのコール ログ]を選択します。

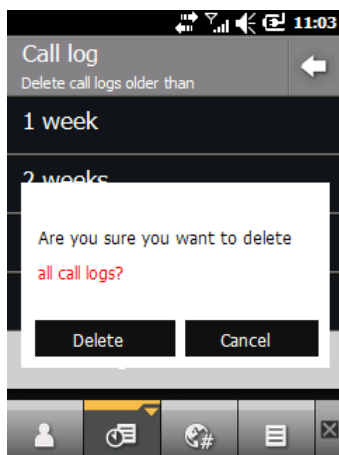





図 4-17 [コール ログ]>すべてのコール ログの削除

5. [削除]をタップします。
6. [OK]をタップして[通話履歴]ウィンドウを終了します。

通話ステータスの表示

1. [スタート]>[電話]をタップするか、を押すと、電話のダイヤラが表示されます。
2. 電話のダイヤラで、をタップします。
3. 項目をタップしてその番号に電話をかけるか、をタップして[オプション]ウィンドウを開きます。[コールログオプション]ウィンドウが表示されます。

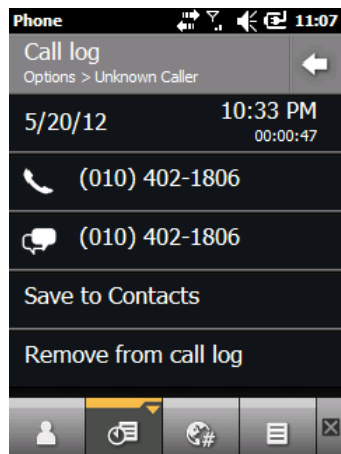







図 4-18 通話ステータスの表示

4. 一覧から該当するオプションを選択します。
5. をタップして[オプション]ウィンドウを閉じます。
6. をタップして[コールログ]ウィンドウを終了します。

✓ **注** 複数の通話を行っている場合は、最初の通話の通話時間のみが記録されます。

[コールログオプション]の使用

[コールログオプション]を使用して、音声メールの発信、連絡先の保存、メモの表示、リストの削除、テキストメッセージの送信、および発信を行うことができます。

1. [スタート]>[電話]をタップするか、を押すと、電話のダイヤラが表示されます。
2. 電話のダイヤラで、をタップします。
3. 項目をタップしてその番号に電話をかけるか、をタップして[オプション]ウィンドウを開きます。[コールログオプション]ウィンドウが表示されます。

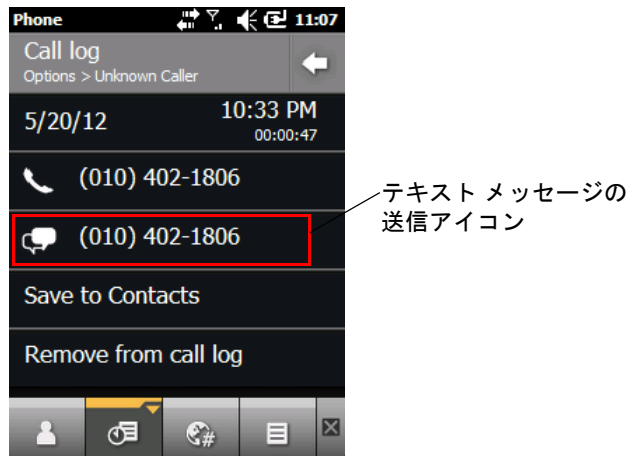








図 4-19 [コール ログ] オプション

4. 必要に応じて、メニューから該当する項目を選択します。
5. 選択した項目に応じて、適切なウィンドウが表示されます。たとえば、[テキスト メッセージを送信] を選択すると、[受信] ウィンドウが表示されます。
6.  をタップして [オプション] ウィンドウを閉じます。
7.  をタップして [コール ログ] ウィンドウを終了します。

MC45 での会議通話

- ✓ **注** 一部のサービスでは、会議通話機能を使用できないことがあります。また、会議通話の数が異なることがあります。会議通話機能を使用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

1. [スタート] > [電話] をタップするか、 を押すと、電話のダイヤラが表示されます。
2. 最初の電話番号を入力して、電話番号欄をタップするか、 を押します。電話がつながると、電話番号欄に名前と電話番号が表示されます。
3.  をタップします。
4.  をタップします。ダイヤラが再表示されます。
5. 2 番目の番号を入力して、[送信] をタップします。
6. 電話がつながると、最初の通話が保留になり、2 番目の通話が有効になります。

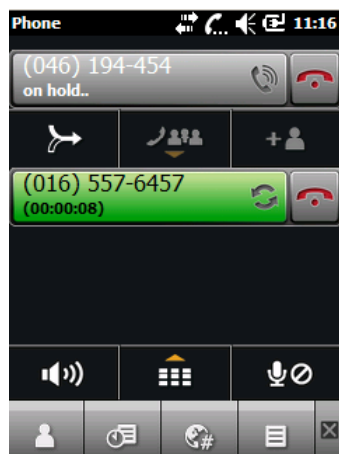


図 4-20 会議通話の確立

7. 電話番号欄 1 をタップして、最初の通話を有効にします。2 番目の通話が保留になります。
8. ➡ をタップして、会議通話 (3 者通話) を確立します。

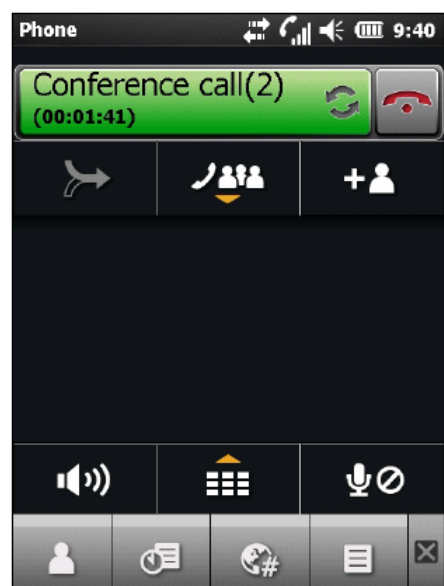


図 4-21 2 つの通話の結合

9. 3 番目の相手を追加するには、+ をタップします。ダイヤラが表示されます。電話がつながると、新しい通話が有効になり、会議が保留になります。

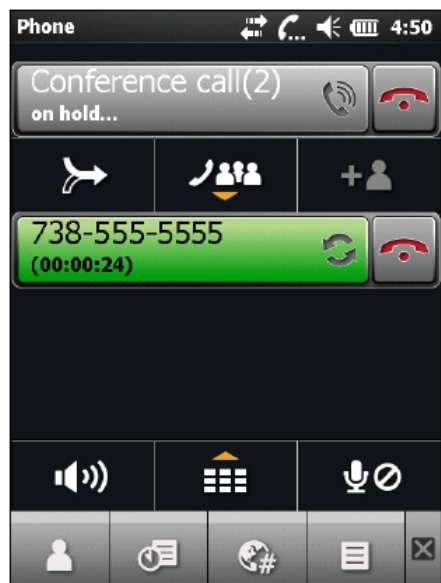



図 4-22 3 番目の通話の追加

10. 新しい通話先相手を会議に追加するには、 をタップします。

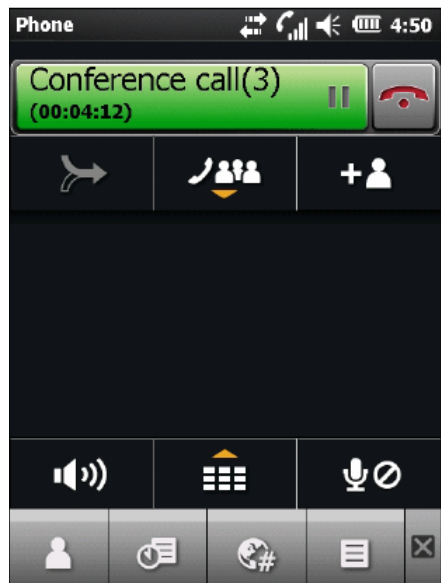



図 4-23 3 者通話

11.  をタップして、すべての通話先相手を表示します。

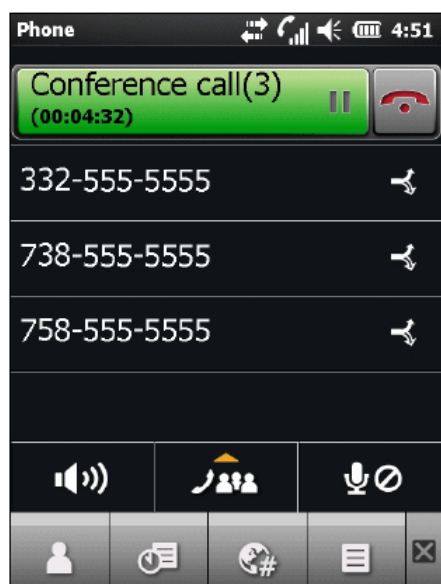









図 4-24 通話の結合解除

12. 通話先相手を会議から削除するには、通話先相手をタップし、通話先相手の横の  をタップするか、 を押します。
 13. 会議通話を終了するには、電話番号欄の横の  をタップするか、または  を押します。**[通話終了]** 画面が表示され、ダイヤラが表示されます。
- ✓ **注** 会議通話で 1 人の相手と 2 人だけで話すには、 をタップし、通話先相手の横の  をタップします。すべての通話先相手を再度参加させるには、 をタップします。

SMS メッセージング

テキスト メッセージを使用して、その他のモバイル デバイス間と短いテキスト メッセージ (SMS) を送受信できます。テキストには、160 文字以内で文字、数字、または英数字の組み合わせを含めることができます。

テキスト メッセージの送信

テキスト メッセージを送信するには、次の手順に従います。




1. [スタート] > [テキスト] をタップします。
2.  > [新規] > [SMS] をタップします。



図 4-25 テキスト メッセージの作成

3. [受信者] をタップして、[連絡先] から受信者を選択します。
4. メッセージを作成します。
 - オートコレクト機能により、メッセージの入力時に一般的なスペルミスが自動的に修正されるため、正確なメッセージを作成できます。
 - 文字カウンタにより、作成中にメッセージのサイズを確認および制御することができます。
 - 相手がテキスト メッセージを受信したかどうかを確認するには、 > [メッセージ オプション] をタップして、[メッセージの配信通知を要求する] チェック ボックスをオンにします。
5.  をタップして、メッセージを送信します。

電話がオンになっている場合は、テキスト メッセージが送信されます。オフになっている場合は、電話をオンにすることを求めるメッセージが表示されます。電話をオンにすると、メッセージが送信されます。オンにしないで [OK] をタップすると、メッセージは [下書き] フォルダに保存され、電話をオンにしたときに送信されます。

通信圏外にいる場合、メッセージは [下書き] フォルダに保存され、通信圏内に戻ったときに送信されます。

✓ **注** MC45 デバイスでは、メッセージは [下書き] フォルダに残り、通信圏内に戻ったときに手動で再送信する必要があります。

テキスト メッセージの表示

テキスト メッセージを表示するには、次の手順に従います。

テキスト メッセージは、電話がオンまたはオフの状態で見ることができます。電話がオンになっている場合、通知アイコンからテキスト メッセージを見ることができます。ナビゲーション バーの**テキスト メッセージの通知アイコン**をタップして、メッセージを見ます。



図 4-26 新規テキスト メッセージの通知

発信者識別機能は、着信テキスト メッセージ番号と【連絡先】に保存されている番号を照合して、メッセージの送信者を表示します。また、【新規テキスト メッセージ】ダイアログ ボックスでは、送信者に発信したり、メッセージを保存、拒否、削除することもできます。

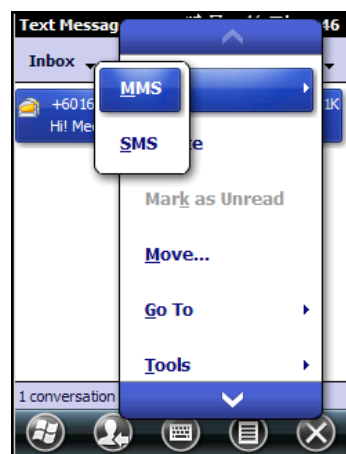


図 4-27 【新規テキスト メッセージ】のオプション

電話機能がオフの場合でも、受信したテキストメッセージを [メッセージ] で表示できます。

1. [スタート]>[テキスト]をタップするか、[今日]画面で、情報バーのテキストメッセージをタップします。

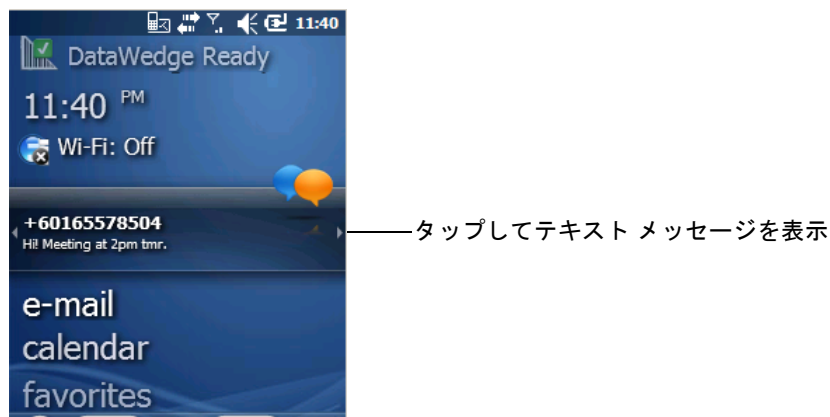


図 4-28 [今日]画面のテキストメッセージ


2. [テキストメッセージ]ウィンドウが表示されます。
3. メッセージリストでテキストメッセージをタップします。



図 4-29 テキストメッセージリスト

テキストメッセージへの返信

テキストメッセージに返信するには、次の手順に従います。


1. [スタート]>[テキスト]をタップします。
2. メッセージリストでテキストメッセージをタップします。ウィンドウに以前のテキスト会話が表示されます。
3. 応答フィールドにテキストを入力します。
4.  をタップして、メッセージに返信します。

MMS メッセージング

MMS メッセージングにより、画像、ビデオ、オーディオ ファイル、その他の種類のファイルを別のモバイル コンピュータに送信できます。

MMS メッセージの作成と送信

MMS メッセージを送信するには、次の手順に従います。

1. [スタート]>[テキスト]をタップします。
2.  > [新規] > [MMS] をタップします。

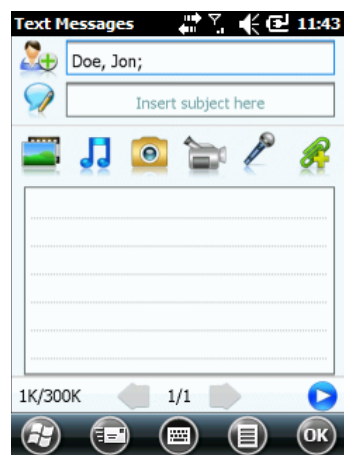










図 4-30 MMS ウィンドウ

3. 連絡先を追加するには、 をタップします。連絡先の一覧のウィンドウが表示されます。1 つまたは複数の連絡先を選択して、[完了] をタップします。
4.  をタップして、メッセージの件名を追加します。ウィンドウに件名のテキストを入力して、[完了] をタップします。
5. テキスト ウィンドウ内をタップして、テキスト メッセージを入力します。ウィンドウが表示されて、テキスト メッセージのほか、顔文字、お気に入りの Web アドレス、定義済みテキスト、連絡先情報、カレンダー情報を入力できます。情報を追加後、[完了] をタップします。
6. MC45 に保存された画像やビデオをメッセージに添付するには、 をタップします。
7. MC45 に保存されたサウンド ファイルをメッセージに添付するには、 をタップします。
8. 画像を撮影してメッセージに添付するには、 をタップします。
9. ビデオを取り込んでメッセージに添付するには、 をタップします。
10. メッセージを録音してメッセージに添付するには、 をタップします。
11. MC45 に保存されたファイルをメッセージに添付するには、 をタップします。
12. すべてのアイテムをメッセージに添付したら、[送信] をタップします。

MMS メッセージの表示

MMS メッセージを表示するには、次の手順に従います。

1. **[スタート]>[テキスト]** をタップします。
2. MMS メッセージをタップします。
3. メッセージのスレッドで、MMS アイコンをタップしてメッセージを表示します。
4. **[コンテンツ]** をタップして、メッセージに含まれるファイルの一覧を表示します。

[メッセージ コンテンツ] 画面で、次の操作を実行します。

1. ファイルを保存するには、**[メニュー]>[保存]** をタップします。
2. テキスト ファイルのコンテンツを **[マイ テキスト]** リストに保存するには、**[メニュー]>[マイ テキストへの保存]** をタップします。
3. 写真を連絡先に関連付けるには、**[メニュー]>[連絡先への割り当て]** をタップします。
4. オーディオ ファイルを呼び出しトーンに関連付けるには、**[メニュー]>[呼び出しトーンとして設定]** をタップします。

MMS メッセージへの返信

MMS メッセージに返信するには、次の手順に従います。

1. **[スタート]>[テキスト]** をタップします。
2. MMS メッセージをタップします。
3. メッセージのスレッドで、MMS メッセージをタップして、MMS メッセージを開いて表示します。
4. MMS メッセージを表示してから、**[メニュー]>[返信]>[MMS 経由]** をタップして MMS メッセージで返信するか、**[メニュー]>[返信]>[SMS 経由]** をタップしてテキスト メッセージで返信します。

MMS メッセージ着信のブロック

特定の送信者からの MMS メッセージ着信をブロックするには、次の手順に従います。

1. MMS メッセージを開いて表示します。
2. **[メニュー]>[表示]>[連絡先の詳細]** をタップします。
3. **[メニュー]>[ブラックリストに保存]** をタップします。
4. **[完了]** をタップします。

送信者のブロックを解除するには、次の手順に従います。

1. **[スタート]>[テキスト]** をタップします。
2. **[メニュー]>[MMS オプション]>[ブラックリスト]** をタップします。
3. 電話番号をタップしたままにします。
4. ポップアップ メニューから **[削除]** を選択します。

5. [OK] をタップします。

ボイス コマンダー

ボイス コマンダーは、MC45 とシームレスに通信を行うための自然なヒューマン インターフェースを提供する音声ダイアログ システムです。通話、連絡先情報の検索、プログラムの起動、予定表の確認を行うことができます。ボイス コマンダーの機能は、以下のとおりです。

- 視覚的および身体的な障害に対応する音声による命令および制御
- トレーニング不要で、話し手に依存しない音声認識技術
- 使いやすい対話型のユーザー インターフェース
- 個人用音声タグとディジット モデルの適合でユーザビリティを強化

ボイス コマンダーを開始するには、[スタート]>[ツールボックス]>[ボイス コマンダー]の順にタップするか、Bluetooth ヘッドセットの通話ボタンを押します。「コマンドを音声で伝えてください」と指示されたら、次のいずれかのコマンドを伝えます。

- 通話
- 検索
- 再ダイヤル/コールバック
- 音楽の再生
- プレイ
- 次へ/前へ
- スタート
- 予定
- 読み取り/通話履歴
- 今何時ですか？
- なんとはいいいのでしょうか？
- さようなら

通話

通話先相手を名前で呼び出すには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「Michael Archer に電話をかける」と伝えると、「Michael Archer の職場に電話をかけます。よろしいですか？」と尋ねられます。
3. 「はい」と答えると、「ダイヤルしています」という応答があります。

通話先相手を場所で呼び出すには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。

2. 「Mary Smith の自宅に電話をかける」と伝え、「Mary Smith の自宅に電話をかけます。よろしいですか?」と尋ねられます。

3. 「はい」と答え、「ダイヤルしています」という応答があります。

複数の電話番号をもつ通話先相手に電話をかけるには、次の手順を実行します。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。

2. 「Alex Jordan に電話をかける」と伝え、「Alex Jordan に電話をかけます。自宅、職場、携帯電話、またはキャンセルを選択してください」と指示されます。

3. 「自宅」と答え、「ダイヤルしています」という応答があります。

2 人の名前が似ている場合、次の手順に従います。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。

2. 「Halley Johnson に電話をかける」と伝え、「複数の Halley Johnson がいます。選択してください」と指示されます。

3. 電話をかけたい通話先相手を選択します。

✓ **注** **ボイス コマンダー**では、自動的に最大 2000 件の連絡先が認識データベースに保存されます。

ボイス コマンダーでコマンドを認識できない場合、「もう一度言ってください」と指示されます。これは、騒音の多い環境や**ボイス コマンダー**で録音が始まる前にコマンドを伝えた場合によく起こります。「コマンドを音声で伝えてください」と指示された後、1 ～ 2 秒経ってからコマンドを伝えるようにしてください。

認識可能な連絡先の長さは 48 文字です。48 文字を超える連絡先は無視されます。

検索

連絡先の情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。

2. 「Mary Smith を探す」と伝え、「Mary Smith の自宅は 5555551212 です」という答が返ってきます。

特定の電話番号を検索するには、次の手順を実行します。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。

2. 「Michael Archer の職場を探す」と伝え、「Michael Archer の職場は 5555551212 です」という答が返ってきます。

連絡先の 2 人の名前が似ている場合、次の手順を実行します。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。

2. 「Haley Johnson の職場を探す」と伝え、「複数の Haley Johnson がいます。選択してください」と指示されます。**ボイス コマンダー**のウィンドウに 2 人の連絡先が表示されます (選択可能な連絡先には、Halley Johnson と Haley Johnson の 2 人が表示されます)。

連絡先が見つからない場合、次の手順に従います。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。

2. 「Michael Archer の自宅を探す」と伝えます。
3. 「Michael Archer の自宅の電話番号はありません」という答が返ってきます。

再ダイヤル

以前かけた番号に再ダイヤルするには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「再ダイヤルする」と伝えると、「Mary Smith の自宅に電話します。よろしいですか?」と尋ねられます。
3. 「はい」と答えると、「ダイヤルしています」という応答があります。

コールバック

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「コールバック」と伝えると、「Mary Smith の自宅に電話します。よろしいですか?」と尋ねられます。
3. 「はい」と答えると、「ダイヤルしています」という応答があります。

スタート

アプリケーションを開始するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「カレンダーを開始する」と伝えると、「カレンダーに移動します」という応答があります。カレンダー アプリケーションが開始します。

予定

今日、明日、または今週の予定を把握するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「今日の予定」と伝えると、「3 つの予定があります」という応答があります。

✓ **注** 「前へ」、「次へ」、「繰り返し」、「中止」などのコマンドを使うと、カレンダーの読み取りを制御することができます。ボイス コマンダーは新しい予定のみ再生します。古い予定は無視されます。

表示

テキスト メッセージまたは電子メール メッセージを読み取るには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「SMS を読み取る」と伝えると、「3 つの SMS があります」という応答があり、SMS メッセージが読み上げられます。

今何時ですか？

時間を調べるには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「今何時ですか？」と伝えると、「今は午後 3 時です」という応答があります。

通話履歴

[通話履歴] ウィンドウを表示するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「通話履歴」と伝えると、「通話履歴」という応答があります。
3. [通話履歴] ページが表示されます。

音楽の再生

特定の音楽ファイルを再生するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「The Moment を再生する」と伝えると、「The Moment」という応答があります。
3. Windows Media で The Moment が再生されます。

すべての音楽ファイルを再生するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「音楽を再生する」と伝えると、「音楽を再生します」という応答があります。
3. Windows Media ですべての音楽ファイルが再生されます。

再生中に別の音楽ファイルを再生するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「次へ」と伝えると、「次を再生します」という応答があります。
3. Windows Media で次の音楽ファイルが再生されます。

再生中の音楽ファイルを一時停止したり、再開したりするには、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「一時停止」または「再開」と伝えると、再生中の音楽が一時停止または再開されます。



注 「一時停止」や「再開」などのコマンドを使うと、音楽の再生を制御できます。「再開」は Windows Media の実行時のみに使用できます。「前へ」と「次へ」は、すべての音楽ファイルの再生時のみに使用できます。

ボイス コマンダーでは、.mp3 形式および .wma 形式のメディア ファイルのみがサポートされます。ボイス コマンダーでは、再生リスト内の音楽ファイルや、[My Documents] とそのサブフォルダ、または microSD カードとそのサブフォルダにある、Active Sync で同期されたメディア ファイルがサポートされます。

ヘルプを表示する

ヘルプ情報を表示するには、次の手順を実行します。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「コマンドを音声で伝えてください」と指示されます。
2. 「ヘルプを表示する」と伝えると、ヘルプ ファイルが表示されます。

または、**[メニュー]** > **[ヘルプ]** をタップして、ヘルプ ファイルを開きます。

さようなら

ボイス コマンダー アプリケーションを終了するには、「さようなら」と伝えます。「さようなら」という応答があり、アプリケーションが終了します。

ボイス コマンダーは、**[メニュー]** > **[終了]** の順にタップして、手動で終了することもできます。音声数字ダイヤル操作中は、「さようなら」コマンドは使用できません。

✓ **注** 10 秒間無音状態が続いた後、**ボイス コマンダー**は終了します。

第 5 章 WLAN の使用

はじめに

✓ **注** WLAN 機能は MC4597 でのみ利用できます。

WLAN 機能は 802.11 a/b/g ネットワーク モードをサポートします。

WLAN を使用すると、MC45 で屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で MC45 を使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれます) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと MC45 の両方を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

インフラストラクチャを設定し、選択した WLAN セキュリティ方式を適用したら、Fusion ソフトウェアまたは Wireless Zero Config (WZC) ソフトウェアを使用して、有効な WLAN を検索できるように MC45 を設定してください。

Fusion の概要

Fusion ソフトウェアには、無線プロファイルを作成するアプリケーションが含まれています。各プロファイルでは、ESSID で識別された特定の WLAN に接続するためのセキュリティ パラメータを指定します。また、Fusion ソフトウェアでは、一連のプロファイルの中から接続に使用するプロファイルを管理することもできます。その他の Fusion アプリケーションでは、現在の WLAN の接続ステータスを監視し、トラブルシューティングのための診断ツールを起動することができます。

Fusion にアクセスするには、[スタート] >  > [無線起動プログラム] をタップします。

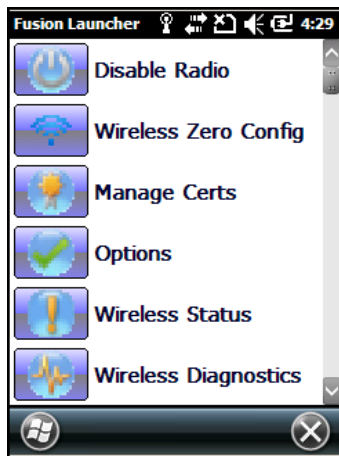


図 5-1 Fusion ランチャー ウィンドウ

Fusion の使用方法と設定の詳細については、『Wireless Fusion Enterprise Mobility Suite User Guide for Version 3.xx』を参照してください。

オンデバイスの Fusion ヘルプにアクセスするには、[スタート] >  > [Fusion ヘルプ] の順にタップします。

インターネットへの接続

Fusion を使用しているときに WLAN 上でインターネットに接続するには、ネットワーク カード設定が [インターネット] に設定されていることを確認します。


1. Fusion が有効になっていて、プロファイルが設定されていることを確認します。
2. [スタート] > [設定] > [接続] > [WLAN] の順にタップします。
3. [ネットワーク カードの接続先] ドロップダウン リストで、[インターネット] を選択します。
4. [OK] をタップします。

Wireless Zero Config の概要

WZC は、ユーザーの設定やさまざまなデフォルト設定に基づいて、接続先の無線ネットワークを動的に選択する、Microsoft の無線接続管理ユーティリティです。

Fusion と WZC を切り替える


Fusion から WZC に切り替えるには、次の操作を行います。

1. Fusion にアクセスするには、[スタート] >  > [無線起動プログラム] > [オプション] をタップします。
2. ドロップダウン リストから [WLAN 管理] を選択します。
3. [Microsoft で WLAN を管理する] ラジオ ボタンを選択します。
4. [保存] をタップします。

5. [OK] をタップします。

6. リセットします。

WZC から Fusion に切り替えるには、次の操作を行います。

1. Fusion にアクセスするには、[スタート] >  > [無線起動プログラム] > [オプション] をタップします。
2. ドロップダウン リストから [WLAN 管理] を選択します。
3. [Fusion で WLAN を管理する] ラジオ ボタンを選択します。
4. [保存] をタップします。
5. [OK] をタップします。
6. リセットします。

サポートしているアプリケーション

表 5-1 は、Fusion のメニュー項目と対応するアプリケーションについてまとめたものです。

表 5-1 サポートしているアプリケーション

用途	説明	Fusion サポート	WZC サポート
[WLAN の検出]	通信圏内で有効な WLAN の一覧を表示する WLAN の検出 アプリケーションを起動します。	対応	非対応
[プロファイルの管理]	WLAN プロファイルの管理および編集を行う プロファイルの管理 アプリケーション (プロファイル編集ウィザードを含む) を起動します。	対応	非対応
[Wireless Zero Config]	WLAN を設定する Wireless Zero Config アプリケーションを起動します。	非対応	対応
[証明書の管理]	認証に使用する証明書を管理できる 証明書 の管理 アプリケーションを起動します。	対応	対応
[PAC の管理]	EAP-FAST 認証に使用する Protected Access Credentials の一覧を管理できる PAC マネージャ アプリケーションを起動します。	対応	非対応
[オプション]	Fusion のオプションを設定できる オプション アプリケーションを起動します。	対応	対応
[無線の状態]	現在の無線接続のステータスを表示できる 無線ステータス アプリケーションを起動します。	対応	対応
[無線の診断]	無線接続時の問題を診断するツールを提供する 無線の診断 アプリケーションを起動します。	対応	対応

表 5-1 サポートしているアプリケーション (続き)

用途	説明	Fusion サポート	WZC サポート
[ログオン/ログオフ]	特定のプロファイルにログオンしたり、現在アクティブになっているプロファイルからログオフしたりできる[ネットワーク ログイン]ダイアログを表示します。	対応	非対応
[Fusion ヘルプ]	Fusion ヘルプ を起動します。このヘルプでは、Fusion アプリケーションで利用できるすべての機能について詳細に説明されています。	対応	非対応


Fusion のセットアップ

Fusion を使用して WLAN をセットアップする場合、Fusion の使用と設定の方法について、『Wireless Fusion Enterprise Mobility Suite User Guide for Version H3.40』を参照してください。

Fusion を使用して WLAN をセットアップするには、次の操作を行います。

- ✓ **注** システム管理者から適切な WLAN の設定情報を入手してから、Fusion のセットアップ手順を実行してください。

次のセットアップ手順は、WEP 暗号化を使用した場合の WLAN のセットアップの一例です。

1. [スタート] >  > [無線構成エディタ] > [プロファイルの管理] をタップします。[プロファイルの管理] ウィンドウが表示されます。
2. ウィンドウをタップしたままにして、ポップアップメニューから [追加] を選択します。[無線 LAN プロファイル エントリ] ウィンドウが表示されます。
3. [プロファイル名] テキスト ボックスにプロファイルの名前を入力します。
4. [ESSID] テキスト ボックスに該当する ESSID を入力します。

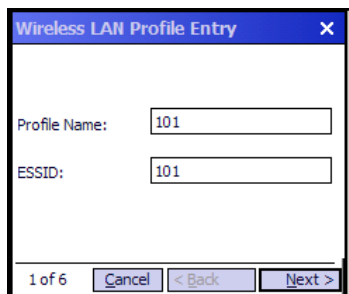


図 5-2 プロファイル ID を設定するダイアログ ボックス

5. [次へ] をタップします。動作モードを設定するダイアログ ボックスが表示されます。
6. [動作モード] ドロップダウン リストから、[インフラストラクチャ] または [アドホック] を選択します。

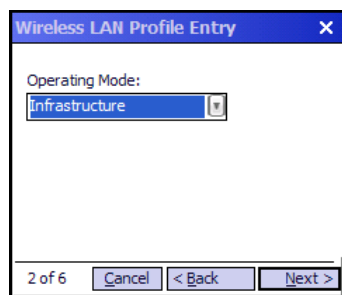


図 5-3 動作モードを設定するダイアログ ボックス

7. [次へ] をタップします。セキュリティ モードを設定するダイアログ ボックスが表示されます。
8. [セキュリティ モード] ドロップダウン リストから [従来式 (Pre-WPA)] を選択します。

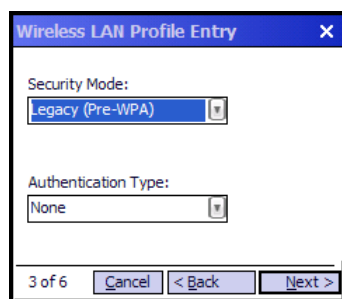


図 5-4 セキュリティと認証を設定するダイアログ ボックス

9. [認証の種類] ドロップダウン リストから [なし] を選択します。
10. [次へ] をタップします。暗号化を設定するダイアログ ボックスが表示されます。
11. [暗号化の種類] ドロップダウン リストから [WEP-40 (40/24)] を選択します。

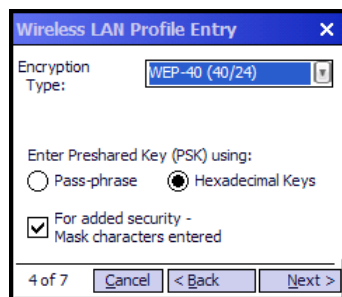


図 5-5 暗号化を設定するダイアログ ボックス

12. [パスフレーズ] または [16 進キー] ラジオ ボタンを選択して、パスフレーズや 16 進キーを次のページに入力するかどうかを指定します。
13. [追加したセキュリティの場合 - 入力した文字を非表示にする] チェック ボックスをオンにして、入力した文字を非表示にします。入力した文字を表示するには、このチェック ボックスをオフにします。
14. [次へ] をタップします。

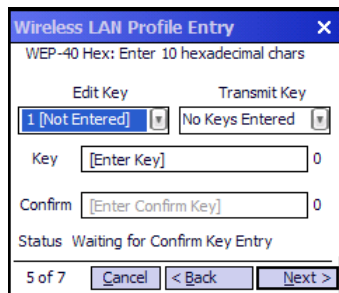


図 5-6 WEP-40 WEP キーを設定するダイアログ ボックス

15. **[キーの編集]** ドロップダウン リストから、入力するキーを選択します。
16. **[キー]** フィールドに 10 桁の 16 進文字列を入力します。
17. **[確認]** フィールドに文字列を再入力します。キーが一致すると、一致したことを示すメッセージが表示されます。
18. WEP キーごとに手順を繰り返します。
19. **[キーの送信]** ドロップダウン リストから送信するキーを選択します。
20. **[次へ]** をタップします。IPv4 アドレス エントリを設定するダイアログ ボックスが表示されます。

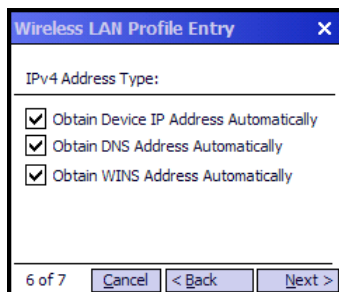


図 5-7 IP アドレス エントリを設定するダイアログ ボックス

21. 3 つのチェック ボックスがすべてオンになっていることを確認します。
22. **[次へ]** をタップします。バッテリーの使用を設定するダイアログ ボックスが表示されます。
23. **[バッテリーの使用モード]** ダイアログ ボックスで、いずれかの消費電力のオプションを選択します。

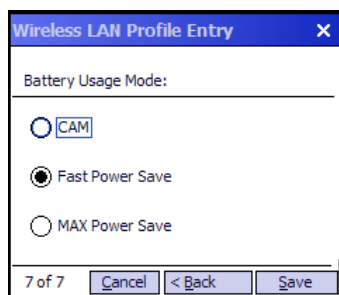


図 5-8 バッテリーの使用を設定するダイアログ ボックス

24. **[保存]** をタップします。

Wireless Zero Config のセットアップ

WZC を使用して WLAN をセットアップするには、次の手順に従います。

- ✓ **注** システム管理者から適切な WLAN の設定情報を入手してから、WZC のセットアップ手順を実行してください。

次のセットアップ手順は、WEP 暗号化を使用した場合の WLAN のセットアップの一例です。


1. [スタート] >  > [無線起動プログラム] > [Wireless Zero Config] をタップします。



図 5-9 [Wireless Zero Config] ウィンドウ

2. MC45 は、通信圏内の無線ネットワークを検索し、その結果をウィンドウに表示します。
3. ネットワーク名をタップします。

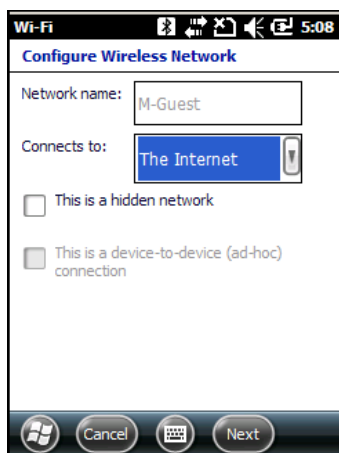


図 5-10 [無線ネットワークの設定] ウィンドウ

4. [接続先] ドロップダウン リストから、[インターネット] または [勤務先] を選択します。
5. ネットワークが非表示のネットワークである場合は、[非表示のネットワーク] チェック ボックスをオンにします。

6. **[次へ]** をタップします。

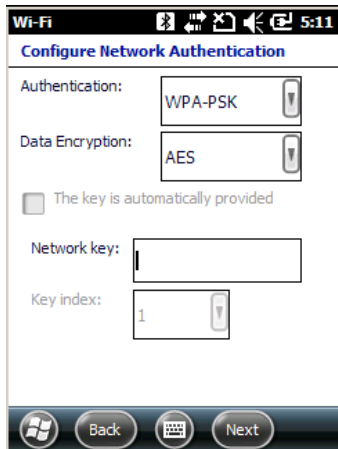


図 5-11 [ネットワーク認証の設定] ウィンドウ

7. **[認証]** ドロップダウン リストから認証の種類を選択します。

8. **[データの暗号化]** ドロップダウン リストからデータの暗号化の種類を選択します。

9. **[WEP 暗号化]** を選択した場合は、**[ネットワーク キー]** テキスト ボックスに暗号化キーを入力します。

10. **[次へ]** をタップします。

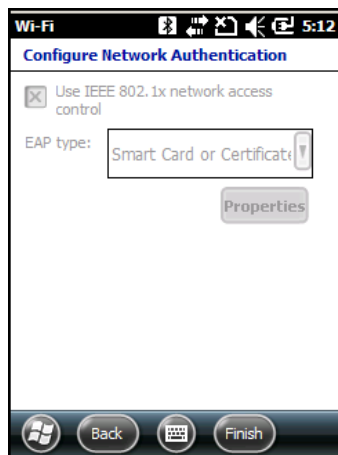


図 5-12 [ネットワーク認証の設定] ウィンドウ

11. 必要に応じて、**[IEEE 802.1x ネットワーク アクセス コントロールを使用]** チェック ボックスをオンにします。

12. **[EAP の種類]** ドロップダウン リスト ボックスから、EAP の種類を選択します。

13. **[完了]** をタップします。

WZC の詳細情報

Microsoft Wireless Zero Config の詳細については、Microsoft Software Developer Network (MSDN) (<http://msdn.microsoft.com>) を参照してください。

第 6 章 GPS ナビゲーションの使用

はじめに

MC45 には、QC モデム ソリューション チップセットを使用したグローバル ポジショニング システム (GPS) テクノロジが搭載されています。GPS テクノロジは、地球を周回してデジタル電波信号を連続的に送信する GPS 衛星の世界的なシステムを基礎としています。この電波信号には衛星の場所や正確な時刻に関するデータが含まれており、地球上での自分の位置の特定に使用されます。



警告 車両内で MC45 を使用する場合、ユーザーは、事故や身体的損傷、物的損傷が生じたり、視界を妨げたりしないように設置、固定、および使用する義務があります。ドライバーは、車両を安全に操作し、常にすべての運転状況を観察し、MC45 のために安全な運転が妨げられるほど注意散漫にならないようにする義務があります。運転中の MC45 の操作は危険です。

ソフトウェアのインストール

サードパーティ製の GPS ナビゲーション ソフトウェアが必要です。評価用ソフトウェアはさまざまなサプライヤから提供されています。たとえば VisualGPS というソフトウェアがあります。詳しくは <http://www.visualgps.net/VisualGPSce/> をご覧ください。

GPS ナビゲーション ソフトウェアを購入される場合は、ソフトウェアの購入、ダウンロード、インストール等をする前に、GPS ソフトウェアのベンダーに問い合わせ、そのアプリケーションと MC45 の間に互換性があるか確認してください。アプリケーションのインストールおよびセットアップについては、アプリケーションのユーザー ガイドを参照してください。

MC45 GPS のセットアップ

MC45 のデフォルト設定は次のとおりです。

1. [スタート] > [設定] > [システム] と選択して、外部 GPS アイコンをタップします。
2. [プログラム] タブでは、[GPS プログラム ポート] が [COM6] に設定されています。
3. [ハードウェア] タブでは、[GPS ハードウェア ポート] が [なし] に設定されています。

複数のプログラムが、同時に GPS データにアクセスできます。GPS データにアクセスするには、それぞれのプログラムで Microsoft GPS API または COM8 を使用する必要があります。

動作

衛星信号の取得に数秒から数分かかることがあります。最適な結果を得るには、空がはっきり見え、遮る物のない屋外に出てください。空がはっきり見えない場合、MC45 では信号の取得および初期位置の算出に時間がかかることがあります。室内で MC45 を操作すると、GPS 信号へのアクセスが制限される場合や、アクセスできない場合があります。

✓ **注** GPS ナビゲーション アプリケーションを使用する場合は、MC45 がサスペンド モードにならないようにしてください。MC45 がサスペンド状態になると、GPS 無線の電源が切れます。GPS 受信機を再開するには有効な GPS 信号を取得し直す必要があるため、位置情報の取得に遅延が生じます。

microSD カード上の GPS マップ

GPS ナビゲーション ソフトウェアのベンダーから、microSD カードでマップが発売されている場合があります。GPS ナビゲーション ソフトウェアで microSD カードを使用するには、次の手順に従います。

1. mini-SIM カードホルダーを右にスライドさせてロックを解除します。
2. mini-SIM カードホルダーを持ち上げます。
3. microSD カードホルダーを下方にスライドさせてロックを解除します。
4. microSD カードホルダーを持ち上げます。
5. カードの接触面を下にして挿入し、microSD カードホルダーを下げます。
6. microSD カードホルダーを上方にスライドさせてロックします。
7. mini-SIM カードホルダーを下げます。
8. mini-SIM カードホルダーを左にスライドさせてロックします。

GPS 使用中の電話への応答

GPS ナビゲーション ソフトウェアの使用中に電話に応答するには、次の手順に従います。

1. **[応答]** ボタンを押して電話に出ます。
2. 通話が終了したら、**[通話終了]** ボタンを押して、GPS ソフトウェアの音声を再開します。

✓ **注** MC45 で GPS の使用中に電話を受けると、GPS ナビゲーション ソフトウェアの音声は通話が終了するまでミュートになります。

車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合

車両の窓やフロントガラスが耐熱ガラス製の場合、衛星からの GPS 信号の受信がブロックされるため、MC45 の GPS のパフォーマンスに影響が出る場合があります。GPS 信号の強度を改善するには、空がはっきり見える場所に MC45 を置いてください。衛星からの情報にアクセスするには、MC45 と GPS 衛星の間が直線で見通せる必要があります。

アシスト GPS

GPS は、スタンドアロン モードでもアシスト GPS (A-GPS) モードでも使用できます。スタンドアロン型の GPS 受信機は、GPS 衛星からデータをダウンロードします。データのダウンロードには数分かかることがあります。GPS Location サーバーを使用すると、通常では GPS 衛星からダウンロードする必要のあるデータおよび信号取得に役立つその他の補助データが A-GPS によって供給されるため、GPS 受信機の初期位置算出時間 (TTFF) が劇的に短縮されます。A-GPS データを使用すると、GPS 受信機によるより高速かつ信頼性の高い操作が可能になります。

GPS アシスト アプリケーションでは、GPS データの取得に関連する設定を変更できます。

[スタート] > [接続] > [GPS アシスト] をタップします。

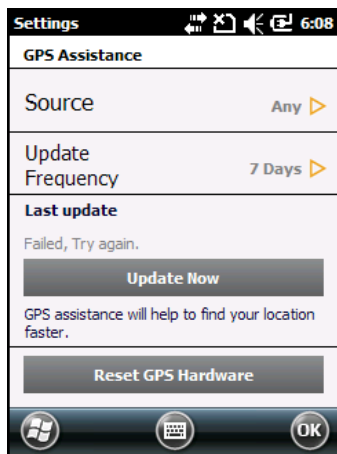


図 6-1 GPS アシスタンス ウィンドウ

データ ソースを設定するには、[ソース] をタップし、[任意] (デフォルト)、[なし] のいずれかのオプションを選択します。

データ更新の頻度を設定するには、[更新頻度] をタップし、[オン デマンド] (デフォルト)、[1 日]、[2 日]、[4 日]、[7 日] のいずれかのオプションを選択します。

手動でデータを更新するには、[今すぐ更新] ボタンをタップします。

GPS のリセット

GPS 機能を工場出荷時の設定に戻すには、次の手順に従います。

1. GPS を使用しているすべてのアプリケーションを閉じます。
2. [GPS ハードウェアのリセット] ボタンをタップします。[GPS ハードウェアのリセット] ダイアログ ボックスに、GPS チップがリセットされたことが表示されます。
3. [OK] をタップします。

第 7 章 Bluetooth の使用

はじめに

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS: frequency-hopping spread spectrum) 無線周波数 (RF: radio frequency) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM: Industry Scientific and Medical) バンド (802.15.4) でデータを送受信することで、無線通信をすることができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/30 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載した MC45 は、電話機、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル コンピュータといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。MC45 をモデムとして使用するには、コンピュータと MC45 間でダイヤルアップ モデム接続を確立します。

Bluetooth テクノロジーを搭載した MC45 は、Microsoft Bluetooth スタックを使用します。Microsoft Bluetooth スタック API を使用するアプリケーションを作成する場合は、Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) Help を参照してください。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続を確立したり、検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップ シーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、Zebra 製のモバイル コンピュータはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

MC45 の Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 32.8 フィート (10m) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワークラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。

✓ **注** 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしたデバイスの共通 PIN 番号を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN 番号は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN 番号またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用することができます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。または PIN コードをモバイル コンピュータに保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Microsoft のスタックは Smart-pairing をサポートしています。詳細については、Microsoft MSDN を参照してください。

Bluetooth の設定

次のサービスがサポートされています。

- A2DP/AVRCP サービス
- ダイヤルアップ ネットワーク サービス
- ファイル転送プロファイル
- 一般オーディオ/ビデオ配信プロファイル
- 一般アクセス プロファイル
- 一般オブジェクト交換プロファイル
- ハンズフリー音声ゲートウェイ サービス
- ヘッドセット プロファイル
- HID クライアント サービス
- PBAP サービス
- パーソナル エリア ネットワーク サービス
- シリアル ポート サービス
- サービス検索アクセス プロファイル
- SIM アクセス プロファイル

他のサービスに使用されていなければ、COM2 ～ COM4、COM8 を使用できます。

Bluetooth の電源の状態

サスペンド

アクティブな Bluetooth 接続が確立されている場合、Bluetooth 無線は低電力モードに入り、アクティブな接続を保持します。アクティブな接続が確立されていない場合、Bluetooth 無線の電源がオフになります。

- ✓ **注** MC45 と他の Bluetooth デバイス間でアクティブな Bluetooth 接続が確立されていて、データの通信状況がない場合、MC45 はタイムアウトします。ただし、MC45 の電源ボタンを押すと MC45 はサスペンド モードになります (通話中の場合を除く)。リモートの Bluetooth デバイスからデータを受信すると MC45 はサスペンド モードからウェイクアップします (たとえば、MC45 にヘッドセットからリダイヤル信号が送信された場合や Bluetooth スキャナからデータが送信された場合)。

再開

サスペンド前に Bluetooth がオンになっていた場合、MC45 が再開されると Bluetooth はオンになります。

Bluetooth オン/オフの切り替え

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域（航空機内など）に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは MC45 を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

✓ **注** 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

Bluetooth を有効にするには、次の手順に従います。

1. **[ワイヤレス マネージャー]** をタップしてから、**[Bluetooth]** バーをタップするか、または **[スタート]>[設定]>[接続]>[ワイヤレス マネージャー]** をタップします。



図 7-1 [ワイヤレス マネージャー] ウィンドウ

2. **Bluetooth** バーをタップして、Bluetooth をオンにします。

Bluetooth の無効化

Bluetooth を無効にするには、次の手順に従います。

1. **[ワイヤレス マネージャー]** をタップしてから、**[Bluetooth]** バーをタップするか、または **[スタート] > [設定] > [接続] > [ワイヤレス マネージャー]** をタップします。
2. **Bluetooth** バーをタップして、Bluetooth をオフにします。

Bluetooth デバイスを検出する

MC45 は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合しておく、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC45 と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
4. **[スタート] > [設定] > [接続] > [ワイヤレス マネージャー] > [メニュー] > [Bluetooth の設定] > [デバイス]** の順に押します。

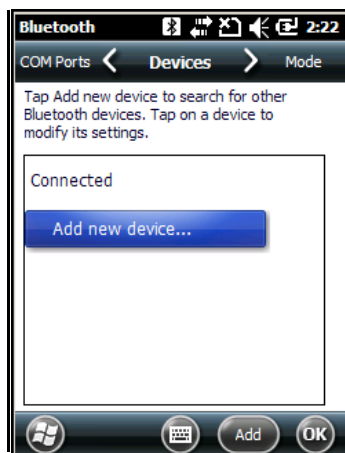


図 7-2 [Bluetooth] - [デバイス] タブ

5. **[新しいデバイスを追加]** をタップします。MC45 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。

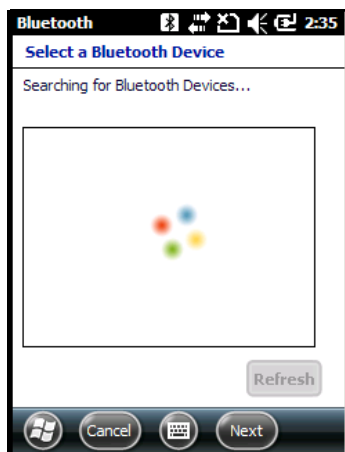


図 7-3 Bluetooth デバイスを検索中

6. リストからデバイスを選択します。

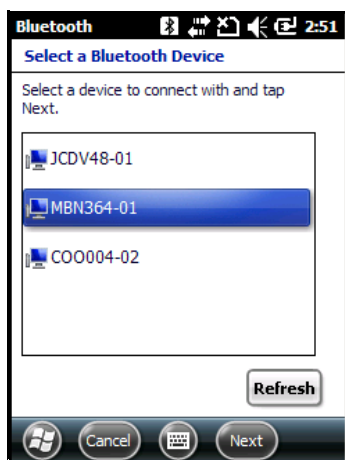


図 7-4 Bluetooth デバイスの選択

7. [次へ] をタップします。[パスワードの入力] ウィンドウが表示されます。



注 スマート ペ어링が設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、[パスワードの入力] ウィンドウは表示されません。

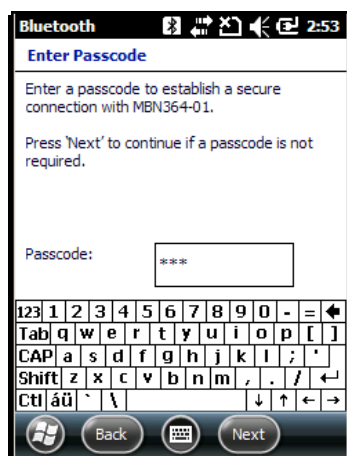


図 7-5 パスコードの入力

8. 接続先デバイスのパスコードを入力します。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。

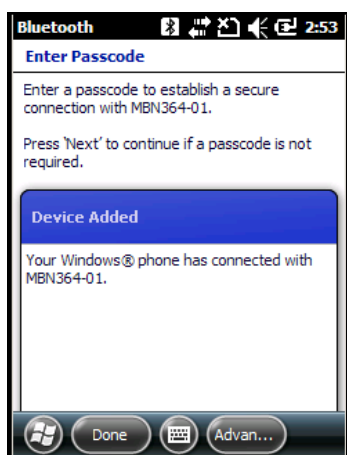


図 7-6 Bluetooth 接続の確認

パスコードの入力を求めるメッセージが表示されます。デバイスに特定のパスコードがある場合は、それを [パスコード] フィールドに入力して **【次へ】** をタップします。デバイスに特定のパスコードがない場合は、任意のパスコードを [パスコード] フィールドに入力して **【次へ】** をタップします。Bluetooth 無線がそのデバイスとの接続を試行します。

9. パスコードを作成した場合は、接続先デバイスに、同じパスコードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。作成したパスコードを入力すると、ペアリング接続が確立されます (特定のパスコードを入力した場合は、接続先デバイスでの作業は必要ありません)。
10. 接続が完了すると、マッチング リストとそのデバイスでサポートされているサービスが表示されます。
11. 使用したいサービスを選択して、**【完了】** をタップします。新しいデバイス上のサービスを選択する必要があります。そうしないと、デバイスのペアリングが確立されても、ペアリングにサービスが含まれません。サービスを選択しないと、パスコードを求めるメッセージが何度も表示されます。
12. デバイスがメイン ウィンドウ上のリストに表示されます。

パスコードが両側で受け入れられると、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

使用可能なサービス

✓ **注** デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

使用可能なサービスについては、以降のセクションを参照してください。

ビームによるオブジェクト プッシュ サービス

✓ **注** ビーム機能で可能なのはリモート デバイスへのファイル送信だけです。

OBEX プッシュ サービスを使用して、別の Bluetooth デバイスにファイルや連絡先を送信できます。MC45 と他の Bluetooth 対応デバイス間でファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[スタート]>[ファイル エクスプローラ]** をタップします。
4. 転送するファイルに移動します。
5. ファイル名をタップし、ポップアップメニューが表示されるまで押したままにします。

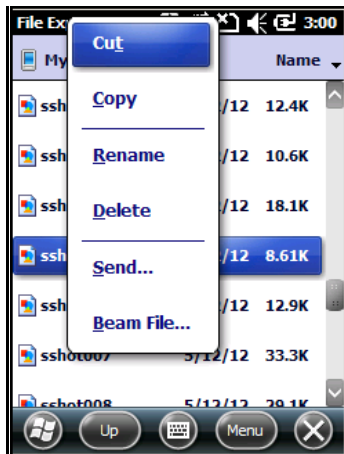


図 7-7 ファイル エクスプローラ ウィンドウ

6. **【ファイルのビーム】**を選択します。MC45 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある **【タップして送信】** をタップします。MC45 はそのデバイスと通信しファイルを送信します。完了すると、**【タップして送信】** が **【完了】** に変わります。

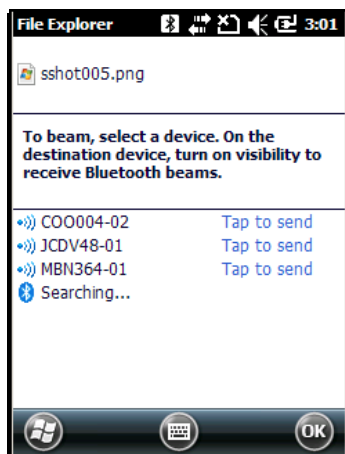


図 7-8 [ファイルのビーム] ウィンドウ

MC45 と他の Bluetooth 対応デバイス間で連絡先を転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. [スタート] > [連絡先] をタップします。
4. 転送する連絡先に移動します。
5. その連絡先をタップし、ポップアップメニューが表示されるまで押したままにします。



図 7-9 [連絡先] ウィンドウ

6. [連絡先の送信] > [ビーム] を選択します。MC45 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある [タップして送信] をタップします。MC45 はそのデバイスと通信し連絡先を送信します。完了すると、[タップして送信] が [完了] に変わります。

インターネット共有

インターネット共有では、MC45 にコンピュータまたはラップトップを接続し、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するためのモデムとして MC45 を使用できます。

Bluetooth によって、MC45 をモデムとして使用するには、次の手順に従います。

1. デバイスがコンピュータまたはラップトップに接続されていないことを確認します。
 2. MC45 で、[電話] が有効になっていて、データ接続が設定されていることを確認します。
 3. [スタート] > [インターネット共有] をタップします。
 4. [PC 接続] リストで、[Bluetooth PAN] を選択します。
 5. [ネットワーク接続] リストで、接続の種類を選択します。
そのデバイスがインターネット接続に使用するネットワーク接続を選択します。
 6. [接続] をタップします。
 7. コンピュータまたはラップトップで、ご使用のデバイスとの Bluetooth PAN をセットアップします。
 - a. [スタート] > [コントロール パネル] > [ネットワーク接続] を選択します。
 - b. [パーソナル エリア ネットワーク] で、[Bluetooth ネットワーク接続] を選択します。
 - c. [Bluetooth ネットワーク接続] を右クリックして、[Bluetooth ネットワーク デバイスの表示] を選択します。
 - d. [Bluetooth パーソナル エリア ネットワーク デバイス] ウィンドウで、ご使用のデバイスを選択します。
 - e. [接続] をクリックします。コンピュータが Bluetooth を通じてデバイスに接続されます。
- ✓ **注** コンピュータが Bluetooth に対応していて、PC 接続として Bluetooth を選択する場合、Bluetooth PAN パートナーシップを開始し、完了しないと、インターネット共有は機能しません。詳細は、Windows のヘルプおよびサポートを参照してください。
8. 確認するには、PC またはラップトップで **Internet Explorer** を起動して Web サイトを開きます。
 9. ダイアルアップ ネットワーキングを終了するには、MC45 で [切断] をタップします。

ハンズフリー サービス

Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

WAN 音声のみがヘッドセットに送信されます。システムの音声は、MC45 のスピーカから出力されます。

ハンズフリー プロファイルを使用して、通話を受けたりリダイヤルすることができます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. [スタート] > [設定] > [接続] > [ワイヤレス マネージャー] > [メニュー] > [Bluetooth の設定] > [デバイス] の順に押します。

4. [新しいデバイス] をタップします。MC45 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
5. ヘッドセット名を選択して、[次へ] をタップします。[パスコード] ウィンドウが表示されます。
6. ヘッドセットのパスコードを入力します。
7. [次へ] をタップします。MC45 がヘッドセットに接続されます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

シリアル ポート サービス

無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的なシリアル ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定します。

シリアル ポート接続を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. [スタート] > [設定] > [Bluetooth] > [デバイス] をタップします。
4. [新しいデバイスを追加] をタップします。MC45 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. [次へ] をタップします。[パスコードの入力] ウィンドウが表示されます。
7. パスコードを入力して [次へ] をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
8. デバイス リストで、そのシリアル デバイスをタップします。[パートナーシップの設定] ウィンドウが表示されます。
9. [シリアル ポート] チェック ボックスをオンにします。
10. [保存] をタップします。
11. [COM ポート] タブをタップします。
12. [新しい発信ポート] をタップします。[デバイスの追加] ウィンドウが表示されます。
13. リストでシリアル デバイスを選択して、[次へ] をタップします。
14. ドロップダウン リストから COM ポートを選択します。
15. [完了] をタップします。



注 この時点では接続は確立されていません。Microsoft Bluetooth スタックが接続を開始するには、選択した COM ポートをアプリケーションで開く必要があります。

シリアル ポート サービスを使用した ActiveSync

ActiveSync 用の無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的なシリアル ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定する必要があります。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定するには、次の手順に従います。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定する前に、デバイスに Bluetooth 機能を設定してください。

- ✓ **注** セキュリティを確保するには、コンピュータに接続してインターネットまたはネットワークへのパススルーを行う前に、コンピュータのネットワーク ブリッジングを無効にします (特にリモート NDIS アダプタへのブリッジング)。ネットワーク ブリッジングについての詳細は、ご使用のコンピュータの **Windows ヘルプ**を参照してください。

以下の手順は、Windows XP SP2 以降のバージョンのオペレーティング システムをサポートするコンピュータに適用されます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. コンピュータで、[スタート]>[設定]>[コントロール パネル]をクリックします。
4. [Bluetooth デバイス] をダブルクリックします。
5. [オプション] タブで、[発見機能を有効にする] と [Bluetooth デバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する] のチェック ボックスをオンにします。

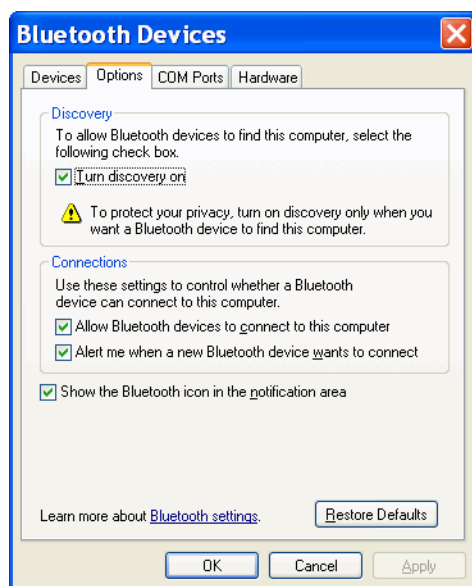


図 7-10 コンピュータの [Bluetooth デバイス] ウィンドウ

6. [COM ポート] タブで、[追加] をクリックします。
7. [着信] (デバイスが接続を開始する) オプションを選択して、[OK] をクリックします。
追加された COM ポートの番号を書き留めます。
8. [OK] をクリックします。

9. [スタート] > [すべてのプログラム] > [Microsoft ActiveSync] をクリックします。

10. [ファイル] > [接続の設定] をクリックします。

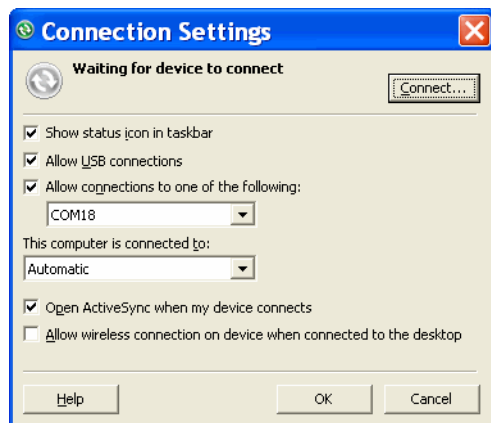


図 7-11 ActiveSync の [接続の設定]

11. [以下のいずれかの接続を有効にする] ドロップダウン リストで、先ほど書き留めた番号の COM ポートを選択します。

12. MC45 で、[スタート] > [ActiveSync] をタップします。

13. [メニュー] > [Bluetooth から接続] をタップします。

自動的に同期が開始されます。[今日] 画面の右下に **ActiveSync** アイコンが表示されます。

認証が必要な場合は、[パスコードの入力] 画面が表示されるので、英数字のパスキー (PIN コード) を入力して、[次へ] をタップします。もう一方のデバイスと同じパスキーを入力してください。

セキュリティを強化するため、パスキーの使用を推奨します。パスキーは 1 ~ 16 文字の英数字で指定してください。

パスキーを使用しない場合は、[次へ] をタップします。

14. ActiveSync 接続を切断するには、[マイ アプリケーション] > [ActiveSync] をタップします。

15. [切断] をタップします。

Phone Book Access Profile サービス

Phone Book Access Profile (PBAP) を使用すると、リモート デバイスと MC45 の間で連絡先を同期させることができます。PBAP 同期を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. [スタート] > [設定] > [Bluetooth] > [デバイス] をタップします。
4. [新しいデバイスを追加] をタップします。MC45 は自動車用キットなどの Bluetooth デバイスを検索します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. [次へ] をタップします。[パスコードの入力] ウィンドウが表示されます。
7. パスコードを入力して [次へ] をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。

8. その自動車用キットに連絡先を転送するかどうかを尋ねるダイアログ ボックスが表示されます。
9. **[はい]** または **[いいえ]** を選択します。
10. **[はい]** を選択した場合、MC45 の連絡先がその自動車用キットに転送されます。

ダイヤルアップ ネットワーク サービス

ダイヤルアップ ネットワークにより、MC45 に PC またはラップトップを接続して、MC45 をオフィスのネットワークまたは ISP に接続するモデムとして使用することができます。

ダイヤルアップ ネットワークの設定を行う前に、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するのに必要なダイヤルアップ情報およびその他の必要な設定 (ユーザー名、パスワード、ドメイン名など) を取得してください。新しい Bluetooth 接続を作成するには、次の手順に従います。

1. MC45 が検出可能および接続可能になっていることを確認します。
2. PC またはラップトップで、製造元の指示に従って Bluetooth の設定を行います。
3. PC またはラップトップの Bluetooth ソフトウェアで、MC45 を検索して、**[ダイヤルアップ ネットワーク]** サービスを選択します。
4. PC またはラップトップのダイヤルアップ ソフトウェアを使用して、MC45 に接続します。
5. MC45 の電話機能により ISP の番号がダイヤルされて、ISP に接続します。
6. 確認するには、PC またはラップトップで Internet Explorer を起動して Web サイトを開きます。

HID デバイスの接続

MC45 は、Bluetooth キーボードやマウスなどのヒューマン インターフェース デバイス (HID) を接続できます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
4. **[スタート]** > **[設定]** > **[Bluetooth]** > **[デバイス]** をタップします。
5. **[新しいデバイスを追加]** をタップします。MC45 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
6. リストから HID デバイスを選択します。
7. **[次へ]** をタップします。**[パスコードの入力]** ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
8. **[接続]** をタップします。MC45 が HID デバイスに接続されます。

A2DP/AVRCP サービス

A2DP/AVRCP は高品質ステレオ ヘッドセットに接続する場合に使用します。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。

3. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
4. **[スタート]** > **[設定]** > **[Bluetooth]** > **[デバイス]** をタップします。
5. **[新しいデバイスを追加]** をタップします。MC45 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
6. 一覧からステレオ ヘッドセットを選択します。
7. **[次へ]** をタップします。**[パスコードの入力]** ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
8. **[接続]** をタップします。MC45 がステレオ ヘッドセットに接続されます。

ハンズフリー サービスを使用できるステレオ ヘッドセットの場合は、A2DP サービスに接続後、ハンズフリー サービスに接続します。

1. **[スタート]** > **[設定]** > **[Bluetooth]** > **[デバイス]** をタップします。
2. **[新しいデバイスを追加]** をタップします。MC45 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
3. 一覧からステレオ ヘッドセットを選択します。
4. **[次へ]** をタップします。**[パスコードの入力]** ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

✓ **注** スマート ペ어링が設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、**[パスコードの入力]** ウィンドウは表示されません。

5. **[接続]** をタップします。MC45 がステレオ ヘッドセットに接続されます。

第 8 章 アクセサリ

はじめに

次に挙げる MC45 アクセサリには、さまざまな製品サポート機能があります。

表 8-1 MC45 のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
シングル スロット充電クレードル	CRDMC45-1000CR	MC45 デバイスを充電します。
マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル	CRDUNIV-XX-5000R	4 スロット バッテリー充電器とともに構成されている場合、5 台の MC45 デバイス、または 4 台の MC45 デバイスを同時に充電します。充電器カップと電源は別売りです。
5 つの MC45 カップが取り付けられたマルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル	CRDUNIV-45-5000R	4 スロット バッテリー充電器とともに構成されている場合、5 台の MC45 デバイス、または 4 台の MC45 デバイスを同時に充電します。5 つの充電器カップが含まれます。電源は別売りです。
車載用充電クレードル	VCD45XX-1000R	車載用のクレードルで、MC45 のメイン バッテリーを充電します。
充電器		
4 スロット予備バッテリー充電器	SAC45XX-4000CR	4 個の MC45 バッテリーを同時に充電します。
ケーブル		
車用充電ケーブル	VCA400-01R	車両のシガー ライターを使って MC45 を充電します。
DEX ケーブル	25-45793-01R	電子的なデータ交換で使います。たとえば、MC45 を自動販売機に接続します。

8 - 2 MC45 ユーザー ガイド

表 8-1 MC45 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
USB 急速充電ケーブル	25-128458-01R	MC45 を充電し、ホスト コンピュータと USB 通信を行います。
その他		
電源	PWRS-124306-01R	USB 急速充電ケーブルを使用して、MC45 またはシングル スロット充電クレードルに電力を供給します。
	PWRS-14000-148C	マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードルまたは 4 スロット バッテリー充電器に電力を供給します。
予備の 3080mAh リチウム イオン バッテリー	BTRY-MCXX-3080-01R	交換用 3080mAh バッテリー。
	BTRY-MCXX-3080-10R	交換用 3080mAh バッテリー (10 個組)。
	BTRY-MCBR-3080-01R	交換用 3080mAh バッテリー (ブラジルのみ)。
MC45 バッテリー カバー	KT-MC45-BTRYD-01R	交換用バッテリー カバー。
取り付けブラケット	KT-UNIVLBRKT-01R	マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードルのラックまたは壁面への取り付け用ブラケット。
充電器カップ	CUPMC45XX-1000R	マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル用充電器カップ。
空きスロット カバー	CUPUNICVR-5000R	マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードルの充電スロット用の空きスロット カバー (5 個組)。
4 スロット バッテリー充電器カップ アダプタ	CUPUNIBTRY-1000R	マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードルに 4 スロット バッテリー充電器を取り付けます。
ハンドストラップ	SG-MC45-STRAP-01R	シングル ピボット ハンドストラップ。
ソフト ホルスタ	SG-MC45-HLSTR-01R	デバイスを保護するソフト ケース ホルダー。
ストラップ キット付きスタイラス	KT-MC45-STYTH-10R	交換用スタイラスおよびストラップ (10 本組)。
Micro USB アダプタ	ADP45XX-100R	MC45 Micro USB ポートに接続する高耐久性 Micro USB アダプタ。
スクリーン保護シート	KT-MC45-SCRNP-10R	スクリーン保護シート (10 枚組)。

USB 急速充電ケーブル

USB 急速充電ケーブルは、MC45 の充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。

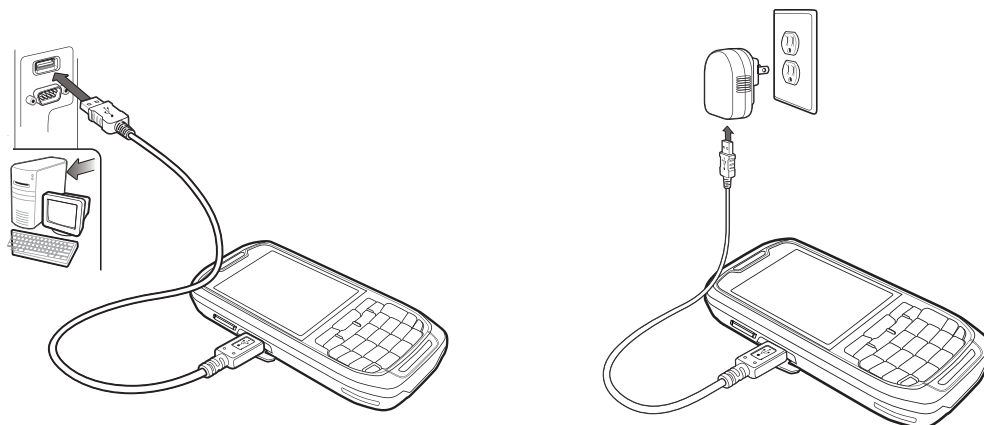


図 8-1 USB 急速充電ケーブル

ホスト コンピュータとの通信

ホスト コンピュータと通信するには、次の手順に従います。

1. ActiveSync がインストールされ、ホスト コンピュータで設定されていることを確認します。詳細については、[8-13 ページの「ActiveSync」](#) を参照してください。
2. USB 急速充電ケーブルを、MC45 の側面にある Micro USB ポートに接続します。
3. USB 急速充電ケーブルの USB コネクタを、ホスト コンピュータの USB ポートに差し込みます。
4. **[USB 接続]** ダイアログ ボックスが表示されます。
5. **[ActiveSync RNDIS]** または **[ActiveSync シリアル]** をタップします。
6. **[接続]** をタップします。

シングル スロット 充電 クレードル

MC45 のバッテリーの充電

MC45 のバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

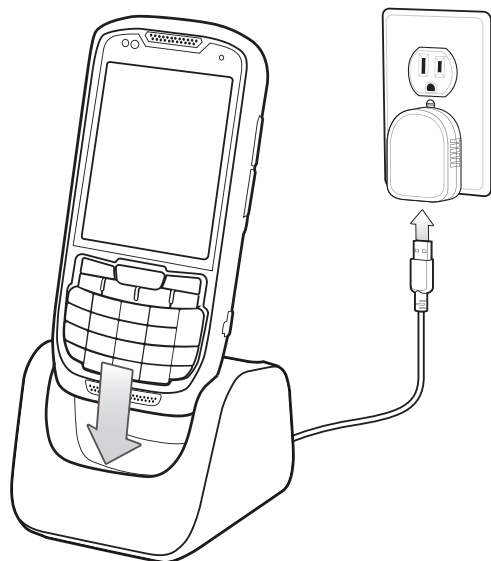


図 8-2 シングル スロット 充電 クレードルを使用して MC45 を充電

1. MC45 をクレードルに差し込みます。

MC45 の LED は、MC45 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態の表示については、[1-7 ページの表 1-1](#) を参照してください。3080mAh バッテリーは約 25°C (77°F) の室温で 6 時間以内に充電が完了します。充電時間は温度によって異なることがあります。

マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル

- ✓ **注** マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードルは 4 スロット バッテリー充電器で構成されている場合、5 台の MC45 デバイス、または 4 台の MC45 デバイスを同時に充電します。

MC45 のバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. MC45 をクレードルに差し込みます。

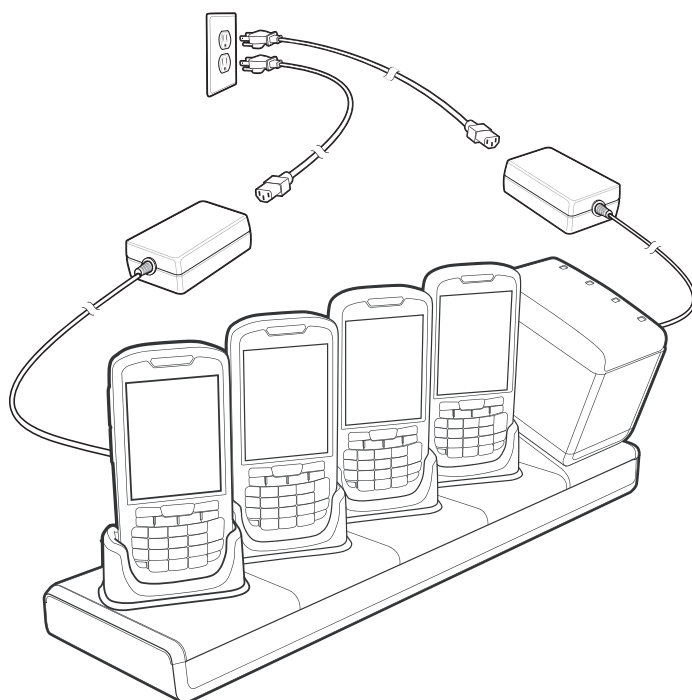


図 8-3 マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル

- ✓ **注** 4 スロット バッテリー充電器は、バッテリー充電器カップアダプタを使用してマルチスロット ユニバーサル充電専用クレードルに取り付けることができます。LED インジケータが見やすくなるように、カップアダプタでバッテリー充電器の向きを変えることができます。

4 スロット バッテリー充電器には、それぞれ電源が必要です。詳細については、[8-10 ページの「4 スロット予備バッテリー充電器」](#)を参照してください。

MC45 の LED は、MC45 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態の表示については、[1-7 ページの表 1-1](#)を参照してください。3080mAh バッテリーは約 25°C (77°F) の室温で 6 時間以内に充電が完了します。充電時間は温度によって異なることがあります。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC45 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC45 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC45 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[1-7 ページの表 1-1](#)を参照してください。

車載用充電クレードル



警告 車両のダッシュボードへの電子デバイスの取り付けが一切禁止されている国もあります。車載キットを取り付ける前に、各地域の法規則で、取り付け可能な場所を確認してください。

車載用器具は、埃や油の付いていない平らな面に取り付けてください。ガラス クリーナーときれいな木綿布で取り付け面を清掃します。フロントガラスなど、車内の平らな面に、付属品の取り付け用ディスクを使用して車載用器具を取り付けます。

フロントガラスへの取り付け

1. 吸着カップ取り付け具を、吸着レバーが上を向くようにして、取り付け領域に固定します。

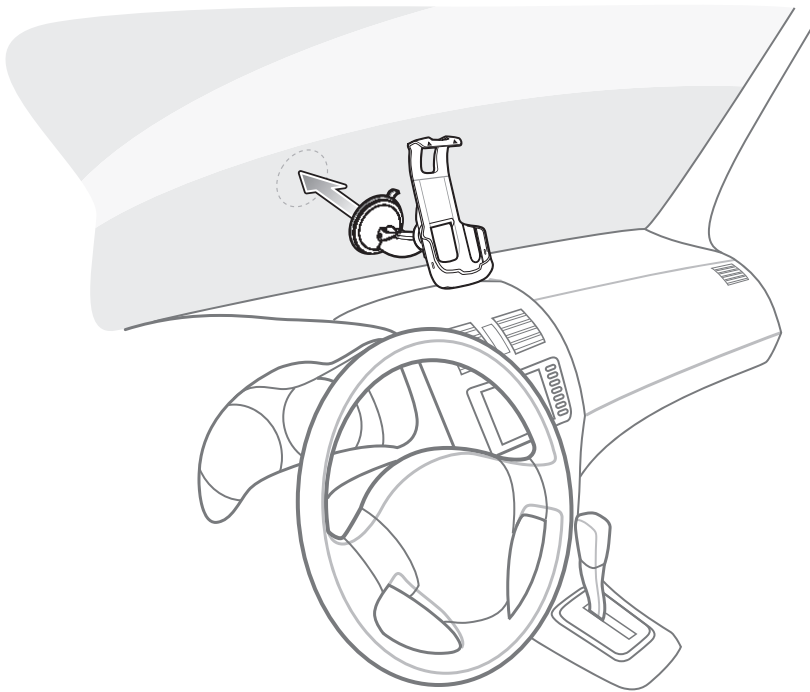


図 8-4 フロントガラスへの取り付け

2. レバーを下に動かし、吸着カップと取り付け面の間を真空にします。

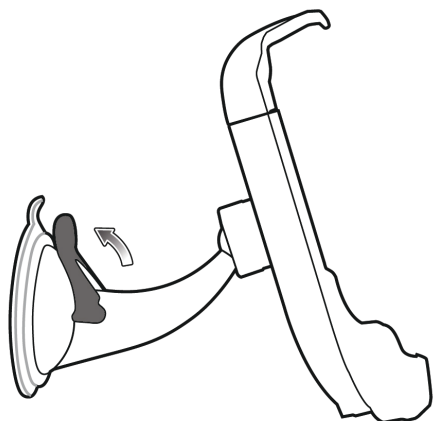


図 8-5 フロントガラスに向かってレバーを動かす

3. 次の手順に進む前に、吸着力が十分に強力であることを確認します。

MC45 の取り付け

MC45 を車載用充電クレードルに取り付けるには、次の手順に従います。

1. MC45 の上側から先にクレードルに設置します。
2. MC45 が所定の位置にカチッとハマるまで後ろに押し込みます。

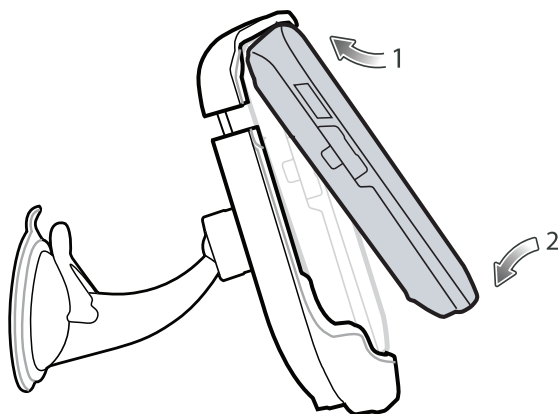


図 8-6 車載用充電クレードルへの MC45 の挿入

3. MC45 を見やすい位置に向けます。
4. クレードルが固定されるまでナットを締めます。

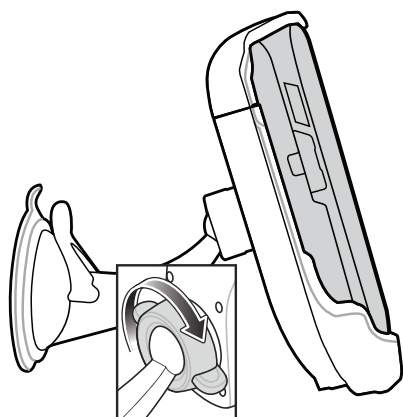


図 8-7 ナットを締める

電源への接続

車載用充電クレードルを電源に接続するには、次の手順に従います。

1. 必要な場合は、車載用充電器の Micro USB コネクタを車載用充電クレードルの電源入力コネクタに接続します。

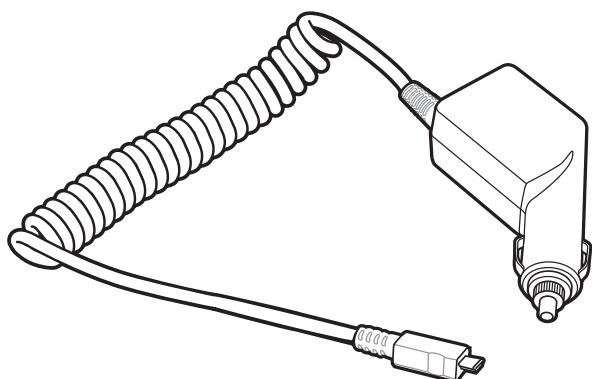


図 8-8 市販グレード車載用充電ケーブル

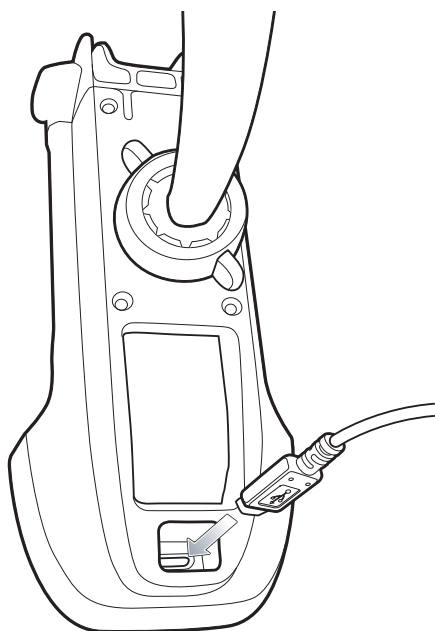


図 8-9 車載用充電ケーブルの車載用充電クレードルへの接続

2. ケーブルの反対側をシガー ソケットに接続します。

LED インジケータが緑色に点滅している場合は、MC45 が充電中であることを示しています。

MC45 の取り外し

車載用充電クレードルから MC45 を取り外すには、MC45 を持ち上げてクレードルの底面から外します。

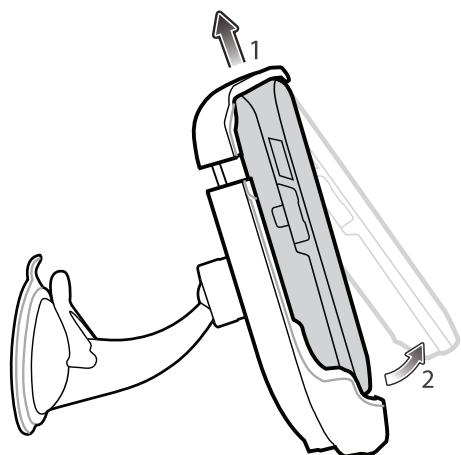


図 8-10 車載用充電クレードルからの MC45 の取り外し

4 スロット予備バッテリー充電器

MC45 のバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 電源に充電器を接続します。
2. 予備バッテリーを予備バッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて、バッテリーがラッチで安全にロックされるようにします。

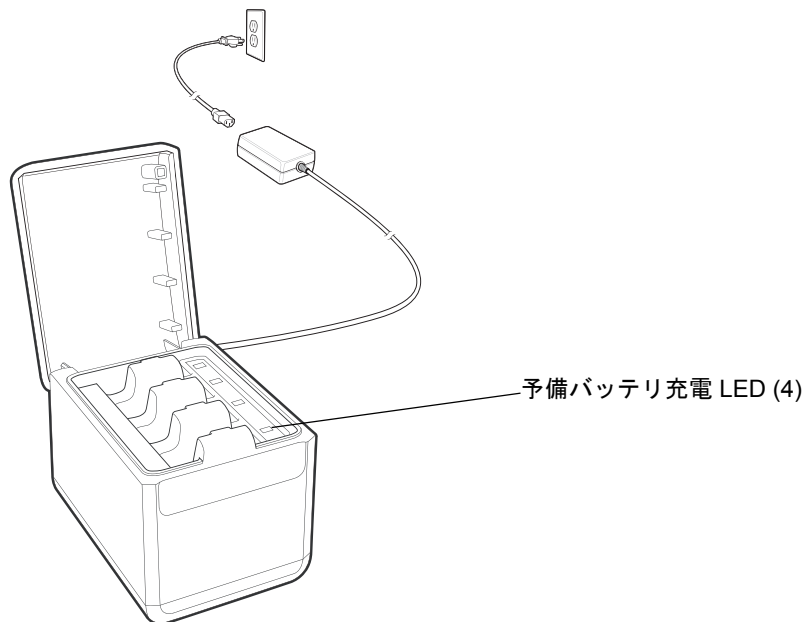


図 8-11 4 スロット予備バッテリー充電器

予備バッテリーを 4 スロット バッテリー充電器から取り外すには、次の手順に従います。

1. 予備バッテリー充電用受けに取り付けられたバッテリーを、充電器の背面に向けてそっと押します。ラッチのロックが解除されます。
2. 予備バッテリー充電用受けからバッテリーを上向きに引き上げて取り外します。

✓ **注** 4 スロットバッテリー充電器には互換性があり、3080mAh リチウム イオン バッテリーを充電できます (部品番号 BTRY-MCXX-3080-01R、BTRY-MCXX-3080-10R および BTRY-MCBR-3080-01R)。

バッテリー充電インジケータ

充電器には、それぞれのバッテリー受けに緑色の LED がついています。充電の状態の表示については、[表 8-2](#)を参照してください。3080mAh バッテリーは約 25°C (77°F) の室温で 6 時間以内に充電が完了します。充電時間は温度によって異なることがあります。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、4 スロット バッテリー充電器によって精密に制御されています。

温度の制御を実現するため、充電器がバッテリーの充電を交互に有効にしたり無効にしたりして、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になったときは、充電器の LED でそれを示します。1-7 ページの表 1-1 を参照してください。

表 8-2 予備バッテリー LED の充電インジケータ

LED	意味
消灯	予備バッテリーがスロットに入っていないか、バッテリーが充電されていないか、バッテリーが充電器に正しく差し込まれていないか、充電器に電力が供給されていない。
緑色でゆっくり点滅	予備バッテリーが充電中。
緑色の点灯	充電が完了しました。
赤色で速く点滅	充電エラーです。

Micro USB アダプタ

Micro USB アダプタを使用して、アクセサリ デバイス (プリンタ、USB フラッシュ ドライブなど) を MC45 に接続します。Micro USB アダプタは DEX ケーブルを MC45 に接続します。

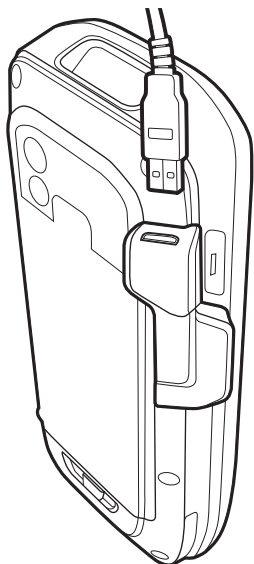


図 8-12 Micro USB アダプタ接続



注 Micro USB アダプタは MC45 への接続にのみ使用でき、シングル スロット充電クレードルへの接続には使用できません。

Micro USB アダプタの目的は、MC45 Micro USB ポートを拡張することです。Micro USB アダプタを使用して、MC45 の機械的摩耗や障害を最小限にとどめます。



注意 100mA を超える USB デバイスを接続しないでください。100mA を超えるデバイスが接続されている場合は、MC45 に警告ダイアログ ボックスが表示されます。USB デバイスを Micro USB アダプタから取り外します。

アクセサリ デバイスの USB コネクタを Micro USB アダプタに接続します。

- ✓ 注 USB フラッシュ ドライブを Micro USB アダプタに接続すると、ファイル エクスプローラの【マイ デバイス】フォルダの下の【ハード ディスク】フォルダに USB フラッシュ ドライブが表示されます。

ハンドストラップ

ハンドストラップを使用すると、MC45 を手首に安全に装着できます。ハンドストラップを装着するには、次の手順に従います。

1. MC45 に取り付けられている取り付け板を固定している 2 つのねじを取り外します。
2. 取り付け板からストラップを外します。
3. ハンドストラップ プレートにストラップを取り付けます。
4. ハンドストラップ プレートを MC45 に取り付けます。

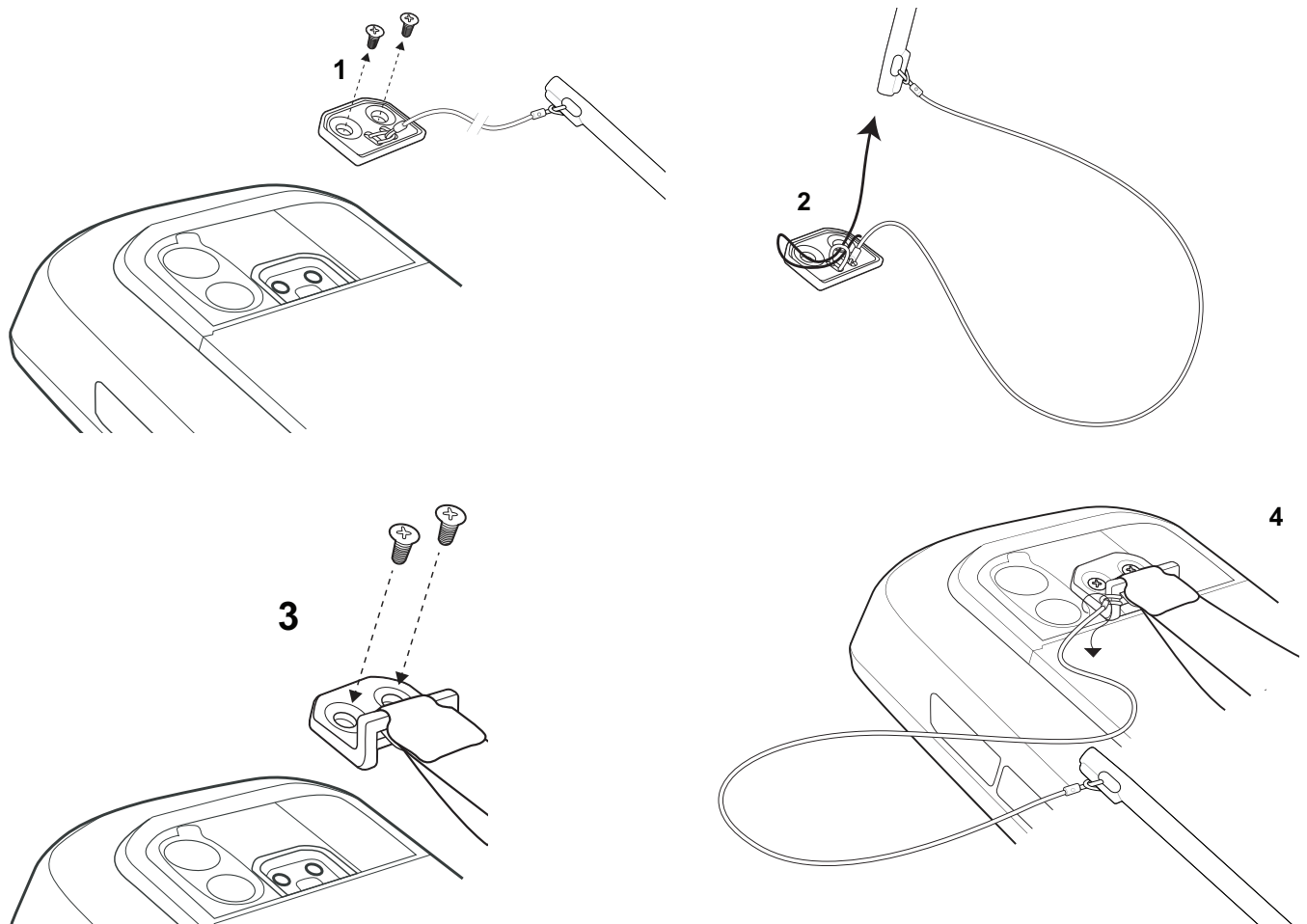


図 8-13 ハンドストラップの設置

ActiveSync

さまざまなホスト デバイスと通信するには、ホスト コンピュータに Microsoft ActiveSync (バージョン 4.5 以降) をインストールします。ActiveSync を使用して、MC45 とホスト コンピュータ上の情報を同期します。同期すると、MC45 またはホスト コンピュータで行った変更が両方に反映されます。

- ✓ **注** MC45 がホスト コンピュータに接続されていて、ActiveSync への接続が確立されると、WLAN 無線通信が無効になります。これは、Microsoft のセキュリティ機能によって 2 つのネットワークへの同時接続ができないように設定されているためです。

ActiveSync ソフトウェアの機能は、以下のとおりです。

- ホスト コンピュータ上で、モバイル コンピュータ対応のホスト アプリケーションを利用できる。ActiveSync では、モバイル コンピュータのデータを複製し、ホスト アプリケーションでモバイル コンピュータ上のデータを表示、入力、および修正できるようにします。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータ間でファイルを同期し、ファイルを正しい形式に変換する。
- モバイル コンピュータに保存されたデータをバックアップする。同期は、データを常に保護して最新の状態にするワンステップの操作です。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータ間で、ファイルをコピー (同期ではなく) する。
- 同期モードを選択することで、同期を実行するタイミングを指定する。たとえば、モバイル コンピュータをホスト コンピュータに接続している間、常に同期を行ったり、指定した場合のみ同期を行うように設定できます。
- 同期する情報の種類を選択し、同期するデータ量を指定する。

ActiveSync のインストール

ホスト コンピュータに ActiveSync をインストールするには、Microsoft の Web サイト (<http://www.microsoft.com>) からバージョン 4.5 以降をダウンロードします。ActiveSync ソフトウェアに含まれるインストール手順を参照してください。

MC45 のセットアップ

- ✓ **注** Microsoft では、MC45 に接続する前にホスト コンピュータに ActiveSync をインストールすることが推奨されています。

MC45 は、USB 接続で通信するように設定できます。MC45 の通信設定は、ActiveSync で使用されている通信設定と一致するように設定する必要があります。

1. MC45 で、**[スタート]** > **[ActiveSync]** をタップします。
2. **[メニュー]** > **[接続]** をタップします。
3. ドロップダウン リストから接続の種類を選択します。
4. **[OK]** をタップして **[接続]** ウィンドウを終了します。
5. **[OK]** をタップして **[ActiveSync]** ウィンドウを終了します。
6. ActiveSync がインストールされているホスト コンピュータとのパートナーシップリストの設定を続行します。

ホスト コンピュータでの ActiveSync 接続のセットアップ

ActiveSync を起動するには、次の手順に従います。

1. ホスト コンピュータで、**[スタート]** > **[プログラム]** > **[Microsoft ActiveSync]** を選択します。

✓ **注** MC45 ごとに、一意のデバイス名を割り当てます。複数の MC45 を同じ名前で同期しないようにしてください。

2. **[ActiveSync]** ウィンドウで、**[ファイル]** > **[接続の設定]** を選択します。**[接続の設定]** ウィンドウが表示されます。
3. **[USB 接続を有効にする]** チェック ボックスをオンにします。
4. **[タスク バーにステータス アイコンを表示する]** チェック ボックスをオンにします。
5. 変更内容を保存するには、**[OK]** を選択します。

MC45 との同期

✓ **注** MC45 がホスト コンピュータに接続され、ActiveSync 接続が確立されると、WLAN 無線通信（該当する場合）が無効になります。これは、Microsoft のセキュリティ機能によって 2 つのネットワークへの同時接続ができないように設定されているためです。

MC45 と同期するには、次の手順に従います。

1. **[接続済み]** ウィンドウがホスト コンピュータ上に表示されない場合は、**[スタート]** > **[ActiveSync]** を選択してから、**[次へ]** をクリックします。
2. Microsoft Exchange を実行しているサーバーがある場合は、同期するようにチェック ボックスをオンにしてから、**[次へ]** をクリックします。
3. 適切な設定を選択してから、**[次へ]** をクリックし、**[完了]** をクリックします。

初回の同期では、MC45 に保存された情報がホスト コンピュータにコピーされます。コピーが完了して、すべてのデータが同期されると、MC45 をホスト コンピュータから切断できます。

✓ **注** 初回の ActiveSync の操作は、ローカルの直接接続で実行する必要があります。Windows Mobile は、コールドブート後にも、パートナーシップ情報を保持します。

ActiveSync の使用方法の詳細については、ホスト コンピュータで ActiveSync を起動して、**ActiveSync ヘルプ**を参照してください。

第 9 章 メンテナンスと トラブルシューティング

はじめに

この章では、MC45 のクリーニングと保管方法、および MC45 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

MC45 のメンテナンス

トラブルを避けるため、MC45 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- MC45 の画面を引っかかないでください。MC45 の操作中は、付属のスタイラス、またはタッチスクリーンでの使用を目的とした先端がプラスチックのペンをご使用ください。MC45 の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。
- MC45 には、スクリーン保護シート (部品番号 KT-MC45-SCRNP-10R) が貼られています。スクリーンのキズや磨耗を低減させるため、このシートを使用することをお勧めします。これにより、タッチスクリーンの寿命が延びます。保護シートを使用する利点は以下のとおりです。
 - スクリーンを保護し、キズを防ぐ
 - スタイラスの使用によるスクリーン表面の感度低下を防ぐ
 - 磨耗や薬品からスクリーンを保護する
 - 光の反射を抑える
 - スクリーンを新品同様の状態に保つ
 - 迅速かつ簡単に取り付けられる
- MC45 のタッチスクリーンはポリカーボネート製です。MC45 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- MC45 は極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、MC45 の保管や利用を避けてください。

- MC45 をクリーニングするには、レンズ用の柔らかい布を使用してください。MC45 のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布を薄めた窓ガラス洗剤で湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

スクリーン保護シートを取り外す

MC45 には、スクリーン保護シートが貼られています。スクリーンのキズや磨耗を低減させるため、このシートを使用することをお勧めします。これにより、タッチ スクリーンの寿命が延びます。

スクリーン保護シートを取り外すには、クレジットカードなどのプラスチック製の薄いカードで角を持ち上げて、ディスプレイから慎重に剥がします。

スクリーン保護
シートの角を
持ち上げます



図 9-1 スクリーン保護シートを取り外す



注意 とがったものを使ってスクリーン保護シートを剥がさないでください。ディスプレイを傷める可能性があります。



注 スクリーン保護シートを使用していない場合、保証条項の適用範囲に影響する場合があります。交換用のスクリーン保護シートのご購入については、各国の担当者または Zebra までお問い合わせください。スクリーン保護シートの取り付け方法に関する説明書も付属しています。P/N: KT-MC45-SCRNP-10R スクリーン保護シート 10 枚組

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザー ガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてのご質問は、Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) にお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として利用する機器は、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみに接続することができます。
- IEEE1725 の 10.2.1 の要件に従った承認済みバッテリーを認証するため、すべてのバッテリーに、Zebra のホログラムを添付しています。Zebra の認証ホログラムを確認せずにバッテリーを取り付けしないでください。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に従ってすみやかに廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーを飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーが破損した恐れがある場合は、Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) に検査を依頼してください。

クリーニング



警告 高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。



注意 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Zebra に詳細をお問い合わせください。

必要な材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

MC45 のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で筐体を拭きます。キーやキーの間の部分も拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

スキャナ ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパー、またはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にスキャナ ウィンドウを拭いてください。

コネクタ

1. モバイル コンピュータからメイン バッテリーを取り外します。1-8 ページの「[バッテリーの交換](#)」を参照してください。
2. バッテリー カバーを閉じます。
3. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
4. 綿棒のコットン部で、MC45 の下部のコネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
5. これを 3 回以上繰り返します。
6. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
7. 乾いた綿棒で、ステップ 4 ～ 6 を繰り返します。



注意 ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

8. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
9. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの全面も、綿棒で拭く必要があります。



注意 ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
6. 綿棒の屑が残っていないことを確認し、屑が残っていれば取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ～ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。必要に応じた頻度でクリーニングを行うことができます。ただし、埃の多い環境で使用する場合は、スキャンのパフォーマンスを最適に保つため、スキャナ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

トラブルシューティング

MC45

表 9-1 MC45 のトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
MC45 がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	バッテリーを充電または交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。1-5 ページの「 バッテリーの取り付け 」を参照してください。
	システムがクラッシュしている。	ウォーム ブートを実行します。この方法でも、MC45 がオンにならない場合は、コールド ブートを実行します。2-17 ページの「 MC45 のリセット 」を参照してください。
充電式バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも MC45 が動作しない場合は、ウォーム ブートを実行し、その後コールド ブートを実行します。2-17 ページの「 MC45 のリセット 」を参照してください。
	バッテリーの充電中に MC45 をクレードルから取り外した。	MC45 をクレードルに差し込み、充電を行います。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
ディスプレイの文字が見えない。	MC45 の電源がオンになっていない。	赤色の電源ボタンを押します。
データ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、MC45 をクレードルから取り外したか、ホストコンピュータから切断した。	MC45 をクレードルに置き直すか、通信ケーブルをつなぎ直して再度転送を行います。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアのインストールや構成が正しくない。	セットアップを実行します。詳細については『MC45 Integrator Guide』を参照してください。
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。2-14 ページの「 音量を調節する 」を参照してください。

表 9-1 MC45 のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
MC45 の電源が突然切れる。	MC45 が非アクティブになっている。	MC45 は一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。MC45 をバッテリー電源で使用している場合は、その時間を 1 ～ 5 分 (1 分刻み) で設定します。MC45 を外部電源で使用している場合は、その時間を 1、2、5、10、15、30 分のいずれかに設定します。 [スタート] > [設定] > 電源アイコンの順に選択し、[電源] ウィンドウを確認します。[詳細] タブを選択し、自動シャットオフ機能が動作するまでの時間設定を長い時間に変更します。
	バッテリーが完全に放電してある。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
	バッテリーが適切に差し込まれていない。	バッテリーを正しく差し込みます。1-5 ページの「 バッテリーの取り付け 」を参照してください。
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	スクリーンが正しく調整されていない。	スクリーンを再調整します。1-8 ページの「 スクリーンの調整 」を参照してください。
	システムの反応がない。	システムをウォーム ブートします。2-17 ページの「 MC45 のリセット 」を参照してください。
MC45 のメモリが満杯というメッセージが表示される。	MC45 に保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。必要に応じて、その記録をホスト コンピュータに保存します (または microSD カードを使用してメモリを追加します)。
	MC45 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが MC45 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。[スタート] > [設定] > [システム] を選択し、 プログラムの削除 アイコンをタップします。使用していないプログラムを選択し、[削除] をタップします。
MC45 が使用電力を落としてメモリの内容を保護しようとする。	MC45 のバッテリー残量が少なくなっている。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。電力を節約するように MC45 を設定します。詳細については、1-10 ページの「 バッテリーの管理 」を参照してください。

表 9-1 MC45 のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
MC45 がデータ収集入力を受け付けない。	スキャン アプリケーションがロードされていない。	MC45 にスキャン アプリケーションをロードします。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	スキャナ ウィンドウとバーコードとの距離が適切ではない。	MC45 を正しいスキャン範囲に置きます。
	バーコード用に MC45 が設定されていない。	スキャンするバーコードに対応するように、MC45 を設定します。
	MC45 がビープ音を鳴らすように設定されていない。	正しく読み取ったときに MC45 がビープ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにビープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
	バッテリー残量が少なくなっている。	スキャナのトリガを押したときにレーザ光線の放射が停止する場合は、バッテリー レベルを確認します。バッテリー残量が少なくなっていると、MC45 がバッテリー残量が少ないことを通知する前に、スキャナがシャットオフします。注: この対処法を実行してもスキャナがコードを読み取らない場合は、代理店または Zebra にお問い合わせください。
SIM カードが取り付けられていると通話サービスを利用できない。	SIM カードが正しく取り付けられていない可能性がある。	SIM カードを取り付け直し、正しくセットされていることを確認します。1-4 ページの「SIM カードの取り付け」を参照してください。
連絡先を SIM カードにコピーすると、「SIM Error. Cannot save information to the SIM」(SIM エラーです。SIM に情報を保存できません) というエラーメッセージが表示される。	機能が一部の SIM カードでサポートされていない。	新しい連絡先の作成中にエラーが表示された場合は、[勤務先の電話] フィールドに 1 つ以上の数字 (たとえば、0) を追加します。
		1 件の連絡先をコピーするときにエラーが表示された場合は、MC45 をリブートします。リブート後にその連絡先が SIM カードに表示されます。
		複数の連絡先をコピーするときにエラーが表示された場合は、一度に 1 件の連絡先をコピーし、上記の解決策に従います。
		ホスト コンピュータの Microsoft Outlook と連絡先を同期するには、Microsoft Outlook Exchange と ActiveSync を使用します。

表 9-1 MC45 のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
MC45 が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10m 以内に MC45 を近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

シングル スロット充電クレードル

表 9-2 シングル スロット充電クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC45 を差し込んでも LED が点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源ケーブルが、クレードルと AC 電源の両方にしっかり接続されていることを確認します。
	MC45 がクレードルにしっかりセットされていない。	MC45 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
MC45 バッテリーが充電されない。	MC45 をクレードルから、またはクレードルを AC 電源から抜くのが早すぎた。	クレードルに電力が供給されていることを確認します。MC45 が正しくセットされていることを確認します。[スタート] > [設定] > [電源] と選択して、バッテリーが充電されていることを確認します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC45 がクレードルに完全にセットされていない。	MC45 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ~ 35°C の場所に移動します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。

表 9-2 シングル スロット充電クレードルのトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	アクション
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	MC45 が通信中にクレードルから取り外された。	MC45 をクレードルに戻し、転送し直します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC45 Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。

マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル

表 9-3 マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC45 を差し込んでも LED が点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源ケーブルが、クレードルと AC 電源の両方にしっかり接続されていることを確認します。
	MC45 がクレードルにしっかりセットされていない。	MC45 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
MC45 バッテリーが充電されない。	MC45 をクレードルから、またはクレードルを AC 電源から抜くのが早すぎた。	クレードルに電力が供給されていることを確認します。MC45 が正しくセットされていることを確認します。[スタート] > [設定] > [電源] と選択して、バッテリーが充電されていることを確認します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC45 がクレードルに完全にセットされていない。	MC45 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ～ 35°C の場所に移動します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。

車載用充電クレードル

表 9-4 車載用充電クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC45 を差し込んでも LED が点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源入力ケーブルが、クレードルの電源ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。
MC45 バッテリーが充電されない。	クレードルから MC45 を取り外すのが早すぎた。	MC45 をクレードルに差し込み直します。
	バッテリーが故障している。	バッテリーを交換します。
	MC45 がクレードルに正しく差し込まれていない。	クレードルから MC45 を取り外し、正しく差し込み直します。それでもバッテリーが充電されない場合は、カスタマ サポートにお問い合わせください。 MC45 が正しく差し込まれ、充電されている場合、MC45 のバッテリー充電 LED が黄色でゆっくりと点滅します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ～ 35°C の場所に移動します。
	MC45 が通信中にクレードルから取り外された。	MC45 をクレードルに戻し、転送し直します。

4 スロット予備バッテリー充電器

表 9-5 4 スロット バッテリー充電器のトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC45 を差し込んでも LED が点灯しない。	充電器に電力が供給されていない。	電源ケーブルが、充電器と AC 電源の両方にしっかりと接続されていることを確認してください。
	MC45 バッテリーが充電器にしっかりとセットされていない。	MC45 バッテリーをクレードルから取り外して、しっかりとセットされるように差し込み直します。

表 9-5 4 スロット バッテリ充電器のトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	アクション
MC45 バッテリが充電されない。	バッテリーを充電器から取り外したり、充電器を AC 電源から抜くのが早すぎた。	バッテリーを充電器に差し込み直すか、充電器の電源を接続し直します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	バッテリーの端子が充電器に接続されていない。	バッテリーが、端子を下にして充電用受けに正しくセットされていることを確認します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	充電器を、周辺温度が 0 ～ 35°C の場所に移動します。

ケーブル

表 9-6 ケーブルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC45 バッテリが充電されない。	MC45 を AC 電源から抜くのが早すぎた。	電源ケーブルを正しく接続します。[スタート]>[設定]>[電源]と選択して、メイン バッテリが充電されていることを確認します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC45 が電源にしっかり接続されていない。	MC45 から電源ケーブルを抜いて差し込み直し、しっかり接続されていることを確認します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、MC45 からケーブルが抜けた。	ケーブルを差し込み直して転送をやり直します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC45 Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。

付録 A 技術仕様

MC45 の技術仕様

次の表に、MC45 の設計動作環境とハードウェアの技術仕様を示します。

表 A-1 MC45 の技術仕様

各部の名称	説明
物理的特性	
寸法	長さ : 14.2cm (5.6 インチ) 幅 : 6.6cm (2.6 インチ) 奥行き : 2.5cm (1.0 インチ)
重量	247.4g (8.73 オンス)
ディスプレイ	3.2 インチ TFT 16 ビット カラー液晶 (QVGA)、バックライト搭載、65,536 色 解像度 240 (横) x 320 (縦) (QVGA)
タッチ パネル	ポリカーボネート製アナログ抵抗膜式
バックライト	LED バックライト
バッテリー	充電式リチウム イオン バッテリー 3.7V、3080mAh バッテリー
拡張スロット	ユーザーがアクセス可能な microSD スロット、UHS-I SDHC サポート (最大 32GB)
ネットワーク接続	USB 2.0 ハイ スピード (ホストおよびクライアント)、WLAN、WWAN および Bluetooth
通知	バイブレータ、可聴音および多色 LED
キーパッド オプション	数字
オーディオ	VoWWAN: ノイズ削減、スピーカ フォン モード、Bluetooth 無線ヘッドセット モードがアクティブなハンドセット モード

表 A-1 MC45 の技術仕様 (続き)

各部の名称	説明
性能特性	
CPU	600MHz、ARM 11 プロセッサ、MSM 7627
オペレーティング システム	Microsoft® Windows Embedded Handheld™ 6.5.3 Professional Edition
メモリ	256MB RAM/1GB フラッシュ
インターフェース / 通信	USB 2.0
出力	USB: DC 5V、300mA (最大)
ユーザー環境	
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能	1.5m (5 フィート) の高さからの落下 (MIL-STD 810G 準拠) 動作温度範囲下で、0.9m (3 フィート) の高さからコンクリート面に複数回落下しても動作可能
転倒	標準バッテリーを装着して 0.5m (1.5 フィート) の転倒を 250 回繰り返しても動作可能、該当する IEC 耐転倒衝撃仕様に適合
静電気放電 (ESD)	± 15kVdc 大気放電、± 8kVdc 直接放電、± 8kVdc 間接放電
シーリング	IP64 (該当する IEC シーリング加工仕様に適合)
振動	.04g2/Hz ランダム、動作不能、軸当たり 1 時間持続
耐熱衝撃性	-40°C ~ 70°C の急激な温度変化
ワイヤレス WAN データおよび音声通信	
無線機	GSM および UMTS/HSDPA
周波数帯	GSM – すべてのモジュールのクアッド バンド : 850/900/1800/1900MHz UMTS/HSDPA – MC4597-A および MC4587-A : 2100MHz UMTS/HSDPA – MC4597-B: 850/1900MHz
GPS	統合、アシスト、自動 GPS GPS (A-GPS)
ワイヤレス LAN データおよび音声通信	
無線機	MC4597-A および MC4597-B: 3 モード IEEE® 802.11a/b/g
サポートされるデータ速度	1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54Mbps

表 A-1 MC45 の技術仕様 (続き)

各部の名称	説明
動作チャンネル	チャンネル 8 ~ 169 (5040 ~ 5845MHz) チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz)、チャンネル 14 (2484MHz) 日本のみ 実際の動作周波数は、各地域の規制および承認機関により異なります
セキュリティ	WPA2、WEP (40 または 128 ビット)、TKIP、TLS、TTLS (MS-CHAP)、TTLS (MS-CHAP v2)、TTLS (CHAP)、TTLS-MD5、TTLS-PAP、PEAP-TLS、PEAP (MS-CHAP v2)、AES、LEAP、CCXv4 認定、FIPS 140-2 認定
通信方式	直接スペクトラム拡散方式 (DSSS) および直交周波数分割多重方式 (OFDM)
アンテナ	内蔵
ワイヤレス PAN データおよび音声通信	
Bluetooth	Class II、V2.0 EDR
データキャプチャ仕様	
オプション	1D レーザ、カラー カメラ
レーザ 1D スキャナ (SE965) の仕様	
光学分解能	0.005 インチ 最小光源幅
回転	± 35°
ピッチ	± 65°
スキュー	± 40°
周辺光	通常の室内照明および屋外自然光 (直射日光) に対応。蛍光灯、白熱灯、水銀灯、ナトリウム灯、LED : 450 フット キャンドル (4,844Lux) 直射日光 : 8000 フット キャンドル (86,111Lux)
耐衝撃	2,000 ± 5% G
スキャン速度	50 (± 6) スキャン / 秒 (双方向)
スキャン角度	46.5° (通常値)
レーザ出力	1.0mW (公称値)
カメラの仕様	
解像度	3.2 メガ ピクセル、オート フォーカスとフラッシュ

表 A-2 データ収集オプション

各部の名称	説明		
カメラ読み取り機能	1-D バーコード		
	Codabar Code 93 Coupon Code EAN 13 Korean 3 of 5 RSS 14 Trioptic Code 29 UPCE	Code 11 Code 128 Discrete 2 of 5 Interleaved 2 of 5 MSI RSS Limited UCC / EAN 128 UPCE1	Code 39 Chinese 2 of 5 EAN 8 ISBT 128 RSS RSS Expanded UPCA Web Code
	2-D バーコード		
	Australian Postal Composite C Image Macro Micro PRF PDF UK Postal US Postnet	Aztec Data Matrix Japan Postal Micro PDF QR Code UK Intellimail	Composite AB Dutch Postal Linked Aztec Micro QR Signature US Planet

MC45 アクセサリの仕様

シングル スロット充電クレードル

表 A-3 シングル スロット充電クレードルの技術仕様

機能	説明
寸法	長さ : 9.6cm (3.8 インチ) 幅 : 8.30cm (3.3 インチ) 高さ : 6.8cm (2.7 インチ)
重量	245g (8.6 オンス)
入力電力	5VDC
消費電力	6W
インターフェース	USB
動作温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)

表 A-3 シングル スロット充電クレードルの技術仕様 (続き)

機能	説明
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
落下	室温にて 76cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル

表 A-4 マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードルの技術仕様

機能	説明
寸法 (台のみ)	長さ: 12.0cm (4.7 インチ) 幅: 45.0cm (17.7 インチ) 高さ: 3.8cm (1.5 インチ) 高さ: 4.4cm (1.7 インチ) + 5 つのゴム製キャップ
寸法 (5 つの充電器カップ付きの台)	長さ: 12.0cm (4.7 インチ) 幅: 45.0cm (17.7 インチ) 高さ: 7.7cm (3.0 インチ)
寸法 (4 つの充電器カップおよび 1 つの 4 スロット バッテリー充電器カップアダプタ付きの台)	長さ: 12.0cm (4.7 インチ) 幅: 45.0cm (17.7 インチ) 高さ: 7.7cm (3.0 インチ)
重量 (台のみ)	910g (32.10 オンス) 930g (32.80 オンス) + 5 つのゴム製キャップ
重量 (5 つの充電器カップ付きの台)	1190g (41.98 オンス)
重量 (4 つの充電器カップおよび 1 つの 4 スロット バッテリー充電器カップアダプタ付きの台)	1670g (58.91 オンス)
入力電力	12VDC
消費電力 (5 つの MC45)	37.5W
動作温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 42°C (32°F ~ 107°F)

表 A-4 マルチスロット ユニバーサル充電専用クレードルの技術仕様 (続き)

機能	説明
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
落下	室温にて 76cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット予備バッテリー充電器

表 A-5 4 スロット バッテリー充電器の技術仕様

機能	説明
寸法	長さ: 11.9cm (4.7 インチ) 幅: 8.7cm (3.4 インチ) 高さ: 9.4cm (3.7 インチ)
重量	366g (12.91 オンス)
入力電力	12VDC
消費電力	25.1W
動作温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
落下	室温にて 76cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

付録 B キーパッド

数字キーパッド構成

数字キーパッドには、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーが含まれます。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー（ブルー）の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変換することがあるため、MC45 のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[表 B-1](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-4 ページの表 B-2](#) を参照してください。



図 B-1 MC45 数字キーパッド

表 B-1 MC45 数字キーパッドの説明











キー	説明
ブルー キー (左) 	<p>ブルーのキーパッド上に示されたファンクション キーにアクセスするには、このキーを使用します。</p> <p>このモードをアクティブにするには、ブルー キーを 1 回押して別のキーを押します。</p> <p>1 回押すと、キーのライトがオンになり、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコン  が表示されます。</p> <p>ブルー キー モードでキーパッドをロックするには、ブルー キーを 2 回押します。この場合、画面の下部に、次のアイコン  が表示されます。</p> <p>もう一度ブルー キーを押すと、通常の状態に戻ります。</p>
オレンジ キー 	<p>キーパッドにオレンジで示されている文字と操作の第 2 階層にアクセスするには、このキーを使用します。</p> <p>このモードをアクティブにするには、オレンジ キーを 1 回押して別のキーを押します。</p> <p>1 回押すと、キーのライトがオンになり、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコン  が表示されます。</p> <p>オレンジ キー モードでキーパッドをロックするには、オレンジ キーを 2 回押します。LED のライトがオンになり、画面の下部に次のアイコン  が表示されます。</p> <p>連続シフトを追加するには、オレンジ キーを 2 回押し、Shift キーを押します (Shift キーをもう一度押すまで適用されます)。この場合、画面の下部に、次のアイコン  が表示されます。</p> <p>もう一度オレンジ キーを押すと、通常の状態に戻ります。</p>
通話 / スタート メニュー 	<p>通話 (緑色の電話): 電話キーパッド ウィンドウを表示したり、電話キーパッド ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。</p> <p>通話中に押すと、保留になります。</p> <p>このキーとブルー キーと一緒に押すと、画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションから [スタート] メニューを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。</p>
終了 / OK 	<p>終了 (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。</p> <p>このキーとブルー キーと一緒に押すと、OK ボタンまたは閉じるボタンとして機能します。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。</p>
スキャン (黄色) 	<p>スキャン対応アプリケーションでスキャナがアクティブになります。</p>

表 B-1 MC45 数字キーパッドの説明 (続き)











キー	説明
上/下ヘスクロール/ 左/右ヘスクロール 	1 つ上の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ左の項目へ移動します。 1 つ下の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ右の項目へ移動します。
アスタリスク/ バックライト 	デフォルトの状態では、ダッシュが入力されます。 オレンジ キーとともに押すと、アスタリスクが入力されます。 バックライトのオンとオフを切り替えるには、このキーとブルー キーと一緒に押します。
英数字 	デフォルトの状態では、キーに示されている数値が入力されます。 オレンジ キーとともに押すと、キーに示されている英字が小文字で入力されます。 キーを押すたびに、次の英字に切り替わります。たとえば、オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「g」が入力されます。オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「i」が入力されます。 英字モードで SHIFT キーを押すと、キーに示されている英字が大文字で入力されます。たとえば、オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「G」が入力されます。オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「I」が入力されます。
シャープ/SPACE 	デフォルトの状態では、シャープ/数字記号が入力されます。 オレンジ キーとともに押すと、スペースが入力されます。
BACKSPACE 	カーソルの前にある 1 文字を削除します。
SHIFT 	キーパッドの代替 SHIFT 機能を有効にするには、SHIFT キーを押して放します。 1 回押すと、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコン  が表示されます。 シフト キー モードでキーパッドをロックするには、シフト キーを 2 回押します。LED のライトがオンになり、画面の下部に次のアイコン  が表示されます。 連続シフトを追加するには、オレンジ キーを 2 回押し、Shift キーを押します (Shift キーをもう一度押すまで適用されます)。この場合、画面の下部に、次のアイコン  が表示されます。
ENT (Enter) 	選択した項目または機能を実行します。

表 B-2 数字キーパッドの入力モード

キー	数値モード			オレンジ キー (英字小文字モード)				オレンジ キー + Shift キー (英字大文字モード)			
		ブルー + キー	SHIFT + キー	1 回押 した 場合	2 回押 した 場合	3 回押 した 場合	4 回押 した 場合	1 回押 した 場合	2 回押 した 場合	3 回押 した 場合	4 回押 した 場合
1	1	F1	!								
2	2	F2	@	a	b	c		A	B	C	
3	3	F3	#	d	e	f		D	E	F	
4	4	F4	\$	g	h	i		G	H	I	
5	5	F5	%	j	k	l		J	K	L	
6	6	F6	^	m	n	o		M	N	O	
7	7	F7	&	p	q	r	s	P	Q	R	S
8	8	F8	*	t	u	v		T	U	V	
9	9	F9	(w	x	y	z	W	X	Y	Z
0	0	F10)	.				>			
上	上	上	上を 強調 表示	左				左			
下	下	下	下を 強調 表示	右				右			
Enter	アク ション	アクショ ン	アク ション	アク ション				アク ション			

注: アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

特殊文字キー

MC45 áü キーを使用して特殊文字を追加するには、まずオレンジ キーを 2 回押して、関連する文字を入力し、áü (P) キーを押します。特殊文字が表示されるまで、áü キーを押し続けます。既存の文字を変更するには、文字の右側にカーソルを移動してオレンジ キーを 2 回押し、元の文字が特殊文字に置き換わるまで áü キーを押します。表 B-3 に、入力可能な特殊文字を示します。

表 B-3 特殊文字

キー	特殊文字		キー	特殊文字
a	à á â ã ä å æ		A	À Á Â Ã Ä Å Æ
c	ç ć ċ ©		C	Ç Č Ć ©
d	ð		D	Ð
e	è é ê ë ě		E	È É Ê Ë Ě
i	ì í î ï		I	Ì Í Î Ï
l	ł		L	Ł Ł
n	ñ		N	Ñ
o	ò ó ô õ ö ø œ		O	Ò Ó Ô Õ Ö Ø Œ
p	þ ƿ		P	þ ƿ
r	®		R	®
s	ș ș ß		S	Ș ș ß
t	ţ		T	Ț
u	ù ú û ü ú		U	Ù Ú Û Ü Ü
y	ý		Y	Ý
z	ź ź		Z	Ź Ź
\$	€ £ ¥		/	\
"	' « ' »		([{ < «
)] } > »		+	± & - _
!	¡ ? ¿		.	! , ;
*	#		@	~ %
%	^		,	; . :
#	*		&	- _ + ±
_	+ ± & -		‘	« » "
?	¿ ! ¡		:	, ; .
-	_ + ± &			

用語

A

API. あるソフトウェア コンポーネントが他のコンポーネントと通信したり、他のコンポーネントを制御したりする際に使用するインターフェース。通常は、あるソフトウェア コンポーネントによって、ソフトウェアの割り込みや機能の呼び出しによって、他のコンポーネントに提供されるサービスを指します。

AKU. (Adaptation Kit Update) Windows Mobile OS のアップデート。

AFH. 適応型周波数ホッピング。

ActiveSync. Windows Mobile OS で使用される Microsoft によって開発されたデータ同期プログラム。

B

bps. 「ビット/秒 (bps)」を参照してください。

C

Codabar. セルフチェックを行うディスクリット コード。0 ～ 0 の数字と 6 つの追加文字 (- \$: / , および +) で構成されるキャラクタ セットが含まれます。

Code 128. コントローラで 128 文字すべての ASCII 文字をシンボル要素を追加せずにエンコードできる、高密度な記号体系。

Code 3 of 9 (Code 39). 広く使用されている多機能な英数字バーコードの記号体系。すべての大文字、0 ～ 9 の数字、および 7 つの特殊文字 (- , . / + % \$ およびスペース) を含む 43 種類のキャラクタで構成されます。このコード名は、キャラクタを示す 9 つの要素のうち 3 つが広く、残りの 6 つが狭いことに由来しています。

Code 93. Code 39 と互換性を持つ工業用記号体系。完全な ASCII キャラクタ セットを提供し、Code 39 よりも高い密度のコーディングを実現します。

COM ポート. 通信ポート。ポートは COM1 や COM2 など、数字で識別されます。

D

Discrete 2 of 5. 各キャラクタを 5 本のバー (うち 2 本の幅が広い) のグループで表す 2 進数のバーコードの記号体系。グループ内の幅の広いバーの場所によって、エンコードされるキャラクタが決定されます。スペースは重要ではありません。数字キャラクタ (0 ~ 9) と、スタートまたはストップ キャラクタのみがエンコード可能です。

E

EAN. 欧州統一商品番号。これは UPC のヨーロッパ/国際版で、独自のコーディング形式と記号体系標準があります。エレメントの寸法はメートル法で指定されています。EAN は、主に小売業で使用されます。

EMDK. Enterprise Mobility Developer' s Kit の略。

ESD. Electro-Static Discharge (静電気放電) の略。

F

FTP.「ファイル転送プロトコル」を参照してください。

G

GPS (グローバル ポジショニング システム). 24 個の衛星ネットワークで構成される衛星ベースのナビゲーション システム。GPS 衛星は地球を周回し、信号情報を送信します。この情報は GPS 受信機によって受信され、三角法によってユーザーの正確な位置が計算されます。

H

Hz. ヘルツ。1 秒あたり 1 サイクルと同等の周波数の単位です。

High-Speed Downlink Packet Access (HSDPA). High-Speed Packet Access (HSPA) ファミリー内の 3G (第 3 世代) 携帯電話通信プロトコル。Universal Mobile Telecommunications System (UMTS) を基礎とするネットワークによる、より高速かつ大容量のデータ転送が可能になります。

I

Interleaved 2 of 5. 5本のバーと5本のインターリーブスペースで構成されるグループ内の、キャラクタのペアを表す2進数のバーコードの記号体系。インターリーブにより、情報の高密度化が可能になります。各グループ内の太いエレメント(バー/スペース)の位置は、エンコードされるキャラクタによって決まります。このコンティニuasコードタイプは、キャラクタ間スペースを使用しません。数字(0～9)と、スタートまたはストップキャラクタのみがエンコード可能です。

IP. インターネット プロトコル (Internet Protocol) の略。TCP/IP 通信プロトコルの IP 部分。IP はプロトコルのネットワーク層(第3層)を実装しています。ネットワーク層にはネットワーク アドレスが含まれており、ネットワーク層を使用して別のネットワークやサブネットワークにメッセージをルーティングします。IP では、第4層の転送プロトコル(TCP または UDP)からの「パケット」を受け取り、独自のヘッダを追加して、第2層のデータ リンク プロトコルに「データグラム」を渡します。また、ネットワークの最大転送単位 (MTU) をサポートするため、パケットをいくつかの断片に分解する場合があります。

IP アドレス. (インターネット プロトコル アドレスの略) IP ネットワークに接続されたコンピュータのアドレス。すべてのクライアントおよびサーバー ステーションは、固有の IP アドレスを持っている必要があります。IP ネットワーク上のコンピュータでは、32 ビット アドレスが使用されます。クライアント ワークステーションには、固定アドレスか、セッションごとに動的にワークステーションに割り当てられるアドレスを設定します。IP アドレスは、ピリオドで分割された4セットの数字で記述されます。たとえば、204.171.64.2 などとなります。

L

LCD.「液晶ディスプレイ」を参照してください。

LED インジケータ. インジケータとして使用される半導体ダイオード(LED は発光ダイオード)。多くはデジタル ディスプレイに使用されます。この半導体は、印加電圧を使用して、ある特定の周波数の光を発生します。周波数は半導体の化学組成によって決定されます。

M

MC. Mobile Computer (モバイル コンピュータ) の略。

MDN. Mobile Directory Number (モバイル ディレクトリ番号) の略。モバイル装置につなぐために(通常は POTS を使用して)ダイヤルする電話番号の一覧を表示するディレクトリ。MDN は通常、携帯電話の MIN と関連づけられており、米国とカナダでは、音声を使用する携帯電話のユーザーに対する MDN と MIN は同じ値になります。国際ローミングを考慮すると、MDN は MIN と異なる値になります。

N

NVM. Non-Volatile Memory (不揮発性メモリ) の略。

P

PAN. Personal area network (パーソナル エリア ネットワーク) の略。Bluetooth 無線テクノロジーを使用して、複数のデバイスが無線で通信できるようになります。一般的に無線 PAN は、約 10m の範囲内で通信する 254 台までのデバイスの動的なグループで構成されます。通常は、この限定された領域の中にあるデバイスのみがネットワークに参加できます。

PING. Packet Internet Groper の略。特定の IP アドレスがオンラインであるかどうかを判断するために使用されるインターネット ユーティリティ。パケットを送信して応答を待つことで、ネットワークをテストしたりデバッグしたりするために使用されます。

R

RAM. Random Access Memory (ランダム アクセス メモリ) の略。RAM 内のデータにはランダムな順序でアクセスでき、すばやい読み書きが可能です。

RF. Radio Frequency (無線周波数) の略。

ROM. Read-Only Memory (読み出し専用メモリ) の略。ROM に格納されたデータを変更または削除することはできません。

T

TCP/IP. Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。異種システム間をネットワーク接続するために使用される通信プロトコルです。この標準はインターネットのプロトコルであり、通信に関するグローバルな標準となっています。TCP は転送機能を提供します。これにより、送信された合計バイト数が相手側で正しく受信されるようになります。UDP は代替的な転送機能で、配信は保証されません。UDP は、異常なパケットが再送されないリアルタイムの音声および映像の転送に使用されます。IP はルーティング メカニズムを備えています。TCP/IP はルーティング可能なプロトコルです。これは、すべてのメッセージに、宛先ステーションのアドレスだけでなく宛先ネットワークのアドレスも含まれていることを意味します。これにより組織内や世界中の複数のネットワークに TCP/IP メッセージを送信できるため、TCP/IP は世界中のインターネットで使用されています。TCP/IP ネットワーク内のすべてのクライアントとサーバーには、固定 IP アドレス、または起動時に動的に割り当てられる IP アドレスが必要です。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol. 「TCP/IP」を参照してください。

U

UDP. User Datagram Protocol (ユーザー データグラム プロトコル) の略。IP プロトコル セットに含まれるプロトコルのひとつで、信頼性の高い配信が必要でない場合に、TCP に代わって使用されます。たとえば、再転送する時間がないためにパケットが失われても単純に無視されるようなリアルタイムの音声および映像のトラフィックに対して、UDP が使用されます。UDP を使用して信頼性の高い配信を行う必要がある場合は、パケット シーケンスのチェックとエラー通知をアプリケーション内に記述する必要があります。

UPC. Universal Product Code (ユニバーサル プロダクト コード) の略。比較的複雑な数字の記号体系です。各キャラクタは 2 つのバーと 2 つのスペースで構成され、そのそれぞれが 4 種類の幅のいずれかになります。米国での小売の食品パッケージで標準的に使用される記号体系です。

あ

アプリケーション プログラミング インターフェース (Application Programming Interface).「API」を参照してください。

い

インターネット プロトコル アドレス.「IP」を参照してください。

え

液晶ディスプレイ (LCD).2 枚のガラス板の間に封入された液晶を使用したディスプレイ。液晶は電圧を正確にかけることによって励起し、そのバイアスに従って光を外側に反射させます。消費電力が少なく、比較的高速で応答します。液晶の情報をユーザー側に反射するには、外光が必要となります。

か

解像度.特定の読み取りデバイスによって識別される、または特定のデバイスや方法で印刷される、最も幅の狭いエレメントの寸法。

き

共有キー.共有キーによる認証は、AP と MU の両方で認証キーを共有するアルゴリズムです。

許容範囲.バーまたはスペースの幅の公称値からの許容される誤差。

く

クレードル.ターミナルのバッテリーの充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。使用していないときは、ターミナルの保管場所となります。

こ

公称サイズ.バーコードの標準サイズ。多くの UPC/EAN コードは、一定の倍率の範囲 (公称値の 0.80 ~ 2.00) で使用されます。

公称値. 特定のパラメータの正確な (または理想的な) 目標値。この値からの正と負の誤差として、許容範囲が指定されます。

さ

サブネット. 1 つのネットワーク上で、同じルータのサービスを受ける複数のノードのサブセット。「**ルータ**」を参照してください。

サブネット マスク. IP アドレスのネットワーク部分とホスト部分を分離するために使用される 32 ビットの数字。カスタム サブネット マスクは、IP ネットワークをさらに小さなサブセクションに分割します。マスクはバイナリパターンであり、IP アドレスと組み合わせることで、ホスト ID アドレス フィールドの一部をサブネットのフィールドに置き換えます。多くの場合、デフォルトは 255.255.255.0 です。

す

スキャナ. バーコードをスキャンし、シンボルのバーとスペースに対応するデジタル化されたパターンを作成するための電子デバイス。主なコンポーネントは次の 3 つです。1) 光源 (レーザまたは光電セル) - バーコードに光を照射する 2) 光検出器 - 反射光の差異を登録する (スペースからより多くの光が反射される) 3) 信号処理回路 - 光検知器の出力をデジタル化されたバーのパターンに変換する。

た

ターミナル.「**モバイル コンピュータ**」を参照してください。

て

デコード. バーコードの記号体系 (UPC/EAN など) を識別し、スキャンしたバーコードの内容を分析すること。

は

バー印刷されたバーコードの黒い部分。

バーコードさまざまな幅のバーとスペースのパターン。数字や英数字のデータを機械が読み取れる形式で表します。一般的なバーコードの形式は、先頭マージン、スタート キャラクタ、データ キャラクタ (またはメッセージ キャラクタ)、チェック キャラクタ (あれば)、ストップ キャラクタ、および末尾マージンで構成されます。この枠組みの中で、認識可能な記号体系それぞれが独自の形式を使用します。「**読み取り可能コード**」を参照してください。

バーコードの密度.測定単位あたりの表示されるキャラクタ数 (インチあたりのキャラクタ数など)。

バイトアドレス指定可能な境界上で、特定の文字や数値を表すパターン内で組み合わせられた、隣接した 8 桁の 2 進数 (0 と 1)。ビットには右から 0 ~ 7 の番号が付いており、ビット 0 が下位のビットです。メモリ内では、1 バイトを使用して 1 つの ASCII 文字を格納します。

発光ダイオード.「**LED**」を参照してください。

パラメータ.さまざまな値を割り当てられた変数。

ひ

ビット.1 桁の 2 進数。1 ビットが、バイナリ情報の基本単位です。一般的には、連続した 8 ビットが 1 バイトのデータを構成します。バイト内の 0 と 1 の値のパターンによって、そのバイトの意味が決定されます。

ビット/秒 (bps). 送信または受信されるビット数。

ふ

ファイル転送プロトコル (FTP). ネットワークや電話回線を介したファイル転送を支配する TCP/IP アプリケーション プロトコル。「**TCP/IP**」を参照してください。

ブートまたはブートアップ. コンピュータが起動時に実行するプロセス。ブートアップ中、コンピュータは自己診断テストを実行したり、ハードウェアやソフトウェアを設定したりすることができます。

ほ

ホスト コンピュータ. ネットワーク内の他のターミナルに、演算やデータベース アクセス、監視プログラム、ネットワーク制御などのサービスを提供するコンピュータ。

も

モバイル コンピュータ. 本書では、モバイル コンピュータは MC45 を指します。スタンドアロン型のデバイスとして使用するようセットアップすることも、無線テクノロジーを使用してネットワーク通信するようセットアップすることも可能です。

り

リセット. 実行中の全プログラムを終了してモバイル コンピュータを再起動します。フラッシュ メモリに保存されていないデータはすべて失われます。

る

ルータ. ネットワークに接続して、パケットのフィルタリングに必要なプロトコルをサポートするデバイス。一般的には、配線の範囲を広げたり、ネットワークのトポロジをサブネットにまとめたりするために使用されます。「**サブ ネット**」を参照してください。

れ

レーザ (LASER). Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation の略。強い光源です。白熱灯バルブから出力される光と異なり、レーザからの光はすべて同じ周波数です。レーザ光は一般的にコヒーレントであり、高いエネルギー密度を持っています。

レーザ スキャナ. レーザ光のビームを使用するタイプのバーコード リーダー。

よ

読み取り可能コード. 特定のバーコード タイプ (UPC/EAN、Code 39、PDF417 など) のデータを表すための構造的なルールと規約。

索引

数字

16 進キー	5-5
1-D バーコード	3-1
1-D レーザ スキャナ	xii
3 者通話	4-16, 4-19
4 スロット バッテリ充電器	8-1, 8-10
充電インジケータ	8-10
充電時の温度	8-10
4 スロット バッテリ充電器カップ アダプタ	8-2
5 つの MC45 カップが取り付けられたマルチスロット ユニバーサル充電専用クレードル	8-1

A

A2DP/AVRCP	7-14
ActiveSync	2-9, 8-13
アイコン	2-7
接続のセットアップ	8-14
同期	8-14
取り付け	8-13
Adobe Reader	2-10
AFH	7-1
AirBEAM	2-10

B

Bluetooth	7-1
オフ	7-5
オン	7-4
オン/オフの切り替え	7-4
再開	7-3
サスペンド	7-3
セキュリティ	7-2
設定	7-3
適応型周波数ホッピング	7-1
デバイスの検出	7-5

電源の状態	7-3
Bluetooth ヘッドセット	4-3
Bluetooth ヘッドセットの使用	4-3

D

DataWedge	3-4
アイコン	2-7
設定	2-12
無効	3-4
有効	3-4
DEX ケーブル	8-1

E

ESD	1-3
-----	-----

F

Fusion	5-1
--------	-----

G

GPS	6-1
GPS アシスト	2-11

H

High-Speed Downlink Packet Access	4-1
-----------------------------------	-----

I

Internet Explorer Mobile	2-8
IrDA	2-11

L**LED**

インジケータ	2-16
充電	2-16, 8-10
スキャンと読み取り	3-2, 3-4
バッテリー状態	2-16

M

MC45	1-3
MC4587	xii
MC4597	xii
MC45 のウェイクアップ	2-17
MC45 の起動	1-8
MC45 のリセット	2-17
MC45 のロック	2-17
パスワード ロック	2-18
Media Player	2-8
Micro	8-11
microSD	1-3
取り付け	1-3
Micro USB アダプタ	8-2, 8-11
mini	1-3
MSN 天気予報	2-9
MSN マネー	2-9
MSP Agent	2-10

O

Office Mobile	2-9
---------------	-----

P**PC との同期**

Bluetooth の使用	7-12
Phone Book Access Profile	7-13

S**SIM カード**

アクセサリ	1-4
取り付け	1-4
SMS Staging	2-10
Streaming Player	2-10
subscriber identification module	1-4

U

USB	8-3
USB 急速充電ケーブル	8-2, 8-3
充電	1-6

W

WAN アイコン	2-3
Windows Live	2-9
Windows Live Messenger	2-9
Wireless Zero Config	5-2
WLAN	2-12
802.11a/b/g	xii
WWAN	
GSM/HSDPA	xii

あ**アイコン**

ActiveSync	2-7
DataWedge	2-7
WAN	2-3
オーディオ	2-4
ステータス	2-2
スピーカ	2-14
接続	2-3
タスクトレイ	2-7
通知	2-2
バー	2-5
バッテリー	2-4, 2-15
無線接続ステータス	2-7
空きスロット カバー	8-2
アクセサリ	

4 スロット バッテリー充電器	8-1, 8-10
4 スロット バッテリー充電器カップ アダプタ	8-2
DEX ケーブル	8-1
microSD カード	1-3
Micro USB アダプタ	8-2, 8-11
SIM カード	1-4
USB 急速充電ケーブル	1-6, 8-2, 8-3
空きスロット カバー	8-2
車載用充電クレードル	1-6, 8-1, 8-6
車用充電ケーブル	8-1
充電器カップ	8-2
仕様	A-4
シングル スロット 充電クレードル	1-6, 8-1, 8-4
スクリーンプロテクタ	8-2
ストラップ キット 付き スタイラス	8-2
ソフト ホルスタ	8-2
電源	8-2
取り付けブラケット	8-2
バッテリー カバー	8-2
ハンドストラップ	8-2
マルチスロット ユニバーサル	
充電専用クレードル	1-6, 8-1, 8-5
予備バッテリー	8-2
アシスト GPS	6-3
アラーム	2-10

い

インジケータ	2-16
電波受信状況	2-16
インターネット共有	2-9, 7-10

う

上/下ボタン	2-20
ウェイクアップ条件	2-17

お

オーディオ	4-4
オーディオ アイコン	2-4
オブジェクト プッシュ サービス	7-8
オペレーティング システム	xii
温度	A-2
充電	1-7, 8-5, 8-10
音量	4-4
音量の調節	2-14, 4-4

か

画像	2-8
カメラ	xii
スキャン	3-3

き

技術仕様	A-1
アクセサリ	A-4
規則	
表記	xv
機能ボタン	2-20
キーの説明	
数字キーパッド	B-2
キーパッド	xii
Enter	B-3
SHIFT	B-3
アスタリスク/バックライト キー	B-3
英数字	B-3
オレンジ キー	B-2
キーの説明	B-2
シャープ/SPACE	B-3
終了	B-2
数字	B-1
スキャン	B-2
通話	B-2
特殊文字キー	B-4
入力モード	B-4
バックスペース	B-3
ブルー キー	B-2
今日	2-8

[今日] 画面	2-5
緊急通話	2-17, 2-19, 4-7

く

クラシック [今日] 画面	2-6
クリーニング	9-2
車用充電ケーブル	8-1
クレードル	
5 つの MC45 カップが取り付けられ たマルチスロット ユニバーサル 充電専用クレードル	8-1
車載用	1-6, 8-1, 8-6
シングル スロット充電クレードル	1-6, 8-1, 8-4
マルチスロット ユニバーサル 充電専用クレードル	1-6, 8-1, 8-5
グローバル ポジショニング システム	6-1

け

ケーブル	
DEX ケーブル	8-1
USB 急速充電ケーブル	1-6, 8-2, 8-3
車用充電ケーブル	8-1
ゲーム	2-9

こ

構成	xii
ご使用の前に	2-8
コマンド バー	
アイコン	2-5, 2-7

さ

再開	7-3
サスペンド	2-20, 7-3
サービスに関する情報	xvi
左/右キー	B-3

し

車載用充電クレードル	1-6, 8-1, 8-6
写真の撮影	2-23
写真やビデオの表示	2-23
充電	2-16
シングル スロット充電クレードルの使用	8-4
予備バッテリー	1-7
充電インジケータ	
4 スロット バッテリー充電器	8-10
充電器	
4 スロット バッテリー充電器	8-1, 8-10
充電器カップ	8-2
充電器の接続	8-10

充電時の温度	1-7, 8-5
4 スロット バッテリ充電器	8-10
上/下キー	B-3
情報、サービスに関する	xvi
初期位置算出時間	6-3
シングル スロット充電クレードル	1-6, 8-1, 8-4
充電	8-4
シングル スロット充電クレードルの使用	8-4
迅速な導入	2-10

す

数字キーパッド	B-1
キーの説明	B-2
入力モード	B-4
スキャン	
データ収集を参照	3-1
ボタン	2-20
スキャン/読み取り	2-16
スキャン ボタン	2-20
スクリーン	1-8
調整	1-8
スクリーンの調整	1-8
スクリーン保護シート	8-2, 9-2
スタイラス	1-2, 2-21
スタイラスの使用	2-21
[スタート] 画面	2-8
ActiveSync	2-9
AirBEAM	2-10
Internet Explorer Mobile	2-8
Media Player	2-8
MSN 天気予報	2-9
MSN マネー	2-9
MSP Agent	2-10
Office Mobile	2-9
SMS Staging	2-10
Windows Live	2-9
アラーム	2-10
インターネット共有	2-9
画像	2-8
ゲーム	2-9
ご使用の前に	2-8
迅速な導入	2-10
設定	2-8
タスク	2-9
タスク マネージャ	2-9
ツールボックス	2-10
テキスト	2-8
デバッグ	2-10
デモ	2-10
電子メール	2-8
電卓	2-9
電話	2-9
電話の検索	2-10

ビデオ	2-8
ファイル エクスプローラ	2-9
ヘルプ	2-10
マーケットプレイス	2-9
メッセージ	2-9
メモ	2-9
予定表	2-8
リモート デスクトップ	2-9
連絡先	2-8
ワイヤレス コンパニオン	2-10
ステータス アイコン	2-2
WAN	2-3
オーディオ	2-4
スピーカ	2-14
接続	2-3
通知	2-2
バッテリー	2-4, 2-15
ストラップ キット付きスタイラス	8-2
スピーカ アイコン	2-14
スピーカ モード	4-3
スピード ダイヤル	4-7, 4-10
スマート ダイヤル	4-8

せ

整備	9-1
セキュリティ	
Bluetooth	7-2
接続アイコン	2-3
設定	2-8, 2-11
Bluetooth	2-11
DataWedge	2-12
GPS アシスト	2-11
USB 接続	2-12
WLAN	2-12
暗号化	2-12
エラー報告	2-12
オーナー情報	2-12
外部 GPS	2-13
画面	2-13
管理プログラム	2-13
キーのリマップ	2-12
キーライト	2-12
個人フォルダ	2-11
サウンドと通知	2-11
システム情報	2-13
システム フォルダ	2-11
証明書	2-12
接続	2-11
接続フォルダ	2-11
タスク マネージャ	2-13
地域設定	2-13
デバイス情報	2-12
電源	2-11

電話	2-12
電話ネットワークのセットアップ	2-12
時計とアラーム	2-11
ドメインへの登録	2-11
入力	2-12
バージョン情報	2-12
バックライト	2-12
ビーム	2-11
プログラムの削除	2-13
ボイス コマンダーの設定	2-12
ボタン	2-12
ホーム	2-11
メモリ	2-13
ユーザー フィードバック	2-12
ロック	2-11
ワイヤレス マネージャー	2-12

そ

ソフト キー バー	2-8
ソフト ホルスタ	8-2

た

ダイヤラ	
電話	4-1
タスク	2-9
タスク トレイ アイコン	2-7
タスク マネージャ	2-9, 2-13

ち

着信への応答	4-7
--------	-----

つ

通知アイコン	2-2
通話	
通話履歴	4-6
通話履歴の使用	4-12
通話のミュート	4-9
通話履歴	4-6, 4-12
ツールボックス	2-10
Adobe Reader	2-10
Streaming Player	2-10
ボイス コマンダー	2-10

て

ディスプレイ	xii
ディスプレイの向き	2-22
適応型周波数ホッピング	7-1
適応型スキャン	3-2
テキスト	2-8

データ収集	xii
一次元バーコード	3-1
カメラによるスキャン	3-3
スキャン	3-2
スキャン角度	3-2
スキャン距離	3-1
スキャン ボタン	2-20
適応型スキャン	3-2
リニア スキャン	3-1
データの入力	2-21
デバイス ロック	2-17
デバッグ	2-10
デモ	2-10
電源アダプタ	8-2
電源ボタン	1-8, 2-20
電子メール	2-8
電卓	2-9
電話	2-9
3 者通話	4-16, 4-19
MMS メッセージング	4-23
SMS メッセージング	4-20
オン/オフの切り替え	4-2
会議通話	4-16, 4-19
キーパッドの使用	4-5
緊急通話	4-7
ダイヤラ	4-1
短縮ダイヤル	
エントリの削除	4-12
エントリの追加	4-10
エントリの編集	4-12
発信	4-7
着信への応答	4-7
通話の発信	4-5
通話のミュート	4-9
ボイス コマンダー	4-25
連絡先	4-5
電話会議	4-16, 4-19
電話の検索	2-10

と

動作環境	A-1
特殊文字キー	B-4
時計とアラーム	2-11
トラブルシューティング	9-6
取り付けブラケット	8-2

な

ナビゲーション バー	
アイコン	2-2

ね

ネットワーク アクティベーション	1-9
GSM/UMTS	1-9

は

バーコード	
一次元	3-1
パスフレーズ	5-5
パスワード	2-18
ヒント	2-19
バックライトとキーライト	2-12
パッケージの開梱	1-2
バッテリー	
管理	1-10
交換	1-8
充電	1-6, 8-4
状態の確認	1-8
取り付け	1-5
バッテリー アイコン	2-4, 2-15
バッテリー カバー	1-2, 8-2
バッテリー充電器	
充電インジケータ	8-10
充電時の温度	8-10
バッテリー状態の表示	2-15
バッテリーの交換	1-8
バッテリーの充電	1-6
バッテリーの取り付け	1-3, 1-5
ハンドストラップ	8-2
ハンドセット モード	4-3

ひ

ビデオ	2-8
ビデオの録画	2-23
非表示文字	5-5
ヒューマン インターフェース デバイス	7-14
ビュレット	xv
表記規則	xv

ふ

ファイル エクスプローラ	2-9
--------------	-----

へ

ヘッドセット	4-3
ヘッドセット モード	4-3
ヘルプ	2-10

ほ

ボイス	2-12
-----	------

ボイス コマンダー	2-10, 4-25
設定	2-12
ボタン	
上/下	2-20
機能	2-20
スキャン	2-20
電源	1-8, 2-20
ホーム画面	2-1

ま

マーケットプレイス	2-9
マルチスロット ユニバーサル	
充電専用クレードル	1-6, 8-1, 8-5

む

無線	xii
無線接続ステータス	
アイコン	2-7

め

メッセージ	2-9
Windows Live Messenger	2-9
メモ	2-9
メモリ	xii
メモリ カード	1-3

よ

予定表	2-8
予備バッテリー	8-2
充電	1-7

り

リセット	2-17
リチウム イオン バッテリー	1-2
リモート デスクトップ	2-9

れ

レーザ スキャン	
データ収集を参照	3-1
連絡先	2-8
連絡先アプリケーション	4-5

わ

ワイヤレス	1-11, 4-2
ワイヤレス コンパニオン	2-10
ワイヤレス マネージャー	1-11, 2-12, 4-2



Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL U.S.A.
<http://www.zebra.com>

Zebra および Zebra ヘッド グラフィックは、ZIH Corp の登録商標です。Symbol ロゴは、Zebra Technologies の一部門である Symbol Technologies, Inc. の登録商標です。
© 2015 Symbol Technologies, Inc.